

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年（2023年）3月10日

事業所名 草笛学園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 発達課題別活動のグループ数によって部屋を区切って利用するなどの工夫をしている 	
	② 職員の配置数は適切であるか	13	1	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染で職員が少ない期間があったが、他のクラスから配置することで、基準を満たすようにしてきた 	<ul style="list-style-type: none"> 外来教室や訪問支援など兼務しているため、基準配置より多めに職員配置をしている。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 適切な大きさの机椅子や、個々のマーク（視覚的てがかり）の用意をしている。 子どもたちの動きを全体で確認し危険箇所を把握し対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、衛生面に配慮し、環境整備をおこなっていく。 子どもたちの分かりやすさや活動の導線など、配慮や工夫をしていく。
	④ 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 生活空間は、無駄な物はなくすっきりした環境になるように普段から整えている。 毎日の掃除、毎月の安全点検を行い、修理は、適宜、行っている。 コロナ感染防止のため、子どもが触れるものは毎日消毒をおこなっている。 	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の職員会議では、行事の目的、内容、その後の反省・改善について共有し、年度末には職員全員で園の在り方について検討している。 	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者向けの評価表について職員間で確認をし、見直しや次年度に向けての取り組みにつなげるようにしている。 	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 事業所向け自己評価表についても職員間で確認をし、見直しや次年度に向けての取り組みにつなげるようにしている。 	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	7	<ul style="list-style-type: none"> わからない 	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 職員のスキルアップのため、年数に応じて研修に参加するようにしている。また、毎月、職員研修日を設けている。 	
切 適	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画に基づいた支援が行えているかを再確認 	<ul style="list-style-type: none"> 地域支援の支援については、今後、検討していく。

	保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか			<ul style="list-style-type: none"> ・必要がある。 ・会議でその都度ふりかえり振り返ってことを共有できていない 	・子どもの状態に応じて計画の見直しをおこなっていく。
⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント表を使用し、子どもの実態を把握できるようにしている。 	
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	0		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援ガイドラインを念頭におき、アセスメントした情報をもとに、課題を整理し、「身辺自立」「からだ・運動」「ことば・対人関係」「あそび」「家庭支援」の項目ごとに目標や支援方法について、検討し作成している。また、支援経過など職員間での共有をおこなっている。
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス会議等で複数の視点で、現状の確認をしている。 	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスやグループ会議等で活動内容やねらいを考えている 	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	3	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議にて、子どもの実態に合わせて、楽しめるように工夫している。また、活動の振り返りをし、新たな設定をおこなっている。 ・子どもの状況によっては、同じ活動をじっくりと繰り返すこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の立案をするにあたっては、クラス会議、年長会議など、職員間で活動のねらいや意図を共有したうえでやっていく。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・発達課題別や全体集団など多様な集団を保障している。個別活動は、子どもの状況に応じて取り組んでいる 	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の活動内容や職員配置については、朝礼で確認をしている。 ・全体での取り組みを行なうときには、ねらいや注意事項など、毎日実施するようにしている。(忙しい時や職員体制が少ないときなどは不十分な時がある) ・打ち合わせに参加できなかった職員に対しては、連絡ノートで共有できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼では活動内容や職員体制について確認していく。 ・取り組みのねらいや意義については、各会議で検討、確認を行ない、充実した支援につなげていく。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12	2	<ul style="list-style-type: none"> ・会議や日々の休憩などの合間に、振り返っている。 ・時間が取れない日もあるが、大事なことを伝えあう意識はしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、日々の振り返りや全職員で共有すべき点については、限られた時間(終礼など)の中でやっていく。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・療育日誌には、日々の活動内容や子どもの様子を記録している。 ・ケース記録には、課題や支援の経過、子どもの変化などを記録し、支援の検証、改善につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の会議を通して、子どもの評価・取り組み・支援の内容を検討し、支援につなげていく。

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	13	1	・定期的に会議を行ない、計画の見直しを行なっている。	・前期・後期にモニタリングの会議を行ない、計画の見直しをしているが、前期・後期だけでなく、必要に応じて、計画を見直し、適切な支援が行えるようにしていく。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	13	1	・担当が参加している。内容については、記録の回覧、報告等で共有するようにしている。	
関係機関や保護者との連携	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っているか	12	2		・こども発達支援センターや障がい福祉課などと必要に応じて情報共有や連携をおこない、適切な支援がおこなえるようにしていく。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7	7		・個々に必要な医療的ケアの状況把握やできる対応など、具体的な連携を取っていくようにする。また、地域の現状や課題に対しては、情報収集・共有に努める。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8	6		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11	3		・小学校への入学、保育所への入所にあたっては、支援の継続性を考える上で、情報提供が必須である。よりより環境づくり、支援になるように具体的な連携方法を一律化し実施していく。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12	2	・個別支援計画や計画に対しての評価、今後の課題など、情報提供をしている。	・入園にあたっては、母子保健・児童発達支援事業所などからの引継ぎを受け、適切な支援につなげていく。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	12	2	・各センターや事業所での取り組みや事例をもとにオンライン研修をおこなった。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	12	・コロナ禍だったため実施できていない。	・コロナの状況に応じて、近隣の保育所と交流できるように検討していきたい。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	11	3	・担当が参加している	・地域での連携や必要な支援のあり方について、検討や協力を引き続き行なっていく。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14	0	・子どもの状況については、懇談やおたより等でお伝えし、共通理解を持てるようにしている。 ・参観後の研修やクラス懇談、保護者の勉強会など、実施し理解を深めていけるようにしている。	・保護者支援は子どもを支援すると同様に大切な事柄です。懇談や親子教室、研修会を通して、保護者の支援につなげている。

	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	5	9	・プログラムを意識して行っていないが、懇談やおたよりで、関わり方など一緒に考えている。	・家族支援プログラムの実施については、今後の検討としていく。
	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13	1		・運営規定については入園説明会でお伝えしている。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	14	0	・家庭訪問や懇談で説明を行っている。保護者の思いや願いも聞きながら同意を得ている。	・コロナ禍のため保護者会で伝えられなかったことなど、動画配信を使ってお伝えしている。 ・わかりやすく、丁寧な説明を努めていく。
保護者への説明責任等	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14	0	・懇談や親子教室などで子育ての悩みについて助言、支援をおこなっている。その他にも相談があった場合は、その都度、おたより、電話などで対応している。 ・相談に即対応できないときには、他の職員と協議しながら、伝えている。	・保護者の思いや悩みを聞いたり話したりする機会（懇談・親子教室など）を定期的に設けている。 ・引き続き、その時々様子によって、時間を設けたり、電話でのやりとりをしたりすることで、よりタイムリーに対応をしたいと思う。 ・保護者が安心してお子さんを預けられるように、努力をしていく。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	12	2	・コロナ禍のため、全体での活動は難しかったが、少人数で集まり活動できるように、場所の提供や、支援をしている。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	0	・日程や場所を設定して対応している。 ・職員間で情報共有するようにしている。	・気軽に相談できる信頼関係を築きながら、子育ての不安や悩みについて話し合いができるように努めていく
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14	0	・行事予定、事務連絡を発行している。子どもの活動、活動のねらい、様子等については、隔週でおたよりを発行し、毎週個別へのおたよりを発行している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	14	0	・メールでのおたより発行の際には、間違いのないよう、数名の職員で確認をしながらおこなっている。	・情報の管理の徹底していく
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14	0	・ことばのみで伝えるのではなく、マカトンサインや手話、視覚的な手がかりを使いながら伝達している。保護者の方に関しては、口話やメールなどを使用して情報伝達をおこなっている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	9	・地域へは、新聞を発行している。また、地域の会合に参加している。	・招待する行事は行っていないが、子どもの散歩や課外活動での積極的な近隣の方々

					<ul style="list-style-type: none"> 子どもの散歩の際には、挨拶するなど、積極的に関わりを持つようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> とのかかわりや、新聞発行による周知などを行なう。 地域貢献活動の相談窓口として機能が発揮できるように啓発していく。
	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	13	1		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの安全を守るための必要な対応については、マニュアルを元に、職員が共有対応できることが必要である。そのための危機管理、訓練を引き続き行っていく。 地震や防犯などに対する想定を常に意識していく必要がある。マニュアルの見直しも行なっていく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練は毎月実施している。その他に土砂崩れを想定した避難訓練をおこなった。 地震、防犯への訓練も必要。 	
非常時等の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに調査票に記入をしてもらい、対応マニュアルを作成し、職員間で共有している。 	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 入園時に指示書の提出をお願いし、対応している。変更があった場合は、その都度、保護者と確認している。 アレルギー対応については、朝礼時、除去食の確認や毎月、エピペン使用の訓練をおこなっている。 	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット案件が発生した場合は、職員間で状況把握、今後の対応について考えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ヒヤリハット事項の共有をし、職員全体の意識を高めていく。また、定期的に危険箇所や危険予測について確認していく。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 年2回、職員全体で「倫理綱領」「職員の心得」について読み合わせをおこなっている。虐待についての研修会では、グループワークの中で、職員それぞれの意見を述べ合う機会をつくった。 定期的に虐待防止委員会を開催し、職員会議で内容を報告し、虐待防止について確認をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、研修機会を設けるとともに、学習会などでも、取り入れていく。 他事業所の取り組みも知り、参考にしていく。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	13	1	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束・行動制限のガイドラインを作成し、全職員で共有している。 保護者へは、動画を配信で説明をおこない、支援計画に記載している。質問、疑問点などについては、その都度対応をした。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体を押さえる、移動を室内に制限するなど、身体拘束の捉え方や考えられる場面を職員全体で確認、検討をおこない、明文化していく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年（2023年）3月 10 日

事業所名 草笛学園 保護者等数(児童数)48名 回収数46名 割合 96%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	45	1			<ul style="list-style-type: none"> ・園庭が広くてのびのび遊べる。 ・グラウンドでも広々と遊べる。 ・室内も外もたくさん遊具があり、広さも充分だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動スペースはある程度の空間が確保されています。活動によって、部屋の使い方を工夫しています。 ・活動スペースなど確保しながら子どもたちの成長を促していきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	40	4		2	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に接してもらえて安心して預けられている。 ・担任以外の先生にも子どもの日頃の様子を教えてください、たくさんの先生に見守ってもらっていると実感した。 ・毎日とても大変で忙しそう。 ・専門性は個人差があると思いますが、フォロー体制もしっかりしていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制度上の配置人数の基準は満たしています。 ・引き続き人材確保をおこない、職員全員でのことを共有し、安心して過ごせるように努めていきます。 ・専門性に関しては引き続き、職員研修や他の研修会、学習会などで専門性を高めていけるように努めます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	45			1	<ul style="list-style-type: none"> ・教室から園庭が見える大きな窓があり、見通しの持てるよい環境 ・トイレが部屋からすぐに行ける点がいいと思う。 ・ロッカーや靴箱は子どもが分かりやすいようにしてある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにとって、分かりやすい、生活しやすい工夫と配慮をおこなっていきます。 ・感染症対策としても、引き続き換気、消毒に取り組んでいきます
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	46				<ul style="list-style-type: none"> ・トイレも明るくきれいでとても使いやすいと思う。 ・とても清潔にされていて安心している。 ・整理整頓されて過ごしやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生面の配慮、毎月実施している設備等の点検、修繕などをおこない、子どもたちが、安心、安全に過ごせるようにしています。
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ii が作成されているか	46				<ul style="list-style-type: none"> ・わが子の力に合わせた活動をしてくれているので安心。納得している。 ・少しずつ目標に近づいていると感じる。 ・具体的で時期にあったものが提供されているが、もう少し早くもらえると嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの発達・特性を考慮し、個々の状況をクラス職員で共有しながら基本的な生活習慣の力や人との関わり、運動、コミュニケーション、行動調整などの向上をねらっています。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」	43				3	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに沿った支援してくれていると思う。 ・支援計画が分かりやすく具体的にされている。 ・少しずつ目標に近づいていると感じる。

	で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか					<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達に合わせてくれているので、少しずつできることが増えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 議等で経過の確認や目標の見直しをおこなっています。前期(4月)後期(10月)に保護者の方に確認してもらっています 活動プログラムは継続的な取り組みの中で、子どもたちの力になっていくものもあれば、段階的に内容や関わりを変えて取り組むものもあります。その都度見直しを行いながら、個々に必要な支援の中身や関わりを考えて取り組んでいきます。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	44			2	<ul style="list-style-type: none"> いつも好きなあそびを繰り返してもらっている。 排泄は毎日ではなく、取り組む日が決まっているのかなと思いました。 	
	⑧ 活動プログラム iii が固定化しないよう工夫されているか	46				<ul style="list-style-type: none"> 活動プログラムは随時、変えていると思う。 成長に応じた活動になっている。 季節ごとの遊びや行事など工夫されている。 	
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	6	10	29	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で難しいと思う。 散歩の時などに挨拶をしているので、これも交流だと思う。 コロナが落ち着けば少しずつしてほしい。 小学校に向けて課題も見つかり、心構えもできそうで、あればいいなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も保育所、幼稚園などの子どもたちと関わる機会は持っています。コロナの状況を見ながら、実施に向けて考えていると思います。
保護者への説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	45			1	<ul style="list-style-type: none"> 不明な点を質問したところ、すぐに説明してもらえた。 動画配信もあり、わかりやすく工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営については入園説明会でお伝えしています。 コロナ禍で保護者総会でお伝え出来なかったことなど動画配信を使ってお伝えさせていただきました。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	44			2	<ul style="list-style-type: none"> 親子教室や懇談の時に説明や分からないことなど教えてもらえた。 	<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインと照らし合わせたの説明はできていません。支援計画については、家庭訪問や懇談などで支援内容の説明をおこなっています。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング iv 等)が行われているか	37	2	1	6	<ul style="list-style-type: none"> 親子教室などでしっかり指導していただけていると思う。欲を言えばもっと話がしたい。 父親も学ぶ機会が増えてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> プログラムとしてのトレーニングは行なっていません。 保護者支援として親子教室、懇談、研修会を実施しています。 支援プログラムの実施、父親が話せる機会や学習する機会については、検討していきます
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	44	2			<ul style="list-style-type: none"> だんだん親の前での様子や園での様子が違うようになってきた。園ではするけれど、家ではしない。などがあるので、共通理解できているか分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> お子さんの様子や変化、取り組みについて、行動の意味付けなど、おたよりなどでお伝えしています。クラ

						<ul style="list-style-type: none"> ・週終わりに配布されるお手紙がとでも読みやすく、子どもの様子が手にとるように分かり助かる。 ・クラスやグループなどのおたよりや週末の個別のおたよりで詳しいことを教えてくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スの職員に限らず、どの職員にでも声をかけてもらえたらと思います
⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	46				<ul style="list-style-type: none"> ・親子教室の時にぼろっとこぼした悩みについて先生が対策案を考え、後日お電話くださった時はすごく嬉しかったです。 ・面談でしっかりと話ができていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回の親子教室や懇談をおこなっています。
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	37	8		1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で学年が違う保護者同士の活動があまりできていなかったが、今年度やっとできて良かった。 ・オンラインを使って直接は会えなくてもつながりを作ってもらえて嬉しかった。 ・コロナ禍で保護者同士の交流がほとんどできず、仕方がないことですが残念に思う。来年こそは！ ・支援してもらっているが、実際は仕事やコロナのため難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度もコロナ禍のため、保護者全体での集まりはできませんでした。オンラインを利用して数回、保護者会活動を実施し昨年度よりはつながる機会ができたかと思えます。引き続き、保護者同士が繋がる形を考えていきたいです
⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	44		1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・急な相談や申し入れをまだしたことがないので分かりません。 ・困った時は電話をもらえて安心した。対応が早いと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度、必要に応じて、電話や面談で対応していきたいと思えます。 ・子どもたちの成長には、家族の力が大切です。一緒に子どもたちを見ていけるように、工夫や配慮をしていきます。
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	43	3			<ul style="list-style-type: none"> ・お帳面にて連絡した時、一言でも返事が欲しい。伝わっているか心配になる時がある。 ・園だより（予定が書かれているもの）は印刷してもらえるとありがたい。 ・準備物の連絡がもう少し早いとありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報は、各おたよりを通じて行っています。今年度もコロナ禍で行事の変更や中止があり、子どもたちの様子を知る機会が減ってしまいました。不定期ではありますが、ホームページで子どもたちの様子をお知らせしています引き続き、更新をしていきます。
⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	42	1		3	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページもよく更新されていると思えます。 ・おたよりがダウンロードできるようになり便利になった。 ・もっと、ホームページの更新があれば様子も分かりありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報は、各おたよりを通じて行っています。今年度もコロナ禍で行事の変更や中止があり、子どもたちの様子を知る機会が減ってしまいました。不定期ではありますが、ホームページで子どもたちの様子をお知らせしています引き続き、更新をしていきます。
⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	42	4			<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳の渡し間違いがあった。 ・おたよりがデジタル化され、先生方の「紙を折る」などの手間がはぶけた点がよかったと思う。ただ、便利な反面、誤って個人情報が洩れるリスクも高まるのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の扱いは重要かつ慎重なことです。管理、共有の徹底に努めます

							<ul style="list-style-type: none"> と感じた。 HPの写真に顔が写らないように加工してもらっている。 ホームページなど写真使用は事前に確認をしてもらえた。 	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	39	1	2	4	<ul style="list-style-type: none"> コロナにかかったときにどうすればいいかなどのマニュアル、説明は、なかったので自分で調べることができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 各マニュアルは所定の位置に閲覧できるように設置しています。 感染症の罹患状況や対処方法については、必要に応じておたよりでお知らせいたします。 非常災害発生に備えて、毎月の避難訓練や不審者対応など訓練も実施していきます。 来年度も引き続き役員会等で園にいるときには訓練に参加していただけたらと思います
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	43			3	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練を定期的にされている。 保護者も役員会などで園にいる時は避難訓練に参加するようになってよかった。 	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	45	1			<ul style="list-style-type: none"> すごく楽しく通っています。親の私も日々成長を実感でき、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。 車の中からバスが見えると自分でカバンの準備をして行く気になっています。 今日は行く日だよと言うととても嬉しそうにしています。 行ったら楽しんでいるが、行くまでが嫌々な時がある。どう思っているのは分からない。 休みの日でもカバンをかけて行きたいとアピールしている。 次の日の予定を確認しながら楽しみにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子どもたちが“行きたい”“楽しみ”と思えるような、園生活が送れるように、活動の工夫や、分かりやすさを作り取り組んでいきたいと思っています。 子どもたちが楽しんでいる様子、頑張っている様子は、おたよりやホームページで伝えていきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	46				<ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長をたくさん感じられている。 あそび以外にことばのトレーニングのような活動もあるとさらに早く療育をして良かったと思えそう。 色々な経験や活動で子どもの成長をすごく感じている。 よくしていただいで感謝。 	

- この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年3月17日

事業所名 児童発達支援センターひかり園 保護者等数（児童数）48名 回収数37名 割合77%

	チェック項目	はい	どちら		わかんない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
			ともいえない	いいえ			
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの人数とスペースとのバランスは取れていると思う 今の環境の中で工夫されていると思う 限られた空間をしっかりと活用されている 室内に段差はなく子どもが走り回れる空間づくりがされている 確保されている 十分ではないと思う 	<ul style="list-style-type: none"> 教室や遊戯室の広さは制度上の基準を満たしています。また、広い園庭とは言えませんが、死角も多いですが、安全面に留意しつつ、活動に応じて園庭の使い方を工夫してきました。 2023年4月からは、新園舎での療育となります。こちらも制度上の基準は満たしていますが、引き続き、安全面への配慮を怠らず、健全な療育に努めます
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	33	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 適切である（問題ない） ていねいに関わってもらっている（満足している） 配置数まではわからない 	<ul style="list-style-type: none"> 制度上の職員の配置基準は満たしています。ただし、活動内容によって、より安全面への配慮が必要な場合に、適切に状況判断や支援を実行できるよう、引き続き、職員の技量の向上に努めます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	21	9	3	4	<ul style="list-style-type: none"> 本人にわかるように、くつ箱やロッカーにはシールが貼ってある 子どもにとってわかりやすい構造化がなされている 工夫されていると思うが、子どもには少しわかりづらいところがあるかもしれない バリアフリーにはなっていない 	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ、子どもにわかりやすい空間の活用や視覚支援等を実施していますが、施設の老朽化による使いづらさは否めません。 2023年度4月から新園舎に移転します。園舎全体のバリアフリーをはじめ、トイレは、清潔感を重視し幼児が使いやすいように整備しています。また、施設内の設備は視覚的に表示してあります
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	30	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 掃除もきちんとされていて、使い込まれている建物ですが清潔感がある（心地よい） トイレが使いづらい 清掃はされているが、建物が古いので清潔ではないと思う トイレがもう少し多ければ感染症対策の強化になるのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ウイルス等の感染症防止のために毎日の清掃をはじめ、設備や備品等の衛生管理に努めてきました。 新園舎に移転した後も、定期的に安全点検を実施し、園児が安全に過ごせるように整備します。 トイレは2クラスで共有します。移動が簡易で動線がわかりやすく、職員の目の届きやすい設置になっています。

適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ii が作成されているか	36	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子をよく見ていた ・子どもの実態が把握され的確な計画が作成されている ・項目に分けてそれぞれの課題が設定されていてとてもわかりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度に調査票による園児の生活の実態把握をしています。また、園生活における姿については行動観察によるアセスメントを実施し、支援計画を立てています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	34	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に支援されている ・何ができていない、だからこういう流れで取り組んでいくという流れで取り組んでいく ・児童発達支援ガイドラインがよくわからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひかり園では、児童発達支援ガイドラインを踏まえて、園児一人ひとりの人格を尊重し、発達特性や発達の状況を考慮しつつ、幼児期らしい生活づくりと楽しい遊びの経験の広がりをめざしています。また、安定した家庭生活が送れるよう、家族との連携および相談対応、必要に応じた地域資源に関する情報提供を行なっています。ただし、児童発達支援ガイドラインそのものの詳細についての説明はできていません。今後、情報提供について検討します
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	37	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・実施されていると思う ・週1回の個別のおたよりでよくわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の支援ニーズの把握を行なうとともに、取り組みの経過を大切に、必要に応じて見直しを行なっています
	⑧	活動プログラム iii が固定化しないよう工夫されているか	31	2	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに合った活動内容になっている ・柔軟な対応がなされている ・工夫されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容については、園児の興味関心や発達課題に配慮して実施しています。 ・コロナ禍において、クッキングや宿泊保育など、実施できない活動もありましたが、地域の環境を生かしつつ、できるだけ園児の生活が豊かで楽しいものになるようにと考えています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	7	16	9	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で交流自体が難しいと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ということもあり、今年度は、ここ数年恒例となっている隣接する小学校との秋の交流行事はお誘いがありませんでした。 ・移転先には、近隣に公立保育所がありますので、交流については今後検討していく予定です。
の保護者等へ	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	34	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会や総会などで説明があり理解している ・適切な対応がされている 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、入園説明会で契約をしていただく際に説明しています ・十分にご理解いただけるよう、内容を見直していきます。

⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	33	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な面談（家庭訪問や懇談）で説明を受けており、子どもの様子もわかる ・一緒に確認しながら実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問や懇談の際に説明しています。限られた時間なので、十分にやりとりができないこともあります。ガイドラインを踏まえつついねいに説明していきたいと思います。
⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われているか	25	5	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・親子教室で、子どもの様子を見て、面談を通して適切な関わり方を知ることができる ・園だより等で、専門家の書物などが紹介されており、知識を得ることができる ・関わり方のアドバイスを受けている ・学習会がとてもよい機会だった 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、発達に関する通信の発行とクラス懇談等のおしゃべり会の開催にとどまっています。 ・法人内の他施設の講演会については情報提供をしましたが、参加者はわずかでした。 ・今年度は、当園主催の講演会を開催しました。参加者は多くありませんでしたが、参加された方からは、好評を得ました。
⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について 共通理解ができているか	35	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも情報共有ができ、感謝している ・行われており安心している ・連絡帳や個別のおたより等で、情報の共有はできている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひかり園の療育形態上、職員と保護者の方が直接お話をする機会は少ないと感じています。したがって、現在のようなかたち（園だより、クラスだより、年長だより、週末の個別おたより）で、園生活の様子をできるだけ詳細にお伝えすることで、保護者とその成長を喜び合うとともに、発達理解を共有していきたいと考えています。
⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	36	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みがあると助言をして下さっている ・親子教室や懇談が設定されている ・参観後にクラス懇談がある 	
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	21	12	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・回数は少ないが開催されている（貴重な機会になっている） ・保護者間の関わりが今後増えよう ・保護者が関わる機会は少ないと感じた 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会活動は、基本的には保護者主体で運営されていますが、必要に応じて、園が支援、協力を行っています。 ・就労されている方も年々増えていますが、親同士のつながりが子育ての力になることもあるかと思っています。園としても、引き続き必要に応じて支援を行っていきます
⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	34	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもいねいに関わって下さっていてうれしい ・おたよりが届く 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方の不安や悩みには、できるだけ迅速に対応し、日々の子育てがしやすいように努めています。なお、保護者の方には、行事等に関わらず、気軽に園に向かいいただき、ご相談いただければと思います。
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や	35	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・実施されている 	

	情報伝達のための配慮がなされているか					・何かあればすぐに連絡して下さりありがたい	・ブログは、児童発達支援管理責任者が不定期に発信しています。
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	32	3	1	1	・自分の子どもだけでなく、他の子どもさんの成長も感じられるおたよりがうれしい ・園だよりやクラスだよりなどで十分に情報を得られる ・園全体、クラスごとなど、定期的に発信されている ・ブログが頻繁に更新されるとうれしい ・行事予定について、親が参加するものについてもう少し早く知りたい	日々の園の取り組みと園児の様子をお知らせするとともに、職員の間意図や関わりの中に、家庭での支援の手がかりにつながるものがあればと思っています。 ・園の行事予定については、毎月25日発行の園だよりに、翌々月の予定までお知らせしています。また、年間の大きな行事については、新年度に配布している「ひかり園のしおり」の最終ページに掲載しています。その周知徹底をします。
	⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	36	0	0	1	・十分注意されている ・現状で問題ないと思う	・個人情報の取り扱いについては、入園時に同意を得ています。引き続き、取り扱いには十分注意を払っていきます。
非常時等の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	26	7	0	4	・コロナ感染者判明時のメールでの伝達、電話での様子の聞き取りなど対応がよかったと思う ・防犯マニュアルまではわからない ・入口がわかりづらく、どこから職員に声をかけたらよいかわからなかった。 ・誰でも簡単に入れるので、防犯については少し不安がある ・具体的な内容はわからない	・防災対策としては、定期的な避難訓練の実施と建物の安全管理（火災報知機の点検、消火器の設置）に努めています。 ・地震や津波の時の対応については、地域の消防署に相談し、ご指導いただいています。 ・新しい環境になりますので、改めて計画を立て直し、有事の際の迅速な非難に対応できるよう、様々な状況を想定した上で、定期的に訓練を実施します。 ・感染症の予防については、引き続き、日常的に施設内の設備や備品の衛生管理に努めます。 ・新園舎および敷地内には防犯カメラを設置しています。
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	32	3	1	1	・子どもがわかるためには、もう少し回数が必要なのではないかと思う	
満足度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	35	2	0	0	・楽しくて休みたくない様子 ・楽しんで通っている ・月案のカレンダーを毎日見ている	・保護者の方が、園に対する信頼の上で、安心して利用していただけるよう、また、園児が楽しみをもって通えるよう、引き続き、療

	事業所の支援に満足しているか					<ul style="list-style-type: none"> ・毎日笑顔でバスに乗っている ・先生から子どものことをおしえてもらってうれしい ・感謝している ・放課後等デイサービスの情報提供が不十分だと感じた 	育内容の充実に努めます。 ・放課後等デイサービスの利用やそれに係る手続き等については、例年 12 月の月上旬に説明会を設けていますが、保護者の方の見学、検討の時間が十分でないのご意見をいただきました。善処します
23		35	2	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和5年3月17日

事業所名 児童発達支援センターひかり園

職員数：25名 配布数：16名 回収数：12名 割合：75%

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	1	自由遊びの時間は、遊びの拠点を分けてスペースの確保を図っている	・法令を遵守したスペースを確保しています。
	② 職員の配置数は適切であるか	9	3	利用定員に対して、基準以上の配置をしている。コロナで休む職員が重なると職員の負担が増えた。相談支援専門員の職員に応援を頼むなどの工夫を行なった。	・昨年度と同様、法令で必要とされる配置数に加え、臨時職員を2名、パート職員3名配置しています。専門性を高めるため研修会、部会等の派遣や関係機関との連携など業務量の増加に伴い、正規職員を増やす予定です。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	3	玄関に段差があり、バリアフリー化は難しい状態である。子どもの導線はわかりやすい空間になるよう、視覚的な手がかりも用いて環境設定を工夫している、	・園庭が2ヶ所あり、建物の構造上死角になる所もあるため、表園庭は乗り物遊び、裏園庭は砂遊びや総合遊具を使用して遊ぶなど全面的配慮をしながら環境設定をしています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの活動に合わせた空間となっているか	11	1	子どもが手に触れる物等は、消毒を徹底している。遊戯室は使用目的に応じパーテーションで区切り、子どもの特性に応じた支援ができるようにしている	職員体制が整った後、園庭2ヶ所開放し、子ども自身が遊びを選択し、やりたいことをたっぷり楽しめる環境になるように努めています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	2	・外来会議やクラス会議など少人数の会議をもち幅広い意見を共有できるようにしている。	・クラス会議・リーダー会議・学習会等で支援内容の振り返りや見直し検討を行なっています。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12		・避難訓練の状況がわかからないとの指摘があり、訓練日や避難訓練の状況をおたよりで報告しています。	・評価表を用いて保護者への意向の把握を行ない改善に繋げていきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12			・自己評価結果を園のHPにて公開しています。 ・保護者及び事業所内の2者評価をとっています。第三者による外部評価については現在実施の予定はありませんが、必要に応じて実施を検討してまいります。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10	2	外部評価ではありませんが、外部から講師を招いて子どもの支援のあり方や療育について見直す機会	

				をつくっている。		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12	・対面では難しい為、web講演会を行なう。午前は保護者向け、午後は職員向けのテーマで学びあった。	・職種や経験に応じた研修に派遣し専門性を高めます。今年度は、主にオンライン研修に参加しました。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	12	・保護者との信頼関係を築きながら、生活全般を通して子ども理解を深めている。ケース担当者だけでなく、職員間で情報共有し検討している。懇談等でアセスメントを行ない、保護者の思いを聴取し計画に反映。	・前期・後期とアセスメントやモニタリングを行ない、児童発達支援計画を作成しています。クラス会議の時間が十分にとれるように調整していくことが課題です。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	1	【療育アセスメント】で子どもの状態像や変化を把握できるようにしている（前期・後期に作成）	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12			・障害児支援利用計画やアセスメントした情報をもとに課題整理を行ない、【身辺自立】【からだ・運動（粗大・微細）】【言葉・対人関係】【遊び】の項目に沿い具体的な短期目標や支援内容を検討後、作成しています。家庭支援についても具体的な内容を明記しています
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12		計画に沿いながら、月案で活動内容を具体化している	・活動内容については、年間療育目標、前期・後期の支援目標に沿い、リーダー会議、クラス会議、年長会議とそれぞれクラスの枠を超え全職員で意見を出し合い、活動プログラムを立てています。年長児の取り組みは、発達課題別に分けグループ集団による療育を行なっている。より子どもたちのニーズに応じた遊びの工夫や検討が必要であります。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12		クラス会議・リーダー会議で検討している	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12		障害や特性に応じた支援や子どもの姿から活動内容を検討している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	12		状況に応じて個別対応が必要なときは支援している。活動内容に応じて多様な集団編成を行なう。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12		朝礼時に職員体制を把握し、活動内容をクラス別に確認。日課の流れに沿い、職員の動きやその日のリーダー等役割を決めている	・朝礼で、活動内容や職員体制について確認、終礼で振り返り（ひれに沿い、職員の動きやその日のやりはつと等）し、職員間で情報共有を行なっています。また、会議（ケース・指導者会議等）で、
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12		振り返りを毎回行うことは難しいが、関わりの困難さや気づきなどがあればクラス内でタイムリーに確認し話し合う。全職員、共通認識した支援に繋がるよう努めています	・クラス運営や子どもの評価、支援の在り方等について検し、充実した支援に繋がるよう努めています

					識すべき事項は、必ず会議以外にも終礼時に報告をする。	
	①9	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	1	活動内容や個々の子どもの姿を療育日誌に記録している。日誌やケース記録をもとに学期ごとに【療育のまとめ】として支援の検証を行ない次学期の支援内容に繋げている。	・療育日誌で記録したものをもとにクラスだよりや年長だより等を作成し、定期的に発行しています。保護者の方に支援のねらいや療育内容の今後の展開等についてお伝えし理解を得ています。
	②0	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12		支援の見直しとして「あゆみ」(前期・後期)を作成し、保護者と子どもの成長や課題を共有し支援計画に繋げている	・前期・後期のモニタリングのひととして、「あゆみ」をもとに保護者との個別懇談実施し、子ども理解の共有しています。
関係機関や保護者との連携	②1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12			・相談支援専門員が、ケア会議等で課題を含め、情報共有している。
	②2	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っているか	12			・こども発達支援センターや障がい福祉課、ネウボラ課等と必要に応じて情報共有や相談、報告を行ない適切な支援を行なえるよう努めています。
	②3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12		移行後も、集団適応の難しさや生活の困り感が出た場合は、ケア会議を行ない、対応について検討する。	・移行がスムーズに行なわれ、充実し安定した生活がおくれるように子どもの特性や状態像について丁寧に伝え連携を行なっています。
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11		子どもの特性や課題など支援について伝えている。引継ぎという形で行うことが多い	入園する児童についても、児童発達支援事業所等から引き継ぎを行ない、適切な支援に繋がります。集団適応が困難な場合、保育所等訪問支援事業に繋がります。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	1	コロナ禍で研修機会は少ないが、関係機関や施設との情報共有する会議等には参加している	対面での研修会も少しずつ行なわれているため、連携や学習会に積極的に参加できる機会をつくっていきます。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する	4	7	コロナ禍で今年度は交流の機会をつくるのが難しかった。	・近隣の保育所との連携や交流など今後検討していきたいと思いま

	機会があるか				す。
	⑳ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	4	福山市障がい者総合支援協議会発達支援部会や療育相談支援事業に参加している	
	㉑ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12		おたより等で随時、子どもの状況を伝えている。懇談や支援計画で課題や支援について伝え共通理解ができるようにしている	・クラスの活動の様子等についてはクラスだよりで伝え、我が子だけでなく、他児の育ちなども共有できるように発達を捉えた支援で伝えるようにしています。
	㉒ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	3		・家族支援プログラムについては職員の研修は継続していきませんが保護者に向けた学習会等をクラスごとで行ないました。
保護者への説明責任等	㉓ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12			入園説明会で重要事項説明として伝えています。
	㉔ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	12			・全保護者に向けて、療育ガイドラインの中で、療育のねらいや内容について説明をしています。また、家庭訪問や懇談を設けて個別に説明をしています。
	㉕ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12		連絡帳でのやりとりや懇談などを通して適宜対応している。随時電話や個別懇談などで対応している。	・保護者同士が交流できる場として静養室を開放し、保護者会活動に利用されています。保護者会活動は保護者主体ではありますが、協力や支援はしています。
	㉖ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	12		コロナ禍で保護者会活動が縮小せざるを得なかった。	
	㉗ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1	ケース担当者だけの責任ではなく、相談事など返答に困ったときは他の職員に確認し、迅速に対応できるように努めている。	・気軽に相談できる信頼関係を構築しながら、子どもの育ちへの願いや子育ての不安や悩みを受け止められるようにタイムリーに話し合いができるように努めています
	㉘ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12		園だより、クラスだより、週に1回のおたよりなどで、随時子どもの様子や園のことを伝えている。	・療育活動や行事のねらいをたよりに知らせ、保護者の方が見通しをもてるように工夫しています。ホームページで園の行事などの様子を伝えています。
	㉙ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	12		注意している。特定しやすい情報は伏せている	・取り扱いについては、同意を得てから関係機関と連携しています。また、入園時に個人情報の取り扱いについて説明し、同意を得ています。

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12		ことばのみで伝えるのではなく視覚的な手がかりやマカトンサインなどを使っている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	2	招待ではないが、民生委員の方にボランティアとしてご協力いただいている	移転地の多治米学区の方に、行事や園について発信し、障害のある子どもたちの理解を広めていくことが大切です。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	11			・火災を想定しての避難訓練を定期的実施し、「通報・避難・消火訓練」を消防士の指導のもと年に1回実施しています。(今年度は実
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11		火災を想定しての避難訓練を定期的実施している。	地指導は受けていませんが、書面で報告、指導を得ています)・地域と連携し、防災訓練などの取り組んでいくことが課題です。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	12		その子自身に対しての対応マニュアルをつくり、職員に周知している。	・新年度に調査票による園児の健康状態の把握をし、職員間で共有しています。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	12			また、食物アレルギーに関しては・医師の指示書のもと除去食など対応しています。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12			・日々終礼時に「ひやりはつと」の確認をしています。具体的な対応策を検討し、事故防止意識を高めています。また安全点検日を定め、危険個所の改善に努めています。危険を予知し、事故に至らないように努めていきたいです。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	2	身体拘束および不適切な行為などの事例をあげ、グループワークの中で、職員それぞれの意見を述べ合う機会をつくっている。	・年度はじめに「倫理要綱」の読み合わせなど職員としての心得などを確認し、支援姿勢について自ら考える機会にしています。 ・虐待防止啓発のための研修会に参加し、全職員学習の機会として研修報告を行なっています。研修の回数が少ないことが改善すべきことです。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	12		「身体拘束・行動制限についてのガイドライン」で説明している。児童発達支援計画に記載し、保護者に同意を得ている。	・身体拘束について切迫性、非代替性、一時性であることを全職員周知し、やむを得ない状況であるかどうか、検証しています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表: 2023年 2月 1日 事業所名: 「ゼノ」にばと園 職員数25人 回収数23人 割合92%

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	17	6	<ul style="list-style-type: none"> 園内で指導内容を確認し、部屋の都合をつけてもらったりしつつ、調整してやっている。 発達障がい児と聴覚障がい児とで望ましい生活環境が違う 子どもの状態に応じて訓練室を配慮している。しかし、人数や状態で難しい事がある。 子どもの療育に支障がないよう、教材の配置に気を付けている。 	<p>○建物基準などは法令を遵守しているが、築43年経ち老朽化していること、また難聴幼児通園施設の基準でスタートし、定員や制度の変更に伴い増築、改築を重ねているため、複雑な建物構造になっている。死角もあり、見通しの持ちにくい建物構造なので、安全性に気を付け、できる限り、子どもにとって見通しが持ちやすいように手掛かりや働きかけを行い、整理され、安心して分かりやすく楽しく活動できる環境づくりに努める。(2020年春、門扉を作ってスペースを分かりやすくした)。</p> <p>○部門(難聴・発達・相談)や療育形態(集団療育・個別療育・親子通園・毎日・併行など)、年齢(0歳~就学前)や状態、療育内容などが複雑なので、職員同士事前の打ち合わせをし、訓練室や検査室等の使用を調整している。</p> <p>○職員の配置基準は大きく上回っているが、難聴・発達・相談など、部門も療育形態も様々であるため、安全で質の高い支援を行うには、職員が基準以上に必要である。また、親子通園であり保護者との懇談を大切にしているが、保護者懇談の時間帯に十分な保育体制をとることが課題である。 職員体制整備・充実のための意見を関係団体の協議の場などに挙げていく必要がある。</p> <p>○危険箇所気づいたらすぐに対応し、清潔で心地よい環境であるよう、保護者の協力も仰ぎながら努力する。</p> <p>○施設の老朽化のため、新園舎整備に向けて計画をすすめている。増加し多様化している地域のニーズに応えられる施設整備を目指している。</p>
	② 職員の配置数は適切である。	15	8	<ul style="list-style-type: none"> 最低基準は満たしているが、保護者との懇談の際の保育の人員が足りないことがある。親子通園をしているので今の制度だと改善が難しい。 保護者との話し合いの時間に子どもの保育をしてくれる職員を工夫している。 保護者支援で話し合いを行う際の保育職員数の不足 少人数の保育者でも保育が安全にできるように、遊びを工夫している。(遊ぶ物、空間、遊び方など) 比率的には足りているかもしれないが、子どもの状態により、目が行き届きにくいことがあり、人材が必要なおことがある。特に自由遊びの時間。 	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	4	19	<ul style="list-style-type: none"> 施設の構造や、日替わりのグループのため、子どもにとっては分かりにくい環境が多い。 正面入り口の階段は、バギーが必要な園児さんの円滑な移動の妨げになっている。 死角が多く、複雑な構造になっていると思う。 分かりやすくするために絵カードを利用したり、分かりにくい子が分かりやすい環境になるように園内で検討し、優先して使えるようにしている。 建物の構造上、難しい面もあるが、活動スペースを分けるなど工夫はしている。 毎回部屋が違うなど子どもにとって分かりにくいように思う。 環境的に見通しが持ちにくい(同じ建物に色んな障害の子や、年齢の違い、複数のグループが来るため制限や規制がある)。 難聴契約外来の重心の子どもたちに、車椅子でも出入りしやすい環境になるとよい 	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	12	11	<ul style="list-style-type: none"> 掃除、片付けには気を配っている。 建物の老朽化により、すべて清潔とはいえないが、今できる範囲では努力している。 状態により、部屋の使い方を職員で相談したり、確認して決めるようにはしている。 	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	20	3	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの時間をとるようにしている。 会議や朝会・終礼にて改善すべき点を確認している。 必要との認識はあるが、目の前の業務に追われて、時間をとりにくい状況がある。 	<p>○職員会議等の場で全体の状況把握や意見の集約を図る。</p> <p>○引き続き、保護者との共通理解に努めながら、職員全体での共通理解、認識を図り、具体的な業務改善に向けて努力する。</p> <p>○保護者評価、事業所の自己評価に基づき、今後の改善に生かしていく。</p> <p>○内部研修・外部研修などを計画的に行い、職員の学ぶ意欲を高め、職員の専門性や人間性を高めるように努める。コロナの影響で外部研修に出かけることはなかったが、オンライン研修が増えた分、今まで夜間や休日の研修に参加しにくかった職員も含め、多くの職員が参加しやすい良さがある。今後も、必要な研修、今の職員の働き方にあった研修の在り方を検討し、実施していきたい。</p>
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	22	1	<ul style="list-style-type: none"> 評価表のみならず、「利用者の声」を集めたり、日頃の中で保護者の思いをできるだけ聞くようにしている。 ちょっとした不安や不満も見逃さず、すぐに対応するよう努力している。 	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	22	1	<ul style="list-style-type: none"> 改善に努め、次の評価の際に同じことが話題に上らないように努めている。 ホームページでの確認はできていない。 	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	18	5	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で、以前のような外部講師の研修や、公開療育などが行いにくくなっている。 	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	23	0	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で、外部や大規模な研修がしにくくなっているが、園内の自主研修を企画したり、オンラインで参加できる研修には積極的に参加している。 できるだけ研修には参加するようにしている 	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	23	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	20	3	・アセスメントツールとして、決まった検査を実施している。聴覚情報処理障害の評価など少しずつ広がってきているが、その他の検査バッテリーを広げていくことは必要だと感じる。 ・発達全般や発達検査に関する研修を行っている	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	22	1	支援内容を一人一人の子どもに合わせて、保護者にとってより分かりやすく提示する工夫が必要だと感じる。	○「ゼロ」こぼと園では、ガイドラインに沿った支援を次のように行っているが、さらに充実させるように努める。 ①親子通園で障害や発達の状態に合わせ、集団療育と個別療育を行う。楽しい遊びや体験を通して発達の土台の力を育て、意欲的で安定した生活が送れるよう取り組んでいる。 難聴児に対しては、聴力状態の把握や補聴器・人工内耳の装用・調整・聴覚活用をすすめ、人と関わる力、経験や気持ちに根ざしたイメージやことば・コミュニケーションの力が育つよう取り組んでいる。(発達支援)
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	23	0	職員の中ではねらいや意図をもってやっているとは思いますが、保護者への説明などより丁寧に分かりやすくしていく配慮が必要だと感じる。	②親子通園、保護者懇談会などを通して、我が子を理解し子育てに元氣と見通しが持てるように支援したいと取り組んでいる。(家族支援)
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている。	21	2	・計画的に職員間で話す時間を確保するように努めている。 ・個別の相談や療育に対応することが多い職員もいるが、内容確認など必要に応じて相談しながらやっている。	③関係機関との連携を行う。特に保育所や幼稚園・子ども園などと併行通園している場合は、園との連携を通して、安定した生活が送れるように支援している。(地域支援・保育所等訪問支援)
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	21	2	工夫しているが、療育の中身を広げていくための教材研究はまだ必要だと感じる。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	22	1		○子どもに合わせた適切な支援を行うために努力をしているが、部門の増加、ニーズの多様化による職員の役割の多重化、複雑化などのため、職員は手いっぱい状況である。職員全体で業務改善にとりくみ、よりよい支援に結びつける努力が必要である。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	22	1		○活動プログラムや活動内容は、子どもの状態に合わせて適切に行われていると思われるが、やや経験主義に陥ったり、目的や意図があいまいになったりすることも見られ、研修や検討を重ね、療育の質を向上させるよう努める必要がある。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	20	3	・反省や打ち合わせをするよう努力はしているが、難しいこともある。 ・いつもは取れないこともあるが、できるだけ時間をとるようにしている ・時間をとれない時も多い。効率的に時間を使う計画性などが必要。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	23	0		
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	21	2			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	22	1		
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	22	1		○子どもの状態に応じて、特に配慮を要する子どもとその家族に対して、必要に応じて関係機関(母子保健、ネウボラ課、障がい福祉課、保育課、学びづくり課、基幹相談支援センター、こども発達支援センター、子ども家庭センターなど)と連携し支援を行い、子どものすこやかな育ちを支えることができるように努める。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	21	2		・医療的ケア及び重症心身障害のある等に該当しない ・十分な連携はおこなえていない。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えている。	20	3		医療的ケア及び重症心身障害のある等に該当しない
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	23	0		コロナでとりにくくなっているが、電話連絡など行っている。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	23	0		
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	22	1		○移行支援、他機関との交流や情報共有、研修などについては、継続して行う。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。	14	9		※利用されている園児数が多いので、計画性をもって行うように努める。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。	20	3		
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている。	22	1		内容によっては具体的に資料などを準備している
保護者への説明責任等	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている。	21	2		○保護者への支援は、保護者との信頼関係を築くことを大切にしながら、親子通園、保護者懇談会、連絡帳の交換などの日常的な支援と、年数回の保護者教室や学習会などの学びの場を設け行っていく。そのために、職員研修や事例検討を行い、より質の高い支援を行っていくよう努力する。コロナの影響でできない面もあったが、よりリスクを下げた実施できる方法を模索していく
	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	22	1		運営規程などについての説明機会は少ないと思う。
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の供給すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	23	0		
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	23	0		○年度初めのガイダンスや入園前の説明会で、運営規定や利用者負担について管理職から説明している。現場の職員にも運営規定や利用者負担について説明する機会を設けるよう努める。
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	23	0		○契約や、児童発達支援計画などの説明や同意に関して、児童発達支援ガイドラインで使われていることばに慣れておらず、理解されにくい面がある。できるだけその用語を使うように努力している。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	23	0		○保護者とは、直接対話、電話、連絡帳などの方法で意思疎通や情報伝達を図るようにしている。今年度から、緊急連絡はメール配信サービス「チェックインシステム」のメールで一斉送信で行っている。保護者が閲覧したかどうか分かるシステムになっており、連絡漏れのないように努めている。
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	23	0		○こぼと会(こぼと園保護者会)、療育を守る親の会などへの協力と連携を深める。
	㊲	個人情報の取扱いに十分注意している。	23	0		○保護者の意見をしっかりと受け止め、あわせて今回の事業所評価、自己評価をもとに、園のあり方や支援のあり方を見直し、よりよいものになるように努めていく。
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	23	0		○日常的な保護者への説明や相談に関して、さらに保護者が相談しやすくなるように、職員との信頼関係を深め、あたたかく専門性を持った支援を行っていくように努める。
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	13	10		・以前は夏祭りなどで地域の人に案内したり、とんどのもちを地域のお世話になっている方にお配りしていたが、コロナ禍でできていない。 ・コロナ禍の影響で行事等の機会が持てていない。 ・現在は、コロナ禍のため行事がない

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	23	0	マニュアルは作成しているが、訓練が実施できていないものもある。	<p>○想定される緊急時等のマニュアルを漏れないように策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施するよう努める</p> <p>○毎月の避難訓練と建物の安全管理は行っているが、毎日通園ではない子どもが多い中、避難訓練をすべての子どもが経験できるように計画を立てていく</p> <p>○10月に地震、津波を想定した避難訓練を計画し、実施した。職員が災害時の状況を想定した訓練を実施したが、今後園児や保護者も含めた地震や洪水、津波を想定した訓練を計画していく。</p> <p>○全国的に災害が多発している状況も踏まえ、緊急時の気象情報や避難情報の把握と対応(保護者との連絡や関係機関との連携)を図り、安全を守るよう努める</p> <p>○虐待や身体拘束に関する研修を全職員で行い、日常に引き付けて考え、誰もが対処できるように取り組む。</p> <p>○虐待や権利擁護に関する研修に参加し、職員全体に周知している。今後も、年間で計画的に虐待や権利擁護、身体拘束等に関する研修参加に努め、人権意識や適切な関わりを職員全体で確認し、共有していく。</p>
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	19	4	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水や津波などを想定した訓練を実施できていない。 ・火事の避難訓練が中心で水害、地震については十分でないので、今後検討が必要であると意見を出している。 ・地震・洪水時の訓練は行っていない。 	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	23	0		
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	23	0		
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	22	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの確認を日々行い、記録を残しているが、傾向を振り返り対策をまとめたものはまだ作成できていない。 ・毎日終礼での確認は大いなる意義があると思う。 	
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	23	0	・研修を定期的に行っている。防止策や発見時の対応などの計画と指針を整備していく必要がある。	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	22	1		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙4

公表：2023年 3月 8日

事業所名：「ゼノ」こぼと園 保護者数(児童数)100 回収数 80 割合80%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	65	11	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・満足しています。 ・現在の年齢であれば十分だと思います。 ・敷地が広いと思います。 ・自由に遊べるスペースきちんとあります。 ・一部の子がのびのびスペースを使っている感じがして気になります。 ・室内の活動時には、親・子ども・先生が揃うと、走りまわったり、ダイナミックに体を動かすには狭いと感じます。 ・活動内容によっては、もう少し広さがあっても良いと感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基準以上の活動スペースは確保されています。室内での活動時には、活動の内容によって、部屋の使い方を工夫し、子どもたちや保護者の方たちにとって、安心して分かりやすく活動できるよう環境づくりに努めます。 ○併せて一日も早く新しい園舎建設の計画が実現するよう努力いたしますので、保護者の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。
	② 職員の配置数や専門性は適当か。	59	14	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・困り事があれば、すぐに対応してもらえて感謝している。 ・毎回話を聞いてくださり、感謝しています。 ・いつも大変助かっています。 ・職員の配置数は十分だと思います。 ・専門性については満足しているが、先生の数が足りないように感じることもある。 ・子どもが多動だが、どこに行っても受け入れてもらえる。給食の先生や事務の方も含め、どの先生もみんな笑顔で連携が取れていて、子どもの名前も覚えてくれていて、職員同士の愚痴などを一切聞かないのは珍しいと思う。外部の方からも先生の評判を聞いていて、徹底していて信頼出来るし、素晴らしいと思う。 ・単独通園が多い日や、園外活動の際は先生の人数が足りていないと感じます。虫取りなど園外活動の際、単独の園児が一人で道端を歩いていたこともあり危なかったです。園児4人に対して職員1人の規定は満たしているのかもしれませんが、活動内容や単独児の人数によっては先生を増員してもらいたいです。 ・療育については満足できているが、職員が足りていないのか先生の負担が大きいように見えます。 ・昼食後に親達話し合いに出た時の自由遊びの間、先生が少なくて子ども達も外と中で分かれたりして大変そうに感じる時がありましたが、声かけをされて連携される姿もあるので、大丈夫かなと思ってお任せしています。 ・どの先生がどういう専門なのか、いまいち分からないので、なんともいえない。 ・もう少し職員の配置をして欲しいなど感じる時があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員配置は、基準を大きく上回っています。しかし、難聴・発達・相談など、部門も療育形態も様々であるため、安全で質の高い支援を行うには、職員が基準以上に必要な状態です。子どもたちや保護者の方たちが安心して過ごせるよう、必要に応じて、引き続き人材の確保を行い、職員体制、保育体制づくりに努めます。 ○また、親子通園であり保護者との懇談を大切にしていますが、保護者懇談の時間帯に十分な保育体制をとることが課題です。毎日、保育時の職員体制と配置を確認し、子どもたちと保護者の方たちが安心して過ごせるよう努めます。 ○職員の専門分野は様々ですが、どの職員も子どもを総合的に見て支援できるよう努めております。そのため、一人一人の職員の専門分野が分かりにくいかと思いますが、相談内容によって、担当以外の職員が対応することも可能ですので、ご相談ください。

環境・体制整備

③	生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	56	16	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今の生活空間は、本人にとって過ごしやすいと思います。 ・現在ある環境の中で工夫して頂いていますが、後から増えた面積などとの繋がり方で複雑な建物になっていると感じます。 ・ろけつとの部屋は、本人にとって分かりやすいようになっていますが、バリアフリー化はされていません。建物がたくさんあり、ろけつとの部屋にたどり着くまでに、混乱するかもしれません。 ・第三こぼと園を利用するとき、古い建物を利用しており、構造がわかりにくいと感じる。 ・配置はこども達にも分かりやすくなっていますが、建物自体の老朽化は気になります。 ・どこに何があるかもう少し視覚的に示してもいいと思う。 ・給食室からろけつとの部屋までの通路が狭すぎるため、すれ違う時に危険を感じる。 ・全ての箇所の鍵が手間がかかりにくい。安全性は承知のうえで、その施錠に手間取っているうちに子供が脱走しかねない。もう少し簡単に複数箇所鍵をかける方法がないか。 ・園庭の門を乗り越えている子どももいて、バスからの門の坂は急で危なく、乗降時に隙間をすり抜け道路に飛び出しそうで不安を感じる。門が開いていた事もあったし、職員の方がしっかり守ってくださっているのと、親の目があるから事故が起きていないだけな気がする。 ・駐車場が遠いし、階段があり、バリアフリーとはいえない。 ・バリアフリー化ができてないため、移動手段がバギーなので通園しづらい。 	<p>○建物基準などは基準を十分満たしていますが、築46年経ち老朽化していること、また難聴幼児通園施設の基準でスタートし、定員や制度の変更に伴い増築、改築を重ねているため複雑な建物構造になっています。</p> <p>子どもの年齢や状態、療育形態も様々で、日替わりの部屋使用になります。</p> <p>子どもの状態や必要性によって、子どもたちにとって、安心して分かりやすく楽しく活動できる環境づくりに努めます。</p> <p>○併せて一日も早く新しい園舎建設の計画が実現するよう努力いたしますので、保護者の皆様のご理解をお願いします。</p> <p>○園庭の門が開閉がし易いように、安全性が損なわれないことを確認し、3つあった鍵を一つ減らしました。</p> <p>○危険が想定される場面や場所、子どもの行動は、定期的に職員全体で確認し、改善と対応に努めます。日々の通園の中で危険に感じることがあれば、引き続き遠慮なくご意見ください。</p>
④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	51	28	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも楽しく過ごさせて頂いています。 ・子どもにとって生活しやすいと思います。 ・古い建物ですが、清潔感があり、先生方の配慮を感じます。子どもの意見として、汽車の部屋のトイレが怖い、臭いが気になる時がある、子どものトイレの便座が冬は冷たいので使いたくないとありました。 ・汽車の部屋前のトイレにハンドソープが無いので設置して欲しいです。 ・仕方ないことだけど、冬場は凄く寒いです。 ・1階が暗く、冬場は暖房が効きにくくて寒い。 ・第3こぼとは壁が剥がれていたり、ほこりっぽいと感じる。 ・ろけつとのトイレの手洗い場に他のトイレと同様に手洗いせっけん、消毒布を一緒に設置してほしい。 ・給食時、子どもが外で食べるのは構わないが、トイレの前では食べたくない。スペースがなくて仕方がないのは分かりますが、不快だしトイレに行けなくて困る。 ・園庭のドブは何用ですか。生き物の割にはいないような…そうでなければ柵もなく危険と不潔感しかない。 ・ろけつとの部屋は比較的新しくきれいですが、他は老朽化が目立ちます。 ・施設の老朽化が気になる 	<p>○築46年経ち、老朽化が目立つ建物ですが、掃除や危険箇所の把握修繕に努め、極力清潔で安全な環境づくりに配慮します。</p> <p>○寒さ対策、トイレのハンドソープなどの交換、配置など、できることは即時対応させて頂きますので、引き続きご意見いただければと思います。</p> <p>○園庭の溝は、生き物とりなど、子どもの良い遊び場になっています。危険のないよう見守りを徹底すること、衛生面に配慮し、遊んだ後の手洗いを促すなどに気をつけますので、ご理解頂けたらと思います。</p>

適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	69	4	0	7	・子どもの困り事などを専門的な視点でみて頂いています。	○「ゼノ」こばと園では、お子さんと保護者の方に一緒に通ってきていただき、障がいや発達の状態に合わせて、集団療育と個別療育を行います。楽しい遊びや体験を通して発達の土台の力を育て、意欲的で安定した生活が送れるように、「児童発達支援ガイドライン」に沿って次の内容で取り組んでいます。 ＜発達支援＞ 難聴のお子さんに対しては、聴力状態の把握や補聴器・人工内耳の装着・調整・聴覚活用をすすめ、またすべてのお子さんに対して、人と関わる力、経験や気持ちに根ざしたイメージやことば・コミュニケーションの力を育てるように取り組んでいます。 ＜家族支援＞ 親子通園、保護者懇談会などを通して、我が子を理解し子育てに元氣と見通しが持てるように支援したいと取り組んでいます。 ＜地域支援＞ 保育所や幼稚園・こども園などと併行通園されている方は、園との連携を通して、安定した生活が送れるように支援しています。 ○これらガイドラインに沿った内容で児童発達支援計画を立てていますが、一人ひとりへのより丁寧な説明を心掛けて行くよう努めます。 ○支援内容については、概ね保護者のみなさんのご理解を得ていると思われませんが、さらに丁寧な説明とニーズの把握に努めると共に、研修や検討を重ね、療育の質を向上させるよう努めます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	63	7	0	10	・子どもだけに関わらず、きちんと最近の様子を聞いてくださる姿勢がみられます。 ・設定されている4項目の支援の明確な線引きがわかりづらく、正しいことを記載いただいていると思いますが、ハッキリそれが正しいと理解が難しいです。 ・地域支援がよくわからない。	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	68	6	0	6	・いつも細かい変化にも気づいてくださり、対応してくださっています。 ・出して頂く計画の内容、日々の活動それぞれに大きな疑問はなく、子どもが成長する姿を見て、不満に思うことはありませんが、それぞれの紐付けが自分の理解の中で全てがうまく結びついていないと思うので、このあたりをケアしていただける機会があるとありがたいです。 ・されているのか、されていないのかが、具体的には分かりにくい。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	64	9	1	6	・子供一人一人にあった関わりや、活動を考えてくださっています。 ・ある程度の流れはあるが、子どもたちの状態に沿ってあると思います。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	41	11	13	15	・コロナ禍で、園としての交流活動が減っている(3)。 ・コロナ禍のため、適正に交流が行われているかがわかりづらいです。 ・現在、働いているので保育所も利用し、接する機会もあるが、働いていないと基本的にはないと思う。 ・あまりないかなと思います。しかし、こばと園のお友達と毎週会うのが我が子にはすごく嬉しいようです。 ・まだこばと園しか通っていない為ありません。コロナも影響しています。 ・交流とは平行通園も該当するのでしょうか？質問の意味が理解できずすみません。	○コロナ禍のため、例年通りの交流はできていません。感染状況を見ながら、出来る範囲で保育所幼稚園との連携は行っていますが、十分なことはできていないのが現状です。 ○今後も、併行通園先と確認しながら、可能な交流の在り方を探り、出来る限り実施していきたいと思えます。

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	74	4	1	1	・丁寧に説明をしてくださっています。	○運営規定については、入園説明会でお伝えしています。継続の方には、入園式、あるいはそれに代わる新年度ガイダンスでご説明しておりますが、今年度はコロナの感染状況等で、どちらも実施が難しかったので、曜日ごとに時間を設けお伝えしました。皆様にはご迷惑をおかけしますが、今後も感染対策に努めながら、できる限り、保護者の顔合わせや交流の機会を含めた、丁寧な説明の場を設けていきたいと思っています。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援内容」と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	68	6	0	6	・わかりやすく説明をし、わからない所の説明をしてくださっています。 ・あまり覚えていない。	○児童発達支援ガイドラインに沿った説明は実施できていません。ガイドラインに沿った支援内容になってはいますが、今後はより丁寧に保護者の方に分かりやすい説明に努めるよう、方法を検討していきます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか。	63	5	2	10	・関わり方などのアドバイスをいただいたり、また一緒に関わり方を考えてくださっています。 ・勉強会がそれにあたるとすれば、はい。 ・こちらが聞いたら答えてくださる形で、こうしてああしてなどはなく、親も子も自然体でいる、今はその段階なのかと勝手に思っています。 ・先生達から子どもとの関わり方を学べる機会がとても多い。 ・具体的にこれというのとはわかりませんが、こぼと園での活動そのものが、家族支援となっており、こどもに限らず保護者のサポートもして頂けていて、非常に助かっています。	○保護者支援を大事に考え取り組んでいます。プログラムとしてのトレーニング的な支援は行っていません。保護者の方にとっても、当園が安心して心地の良い場になるよう、それぞれのペースで子どもへの関わりを学べるよう取り組んでいます。年間を通して、保護者教室や学習会、保護者同士の交流などを実施しています。コロナ禍で例年通りに実施できないことも多いですが、オンラインでの実施や、広い会場を確保したり、時間や人数を限定するなど工夫し、できる限りのことを実施しています。今後も感染対策に努めながら、できる限りの保護者支援や交流の機会を計画したいと思っています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	76	1	0	3	・日頃から、情報共有をし、子供の関わり方について考えています。 ・〇〇くんお母さん、通園初期より、すごく落ち着いたね！！など、少しの変化でも気づいてくださり、子どもに対する変化を素早く気づいてくれる先生方の言葉掛けが嬉しいです。 ・こぼと園、幼稚園、家庭の三者間での情報共有の場を設けて頂いており、それぞれの子どもの姿が知れて参考になっています。 ・単独の時でもいつも先生から、様子を教えて頂いています。	○親子で通っていただき、親子で一緒に遊び、活動し、活動終了後には保護者懇談の時間を必ず持ち、活動の意味やこどもの様子について話し合います。 ○共に考えあったり、共有したりすることを通して、保護者が、我が子を理解し子育てに元気と見通しを持って仲間と共に歩んでいけるように支援したいと考えています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	75	2	1	2	・困り事などその都度、アドバイスや面談、電話対応など、丁寧に対応していただいています。 ・毎回毎回、先生の言葉に助けられています。	○保護者とは、直接お話ししたり、電話、連絡帳などの方法で意思疎通や情報伝達を図っています。また、緊急時などの情報伝達は、メールでの一斉送信も行います。

保護者への説明等	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	59	11	3	7	<p>コロナ禍もあり、保護者間との関わりが減ってきている。その中でも、できる限りの関わりを考えてくださっています。</p> <p>特にはないです。</p> <p>もう少し回数(時間)を増やしてもいいかなと思う部分は、あります、</p>	<p>○こぼと園の保護者会、広島県東部地域の通園施設の保護者会(療育を守る親の会)など、グループや各園を超えたつながりがあります。</p> <p>○全体行事や学習会でグループを超えた交流を計画していきます。</p> <p>○コロナ禍で、保護者同士の交流が制限されてしまうことが多いですが、今後も可能な範囲で感染対策に努めながら、保護者の交流、連携を深めていけるよう計画していきます。</p> <p>○毎回の療育時間の後に、保護者の懇談を実施していますが、それ以上に交流の時間や学習の時間が必要という思いがあれば、気軽にご相談ください。必要に応じて、出来る範囲で企画していきたいと思えます。</p>
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	60	6	1	13	・何かあればすぐに対応して下さっています。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	68	6	2	4	<p>・何かあればすぐに対応して下さり、感謝しています。</p> <p>・連絡帳だけではなく、連絡ノートが別にあるのは嬉しい。先生の返信をせかしている訳では無いのですが、書きたい時に手元に無い時はモヤモヤしますが、交換日記みたいでこちらは楽しい。ただクラス全員の相談に答える先生ひとりの負担は大きいのではと思う。何でも答えて受け止めてくれる先生の存在がありがたい。</p> <p>・子どものその時の気持ちを配慮して、寄り添っている姿勢があります。</p>	<p>○親子での通園時には直接お話をさせて頂いたり、必要に応じて電話や連絡帳での連携、相談対応も行っております。時間がなく、十分に連絡帳のお返事が書けないことがあり、ご心配をおかけすることもあるかと思いますが、可能な限り、必要な情報は電話や連絡帳、直接のお話など通して、漏れのないようお伝えできたらと思えます。</p>
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	63	4	2	11	<p>・ホームページ上で見れる情報をもっとあると良いと思います。お便りなども、ペーパーレス化を図っても良いのではと思います。</p> <p>特にはないです。</p> <p>・ペーパーレス化の取組みなど、去年と比べて管理がしやすくなりました。</p> <p>・Hpの事など促されたことがないので知らなかった</p>	<p>○月の予定表や、行事や学習会の案内は、メール配信システムのデータ送信でお知らせしています。</p> <p>○社会福祉法人「ゼノ」少年牧場の機関紙「ふれあい」や「こぼと園だより」を配布しています。</p> <p>○「ゼノ」少年牧場のホームページの中にこぼと園のホームページがあります。今後、ホームページ上での情報発信も検討していきます。</p>
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか。	68	6	0	6	・知らない	<p>○個人情報の取り扱いについては、入園時にご説明し、同意いただいております。</p> <p>○お互いを知り合い理解し合うことと、個人情報の保護とのバランスをとりながら保護者支援をしていくことに努めたいと思えます。</p>

非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	56	10	2	12	・感染症対応マニュアルではマスクはどうなってるんでしょうか？だんだんマスクを外ではしなくてもいいと政府が言ってきてますが、そのつどマニュアルをどう対応されていますか？	○防災対策は、毎月の避難訓練と建物の安全管理(火災報知機の点検、消火器の設置、危険個所の把握と対応など)に努めています。避難訓練については、毎日通園でない子どもが多いため、すべての子どもに経験できるように計画をたてて実施します。地震や津波については、職員は訓練していますが、今後、園児や保護者の方も含めた、訓練を実施していけるよう計画していきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	53	7	8	12	・火災の避難訓練はしたが地震の避難訓練はしたことがないので1度、経験しておきたい。	○コロナウイルスについては、その時々々の感染状況や、国および広島県、福山市等の方針を参考にしながら、感染対策を決めています。マスクについては、子どもたちはそれぞれの課題や状況がありますので、一律につけなければならぬ、つけなくても大丈夫というルールは設けておりません。保護者については、皆様が安心して通って頂けるよう、基本的にはマスクの着用や検温、消毒などの感染対策を引き続きよろしくお願いいたします。基本的なルールは定期的に見直しながら更新し、皆様にお伝えしますが、それぞれの立場や状況を理解し合いながら臨機応変に対応させて頂けたらと思います。何か気になることがございましたら、引き続きご相談して頂けるようお願いいたします。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか。	74	2	0	4	・とても楽しみにしています。 ・いつも楽しく通園させてもらって、いろんな学年のお友達や、先生方と関わって嬉しそうです。 こぼと園に行く日があるので、こども園でもギリギリ頑張っている ・毎週木曜日を楽しみに日々過ごしています!!! ・幼稚園の行き渋りがあるわけではないが、とりわけこぼと園への通園の方が嬉しそうにしているように感じます。 ・とても楽しく通わせて頂いています。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか。	66	13	0	1	・子どもとの関わりなどの悩みを熱心に聞いてくださり、気持ちに寄り添ってくださるので、いつも皆さんに元気を頂いています。 ・ここで良かった！私も通園を楽しみにしています。 ・親同伴でなくても良いようにしてほしい ・先生方、お友達のお母さんお父さんの言葉に日々感謝し、子育てを頑張っています!! ・こぼと園に通園できて良かったです!! ・いつもありがとうございます。大変満足しています。 ・子供の成長に対してプラスになっているか、今は分からない	○子どもにも保護者の皆さんにも満足してもらえるよう、引き続き努力していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、

その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 1日

事業所名 福山東児童発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	22	0		
	2	職員の配置数は適切である	14	8	クラス間で連携し支援の必要に応じてサポートし合っている。	各クラス適切な人数配置にしている。障がいの特性に配慮した職員配置にしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	22	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	22	0		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	20	1		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	22	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	21	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	17	2	保護者に見ていただけるよう貼り出しを行っている。自己評価の結果を職員間で周知し会議などで話し合っている。	職員会議で話し合った改善策の中から実行できることはすぐに取り入れるようにしている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	22	0		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	21	0		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	20	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	21	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	22	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	19	0	クラス内で子どもの状況に応じて必要な支援の内容を話し合っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	20	0		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	20	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	21	0		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	16	4	行えない日もあるがその都度職員間で確認し合えるように努めている。クラス会議等で話すこともある。	朝礼時に職員間で情報の共有をしている。その日の反省点を療育終了後に話している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	20	0		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	19	0			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	19	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	19	0		
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	9	0		

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8	0		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	16	2		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	16	2	子どもの様子をセンター療育中に見学してもらったり電話対応でひとりひとりの状況を連携したりしている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	17	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	16	コロナ禍でもあるため実施することが難しい。近くの公園に行き、挨拶をする活動は取り入れている。	現在の状況では難しいがコロナが緩和されたら交流の機会を持てると良い。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	10	7		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	20	0		
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	17	3	年2回の保護者面談で家庭での状況を聞きながら支援や育児のアドバイスをしている。また相談支援専門員とも連携を図っている。	センターを卒園した保護者の方に来ていただき講演会を行った。身近な存在から有意義な話が聴け保護者間で話げができた。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	20	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	20	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	20	0	茶話会・面談などで育児の悩みや困りごとなどを共有している。	来年度は親子活動の回数を増やして子どもの発達や特性を共に経験しながら適切な助言や子育ての悩みに応えていくようにしたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	20	1	人数の制限をし例年通りの行事を開催している。	本年度は2回の茶話会を開催できた。クラスごとや年齢ごと交流の場を設けた。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	22	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	20	0	「ひがしおたより」を月に2回発行し療育活動や行事・おしらせ・衛生にかかわることなどを発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	22	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	21	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	12	感染予防のため、現状では難しい。ポニー乗馬体験や他の動物との触れ合いなど、普段できない事を体験することがで	地域のとんどに参加した。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	22	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	22	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	20	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	20	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	21	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	20	1	職員会議でクラスやセンター全体で気になる様子を話し合っている。	自己チェック表で職員ひとりひとりの行動を自己評価し適切な支援を行っているかどうか振り返りをした。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	21	0		

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 5 年 3月 1日

事業所名 福山東児童発達支援センター 保護者等数(児童数) 49人 回収数 41人 割合 83.7%

	チェック項目	はい				どちらともいえない				いいえ				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	37	2	0	2	2	0	0	2	・クラスの人数に対して十分なスペースが確保できている ・子どもの様子、集中しているスペースもあり大変良いと思う ・最初は狭いかなと思っていましたが、参観等で見てみると、ちょうど良さそうだった	お子さんの様子に応じて、個別及び少人数のスペースでの活動を取り入れています。				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	30	8	0	3	3	0	0	3	・子どものペースで先生も子どもに合わせて取り組んでいると思う ・子どもの数に対して、先生数が少ない曜日があり、先生が忙しくされている様子が見られる ・十分な人数で見てくださっているし、子どもの特性についても詳しいなと思っている	お子さんの発達や支援に応じて配置数は変えているが基本的に配置基準以上の配置です。 職員の急な休みにはセンター全体でそのクラスの応援に入るため協力合っています。				
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	40	0	0	1	1	0	0	1	・階段なども半分ずつで降りる人昇る人と分けられていたり、段差もなく構造化されている ・きちんと活動のスペースがあるので良いと思う ・視覚支援等充実していると思う					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	40	1	0	0	0	0	0	0	・いつ行ってもきれいにされており、事故などがないように配慮なされている ・玄関に活けてある花に癒される。季節の飾りつけも感性を刺激される ・子どもたちの様子を見ながらスペースを活用しているので良いと思う ・オムツを入れる袋が教室にあったのでできれば別室かトイレで保管してほしい	衛生面に配慮しながら別室にて使用済の紙パンツは保管します。				
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	37	2	0	2	2	0	0	2	・現段階を細かく教えてくれているため、一緒に理解しあえている ・計画作成者との直接の関係構築が出来たら良いと思う。就学に向けての相談をしていく上で機会が増えると良いと思う ・子どもに寄り添った活動をしているので、日々子どもが成長していると改めて感じている ・本人の成長ペースに合わせた支援計画が作成されていると思う ・本人や保護者の意向に沿って課題を作成されていると思う	必要に応じてクラス担任、児童発達管理責任者・管理者が、子どもについての質問や説明の場を設けるようにします。				
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	35	1	1	4	4	0	0	4	・親が求める子ども像と先生が実際に見ての現段階、次へのステップアップがきちんと計画してくれているので、成長を実感できます ・計画に基づいていて、計画表を拝見して分かりやすい ・本人のレベルや発達に合わせて項目や支援の内容が設定されていると思う					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	38	1	0	2	2	0	0	2	・個別性に応じて、きちんと関わってくれている ・子どもの様子を見ながら日々支援が行われているのがよく分かる ・計画に沿った支援が行われていて、現在の段階がわかりやすい					
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	34	4	0	3	3	0	0	3	・とても工夫されている ・子どもが飽きないように工夫されている ・日々の成長・苦手な事柄に合わせて対応して頂いている					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	20	15	15	0	0	15	コロナ禍で難しいと思う	公園などの活動で他園児や地域の子どもと交流を持つときなどは園だよりなどで保護者へもお知らせする機会を設けていきます。				
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36	4	0	1	1	0	0	1	とても分かりやすく理解できた	毎年3月の説明会で説明しています。理解しやすい内容、方法で伝えていけるように努めていきます。				
保護者への説明等	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	39	1	0	1	1	0	0	1	・たまにある ・とても分かりやすく説明を受けた ・具体的な支援方法を示してもらったことで家庭でも取り組める ・本人の発達に合わせた内容に基づいて計画され、それに合わせた説明がされていたと思う					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	28	6	0	5	5	0	0	5	・きちんと行われている ・先輩ママの話などを聞くことができた ・常に相談にのっていただき、今後どうしたら良いのかアドバイスをもらっている	今年度は卒園児の保護者に来ていただき講演会を行いました。今後も保護者の方のニーズに応えられる講話会を行い学べる機会をつくっていきます。				
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていくか	33	5	0	1	1	0	0	1	・日中の様子は帳面を通して共有することができている ・帳面を上手に活用され、情報共有できている ・帳面だけでなく、口頭で話して欲しい ・バス通園などで直接送迎ほどの頻度ではないが、何かあればすぐに伝えてくれる ・就学に向けての課題を共有して子どもの苦手な事を知ることができた	必要に応じて電話連絡をするようにしていきます。 行事や面談などを通してお子様の姿を保護者の方と共有していきます。				
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	35	3	0	1	1	0	0	1	・たまにある ・帳面に書かれている事での疑問点など電話にて細かく教えてもらっている ・面談の機会は十分にいただいている ・質問したことなどに親身になって助言いただいている ・家庭訪問や面談などでアドバイスを頂いたり困ったことを相談できている	年2回は保護者面談をさせて頂いております。それ以外の時の相談は随時行わせていただくようにしており、これからも努めていきます。				
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	30	6	0	3	3	0	0	3	・参加できない時がある ・コロナ禍でもあり、参加できてなかったため、連携はできない ・保護者同士の集まりがあり、情報が入ることにより安心する ・支援してくださっているし、そのような機会がある時は積極的に参加するようにしている ・頻度が少なく他の行事と重なってしまったりしてあまり行くことができなかった	茶話会では普段の様子やテーマを決めておこないました。保護者同士が繋がれるような機会を増やしていきます。				
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	34	2	1	2	2	0	0	2	・悩みごとなど、どんな小さなことでもきちんと向き合って相談を受けてくれる ・時々相談させていただくと、先生方ですぐに共有していただいで、迅速かつ適切に助言くださいます ・相談したら、どの先生もすぐに対応してくれる ・対応が遅く改善されるまで日にちが経ち過ぎている	ご希望があれば相談を随時行えるように努めていきます。 職員間で情報を共有しできるだけ迅速に解決できるように努めていきます。				
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	4	0	3	3	0	0	3	・きちんとされている ・センターでの子どもの様子を降園時に口頭でも聞きたい ・バス通園ですが、何かあれば電話で話してくれる ・何かある時は電話で連絡いただいているので、助かっているども	帳面以外に送迎時にお子さんの様子をお伝えできるようにします。				
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	30	5	0	4	4	0	0	4	・HPをあまり見ることがない為、どちらともいえない ・日々発信されていると思う ・更新の頻度はあまりないのかなと思うが、お便りなどに分かりやすく活動予定や行事の事を載せてくださっている ・HPで見るよりプリントをもらうことが多い ・ブログはよく更新されている	コロナが落ち着いた後参観の機会や方法を変えて、行事等のHPへの掲載をしているので、より積極的におたより等で保護者へお知らせしていきます。 自己評価の結果は法人のHP掲載と玄関に貼り出しを行っているのでお便り等で保護者の方にお伝えしていきます。				
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	38	0	0	1	1	0	0	1	行事などは写真不可なため、安心している					
	非常時等	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	36	3	0	0	0	0	0	・年に一度、親も含めての訓練もある為、いざという時の行動把握に繋がっている ・日中に門がずっと開いてますが、大丈夫でしょうか ・コロナ以外の感染症流行については、あまり告知がないのかなと思われ、知らないうちに罹患・治療しているかも思ったりしている	業者の車の出入りもあるため門の施錠は行っていませんが、玄関やテラスの鍵は2か所必ず施錠しています。 保健だよりを定期的に配布し衛生生における対応方法を周知できるように努めます。				

の 対 応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	39	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの活動だけの訓練に加えて親子での避難訓練の機会もあるので、ありがたい ・定期的に避難訓練や消火訓練を行っていただいていると思います 	今後も年間計画に沿って訓練を行っていきます。
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	36	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しみにしていて、休日も行きたいと言う ・朝、玄関で自分で靴を履いて、玄関でスタンバイをしています ・バス通園も先生や友だちに会うことも楽しみに毎日通っている ・長くお休みした次の登園はやや嫌がることもあるが、行けばニコニコして帰宅します 	
	23	事業所の支援に満足しているか	33	5	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・大満足です ・防犯に対して不安がある ・その日の様子を口頭で伝えてほしい。無言で何も伝えずに返すのは少しさみしい気がする 	保護者の方の悩みや思いに寄り添い、家庭とセンターが同じ方向でお子さんの支援ができるように努めていきます。年に数回不審者訓練を行っています。さすまたを購入し、実地訓練も行っています。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

事業所名:あしび園

配布 4人
回収 4人
回収率 100%

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は、改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		・親子通園なので活動によっては狭く感じる場面もあるが、概ね適切 ・クラスごとに遊戯室を利用している	・これからも、教室での活動で狭く感じる時は、遊戯室を交代で利用するようにしていきます
	2 職員の配置数は適切であるか	4		・子どもが崩れているときなど、より丁寧な関わりをするためには、職員が多い方が良いと思うこともある ・基準を満たしている	・職員間の連携を密にして対応できるように努めます
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	3	・構造化されてはいない。しかし、関わりの中で子ども達にわかりやすい状況を意図的につくり、工夫を行っている ・昔の建物ということで使いにくさや過ごしにくさを感じる。段差等なく、バリアフリーが好ましい ・建物が古く、段差は様々な所にあるが、転倒などによりケガがないようゴムマットなどを敷いている ・教室の目の前が園庭であったり、水道、トイレ等も自分で向かえるような環境となっている。バリアフリー化にはなっていない為、その都度職員が支援している	・施設が老朽化している為、危険箇所がないか常に点検していきます。段差などは引き続き安心して過ごせるように配慮していきます ・子どもたちにとって、分かりやすい生活空間が作れるように、これからも工夫していきます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	1	・できる範囲で過ごしやすい空間を作っている ・清潔と言えるかという点、古い環境なので難しいと思う ・利用後の消毒を行っている ・思い切りダイナミックに楽しむには十分な広さであり、発達に合わせて内容を工夫している	・感染症のこともあり、特に消毒は徹底して行うようにしていきます
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	1	・各会議で毎回のように話題にあがっている ・常に職員間での話し合いの中で設定したり、見直ししたりしている ・クラス会議や学習会などを通して意見交流を行い、終礼などでも確認し合っている	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		・評価表に限らず、日々の中で出てくる意向等については職員と共有し、対応している ・改善できる所は、その都度検討を行っている	保護者からの評価については、評価をもとに、改善できることは早急に取り組んでいきます
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		・全員でも見直しつつ、次に生かしていけるよう努めている ・評価結果は、ホームページ状上に公開している	・多角的な視点での評価を基に、今後の支援に繋がっていくように努力していきます ・評価結果を職員間で共有し、改善内容について検討していきます
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2		・外部評価を受けていませんが、より良い支援ができるように、今後必要であれば行いたいと考えていきます
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		・学習会や研修会(zoom)など参加している ・講演会や研修への参加で学習するようにしている ・クラス、リーダー、全体と、細かくグループ分けをし、内容も多面的に行っている	・今後も、オンラインでの研修になることが多くなると予測されるので、機器の充実に努め、積極的に参加していきます
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4		・保護者と子どもについての課題を話し合うようにし、それを踏まえて計画を作っている ・日頃の様子を出し合いながら、個々の発達を捉えてクラス担任、児童発達支援管理責任者も共に計画をたてている	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	・ツールは使用していないが、多面的に子どもを捉えるように心がけている ・園児の状況(家庭や併行先の様子)が記入できる園独自の記入シートを使い、子どもの状況を把握している ・園で作成したモニタリング用紙を使用し、保護者に聞き取りを実施している	

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・個々の様子に合わせて大事にすべきポイントを保護者と共通のものにしていきながら進めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも、保護者の方々の思いをしっかり聞きながら、ガイドラインに沿った支援をしていきます
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長は、計画とは違うこともあるので、今の子どもの姿を見て支援を行っている ・クラス担任で把握し、見直しなども行いつつ、より良い関わりになるように努めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達検査、子どもたちの評価、保護者との懇談などを通して、個別支援計画の作成をしています。 ・より良い支援ができるように、また、計画だけに終わらないように、日々職員間で検討を重ねていきます
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月会議を行い決定している ・クラス会議を行って、クラスの中でも全体でも把握している ・クラス会議等で定期的に話し合いの場を持っている ・クラス担任、児童発達管理責任者と共に行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが、見通しをもちながら楽しめるように、だいたい1ヶ月間ぐらいは同じ活動のプログラムにしています。子どもたちの様子に応じて、変化を加え工夫をしています。 ・活動内容について、また活動のねらいなども含め、分かりやすく保護者の方々にも伝えていくように努めます
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの様子を捉えた上で変更している ・子どもの様子に応じてプログラムを変化するよう、常に話し合いを行っている ・指導者会議等で他クラスの内容も伝え合い皆で考えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが興味を持っていることも活動に取り入れながら、楽しさに繋げていきます
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で身に付けたいことや集団では難しいことを丁寧に考えて作成している ・母子通園のため、親が仲介となりながら参加していけるような取り組みも伝えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中でしんどい姿がある時は、個別でじっくり関わりながら、今大事にしていきたい事を、保護者の方々と共に確認しあっています
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼で確認している ・その日の流れや分担について声を掛け合っている ・業務日誌に記録している 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の子どもたちの様子や、状況などを綿密に報告し合い、共有していきます ・子どもたちへの対応、関わり、評価などについても、定期的な会議を設定し、支援内容や取り組みについて意見を出し合い検討していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・終礼で振り返りを行っているが、懇談等で参加できない時もある。懇談後や後日確認している状況 ・反省点や流れについての確認を行っている ・クラスで振り返りを行っている。また、終礼でも報告し合っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の終礼で、1人のケースを出し、検討したり報告し合っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・日誌や個別の記録をとり、振り返りも行っている ・記録を基に会議を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼に参加できない時は、必ず記録に目を通すようにしています
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との話を行う中で、計画の見直しが必要な場合には職員間で話し合っている ・半年に一度モニタリングを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、低年齢でもあり、1つの目標に対してじっくり取り組みながら、モニタリングを行いながら個別支援計画は、1年に1回の作成しております。今年度からは、モニタリングを行った後、後期の個別支援計画を作成しています
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な時は参加している
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・頻繁ではないが、必要に応じて行っている ・ケースにより関係機関との連携を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・市が行っている療育相談事業へ参加する中で、個のカンファレンスをし、共に考えあう中で、子どもの捉え方を共有していきます ・また、さらなる関係機関との連携を大切に、支援の充実に繋げていきたいと考えています ・自立支援協議会の作業部会でも、情報共有しあっています
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は、医療的ケアが必要な子はいませんが、これまでは、保護者を通して確認している 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保健師さん、医療との連携を密にしながら、必要があれば医療機関などとも連携をとっていくようにします。
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者を通して確認している 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力医療機関にも、その都度連携をとり緊急時に対応できるようにしていきます
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて行っている ・保育所等併行通園の子に対しては園での様子を定期的に連携している ・電話連携を行っている 	

関係機関や保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	3		・移行支援の必要性が出て来た場合は、情報共有していきます ・発達検査の状況は、教育支援委員会に情報提供しています
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		・同人内での研修会に参加し連携をとっている ・研修が行われている時には参加している	・児童発達支援センターへの入園が決まった子どもたちの引き継ぎを行い、支援の繋がりを作っています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	4	・保護者側からのニーズはあるが、実際併行通園している園児が大半を占めている	・併行通園の子も多いので特に園からの交流はしていません。今後も行う予定はありません
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	3	・管理者が参加後、報告を受けている	・協議会の中では、地域の関係機関との連携を密にしていき、情報交流しながら誰もが住みやすい地域にしていきます
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	4	・毎回の参加の時に、相談に乗り状況把握をはかっている ・家での様子や園での様子を常に保護者と話すようにしている ・口頭だけでなく、連絡帳やおしゃべり会なども利用し、子どもについて共通理解を図っている ・親子通園でもあるため、利用時間内のどこかで日々の様子も含め丁寧にサポートしている	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	3	・保護者の障害受容に向けて、日々の繰り返しの中実践しながら丁寧に伝えていっている	・今後は、ペアレントトレーニングについても学びながら、保護者支援で大切にしたいことを職員間で共有していきます
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか	4	4	・契約、入園の際に伝えている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	4	・懇談の中で説明している	・保護者への説明は、懇談時により丁寧に説明できるように努めます
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	4	・登園時にはできるだけ保護者とコミュニケーションをとり話しやすい状況を作るようにしている ・長期で休む場合にも電話連絡をして状況を確認している ・おしゃべり会、卒園児母の話し会を行って	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1	・クラスのおしゃべり会では、保護者だけの会を設けている ・月に2回のおしゃべり会の中で、保護者同士や職員との対話を行っている ・おしゃべり会と称して保護者同士が意見を交わしたり、繋がりを作る場を月2回～4回のペースで行っている ・保護者会としては行っていないが、親睦が深まっていくようにクラス内で時間を取っている	・おしゃべり会を通して、日々の悩みなどを出し合い、思いを共有しながら横の繋がりを作れるようにしています ・年に1度卒園児の保護者による研修会を行い、先輩のお母さんのお話を聞くことにより、子育ての見通しが少しでも持てるようにと考えています
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	4	・即時対応している ・必要に応じて園長につなぎ、対応している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	4	・毎月の園だよりを発行している ・園だよりの発行で予定を伝えたり、今大切にしたいことなども紙面にして伝えている ・ホームページを作成し、活動状況なども伝えている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4	4	・十分注意をしている	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	4	・障がいとはっきりわかかっていなくても丁寧に伝えるようにしている ・必要に応じて口頭だけでなく書面やノートも利用している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	4		・今後も、地域の理解・繋がりを絶やさないように、託児ボランティアをはじめ、他の行事も視野に入れていきます
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	1	・定期的訓練を行い、色々な役割を考えている想定できないこととして理解するようにしている	・マニュアルを作成し、保護者の方々に、いつでも閲覧して頂けるようにしています。 ・緊急時の対応として、考えられる訓練を想定して実施していきます
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	4	・火災や地震についての訓練を行っている	・火災以外の災害についての訓練や、予期せぬ事態の対応など、職員間で共有し合い緊急時にも対応できるように努めます

非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者も登園されるので詳しいことの確認はしていないが、入園時にはアレルギーや発作の聞き取りを行っている ・年度初めに必ず書類と口頭で確認している ・親子通園の為、細かい服薬や予防接種の確認は行っていない ・入園時に聞き取り、記入してもらっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬や予防接種についても、聞き取りや書面への記入をお願いして、子どもたちの状況把握がしっかり出来るようにしていきます
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に確認し行っている ・お弁当時に他の子との交わりがないよう目を配っている ・個々の状態に合わせ対応している(小麦粉遊び、風船など) ・入園時に聞き取り、記入してもらっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつを配給しているグループでは、実物を見てもらいながら最新の注意を払いながら対応しています ・クッキング等の活動がある時は、保護者への聞き取りを十分行います
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・終礼などで共有している 	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・学習会などで対応している 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受けた職員が、全職員に周知できるように学習会を行っている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束とは何かを全員で共通にし、保護者へも丁寧に伝えている ・個別支援計画の説明時にも話している 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況や場面によっては、安全確保のためにやむを得ず行動や場면을規制することはありますが、その事を丁寧に保護者へ説明していくと共に、個別支援計画にも記載して説明できるように努めています ・入園説明会で、説明を行い理解が得られるように努めます

事業所名:あしび園

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	回答
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	85	4			<ul style="list-style-type: none"> 現状で問題ない 密にならず園庭や2階など色々な場所で楽しめている 活動スペースの事で子どもが困っている様子はない 園庭が狭く感じることもある 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で、密にならないような遊び方の工夫はしていますが、子どもたちの分りにくさにならないように、これからも考えていきます 少しでもゆったりと安全に広く遊べるように、おもちゃや乗り物の整理をしながら環境を整えていきます
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	79	7		3	<ul style="list-style-type: none"> 十分だと思う 常に全員の事を気にかけてくれ、安心して活動できている 人員不足と感じたことは殆どない 配置数には満足している 専門性があるのかよくわからない 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の配置などは、ローカの壁に掲示しております、園の概要の中に記載しています クラスを越えて、全員の職員と、しっかりと連携しながら、個々の子どもさんと関わっていきます 園内外での学習会で学んだことを、職員間で共有し合えるようにしていきます
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	64	17	3	5	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容が絵で表示されていたり、個々のマークが棚等に示されていてわかりやすかった。 トイレ、シャワー室が改善されれば良い 建物が古いのでバリアフリーではない 絵カードを使う等で子どもに分かりやすくされている 次に何をするのかまで、子どもに分かりやすくしてある わかりやすく構造化された環境だと思う 	<ul style="list-style-type: none"> 建物も老朽化しておりバリアフリーではありませんが、危険箇所は、マットや人工芝などで安全を確保できるように努めていきます。また、滑りやすい箇所は、より一層安全確保に努めます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの活動に合わせた空間となっているか	83	5	1		<ul style="list-style-type: none"> 年季が入った建物だが、いつもきれいに清掃されており、気持ちよく過ごせた いつも清潔に掃除されている きれいにされていて、気持ちよく利用させてもらっている いつもきれいで安心して過ごせる 冬場の水道がお湯が出るとありがたい 廊下の手洗い場にもハンドソープがあったら良い 拭き掃除が必要と感じる所は多少ある 	<ul style="list-style-type: none"> 未歩行児の遊べる環境は作りにくい現状ですが、遊具の工夫で(箱車、スクーターなど)外の空間でも遊べるようにしていきたいと考えています
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	86	2		1	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの状況に合った計画書になっていると思う 保護者として納得できる支援計画を作成してもらった 子どもの行動や気持ちをよく見てくれている 子どもの今の状況を理解した上で計画されている 計画内容はしっかりアセスメントされた上で立てられた内容の濃い適確なものを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> これからも、子どもの状態の見極めを行った上で、家庭や併行先での姿と合わせて、児童発達管理責任者を中心に個別支援計画を作成していきます
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	78	2		9	<ul style="list-style-type: none"> 困った事があればすぐ対応して頂いて感謝しています 具体的に丁寧に説明してくれた 子どもの今の状況を理解した上で支援内容が決められている 支援内容の中にもあったように身の回りのことで出来るが増えるように日々の遊びや生活の中で関わっていきたい よく子どもの姿を見てくれていて、どう支援していくかとてもよく考えてくれていることが伝わってくる 	<ul style="list-style-type: none"> あしび園では、特に「発達支援」「家族支援」を中心に支援内容を考えています。親子関係を深めながら、人との関係を豊かにできるように遊びや生活の中で具体的な支援方法を考えていきます。そして、保護者の方々には、これからも個別の懇談の時間に、より分かりやすく丁寧に説明していけるように努めます

7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	83	3		3	<ul style="list-style-type: none"> ・どの先生も子どもの事を理解して接してくれている ・子どもの様子を見ながらいつも声をかけてくださいます ・十分行われていると感じます 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの様子を、常に全体で確認し合いながら個と集団での取り組みを考えていきます
8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	82	3		4	<ul style="list-style-type: none"> ・月ごとに活動内容が変化するので楽しんでいます ・毎月色々な活動をしていると思う ・子どもの新しい発見に繋がりがちな親子とも楽しめている ・毎月の活動内容が変わっており、工夫されていると感じる ・季節にあった物等様々な活動をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちがより楽しく手応えを感じていけるよう、職員全員で療育内容の検討を行いながら、これからも努力していきます
9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	19	12	34	24	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の為、実施はしていないと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・併行通園では、必要に応じて連携を行い、その中でも訪問・来園の必要があれば対応しています ・交流は、併行通園の子が多いので、今後も特に考えていません ・あしび園での時間は、母子関係を深め、親子で楽しめる関係性をじっくり積み重ねていく事を大切にしたいと考えています
10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	76	9	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時、分かりやすい説明があった ・入園説明会で配布された資料では情報が不足していると感じた ・初めに丁寧に説明があった 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学時、入園にあたっての契約時等に、説明させて頂いています ・変更があった場合は、その都度、おたより等でも詳しくお伝えしていくように努めます ・分かりにくい所は、丁寧に伝えるように努めます
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	79	5	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・個人面談できちんと説明してもらった 	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談の時間を使いながら、丁寧に分かりやすく説明できるように努めていきます
12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	57	10	2	20	<ul style="list-style-type: none"> ・状況をみてアドバイス等してくれている ・困ったときには速やかに実践的なアドバイスをしてくれる ・日々支援されていると感じる。困っていることを十分アドバイスしてもらっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・困ったことや心配なことがある時は、いつでも対応が出来る体制を整えていきます ・ペアレントトレーニングという形式にはとらわれず、子どもたちの状況や保護者の思いをしっかり聞きながら、よりよい支援に繋がっていくよう努めます
13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	86	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の合間を縫って、先生方が話を聞いて下さり、近況を報告し共有できていたのでありがたかった。 ・先生方から声を掛けてくれたり、話を聞いてくれるので子どもの現状等もよく分かってきている ・先生がこまめに話をしてくれるのでありがたい ・子どもの変化などすぐに気づいてくれ、声を掛けてもらっている ・先生達の連携もすごいと思う ・困ったことはないか聞いてくれ、相談等記入できるノートもある ・コミュニケーションをとる中でされていると感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、日常的に保護者の方々と話をしながら、子どもさんの状況を把握し支援していけるように努めていきます ・後半には、保護者とのモニタリングの中で、目標や個別支援計画の評価を丁寧にしています
14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	89				<ul style="list-style-type: none"> ・面談以外でもきちんと話を聞いてもらえる ・いつも具体的なアドバイスをもらえ、前向きな気持ちでいられる ・困った事にアドバイスがもらえる 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別懇談やクラス懇談などを定期的に計画し、悩みなどを共有できるように考えています。また、話ができない時は連絡ノートも作っていますので、一人で抱え込むことなく相談してもらえたらいいなと思っています

保護者への説明等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	72	7	4	6	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会や保護者会はないが、保護者同士のつながりが出来るように配慮されている ・コロナの影響もあると思うが、保護者会はなかった。保護者同士の交流の場があると情報交換していきたい。 ・おしゃべり会を通して他の保護者さんと話す機会があったり声を掛け合う場面があり、横の繋がりを作るきっかけになっている ・おしゃべり会やOBとの交流等大切な時間が持てた ・おしゃべり会を欠席したときの内容を後で教えて頂けると勉強になったり、情報収集になるのでありがたい ・おしゃべり会はとても有意義だと感じている 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の繋がりが持ちやすいように、これからも職員が仲立ちとなっていきます。 ・保護者だけでのおしゃべり会も実施していますが、回数など検討していきます。 ・託児に来て下さる卒園された保護者の方々の話を聞く機会を作り、子育ての見通しが持て、子どもとの関わり方のヒントが見つければいいなと考えています ・おしゃべり会を欠席された方の為に、前回話したことをまとめて伝えるように努めます
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	86	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で大変迅速に情報共有されていると思い、素晴らしいと思う ・相談の際は、一緒に考えてアドバイス等をしてくれるので助かる 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の連携をしっかりと取り合せて、園全体で一人ひとりの子どもたちと向き合っていけるように努めます
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	89				<ul style="list-style-type: none"> ・少しの時間でもしっかりと話を聞いてくれる ・その都度対応してくれる ・個別対応により配慮されている 	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	78	4		7	<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりやホームページで確認できている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページには 月1回のアップしか出来ていないのですが、園便りや掲示などで伝えるようにしていきます ・自己評価の結果は、ホームページ上で公表しています
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	81	2		6	<ul style="list-style-type: none"> ・現状で問題ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も個人情報の取り扱いには十分注意していきたいと思えます
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	76	6	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練の時に説明があり、わかりやすかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルは、いつでも閲覧できるようにしていますが、全体に周知できるように、クラスにも案内文を掲示しています ・火災以外の災害時の訓練として、地震災害の訓練を初めてしました。他の訓練も、今後検討していきたいと考えています
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	76	6	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の訓練としては地震・火事を想定した避難訓練があり安心。内容を見直す必要性はあると感じた ・定期的に訓練があった ・定期的に行われている 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回ではあるが、定期的な火災訓練・地震訓練を実施しています。ただし、土曜日・午後からの療育時間には避難訓練を実施していないので、今後は検討していきたい
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	86	3			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの、のびのびとした姿が見られる ・「先生のとこ行く！」といつも楽しみにしている ・とても楽しみにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも、子どもたちだけでなく、保護者の方々も、安心して通って頂けるよう努力していきます ・保護者の方々も、「一緒に遊んで楽しい」と思って頂けるよう検討していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	86	3			<ul style="list-style-type: none"> ・大変満足している ・通い続けることができてよかった ・子育てに自信が持てるようになり、楽しんで子育てできているのでとても感謝している ・週2回では物足りない 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で楽しく通って来て頂けるように、これからも療育内容の充実、保護者との信頼関係を深めていけるように努めていきます

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

配布：32家庭中 28家庭

記入年月日： 令和 5年 3月 8日

回答：28家庭回答 回答率88%

配布期間：2月20日～3月7日

事業所名： あゆみん福山新涯

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点 課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 事業所内は子どもが活動等できる広さは十分にあると感じるか	15	8	2	3	利用児童が多い時は少し狭い感じがする。	活動や利用人数に応じて、スペースを確保するよう心掛けています。今春、転居予定。
	2 職員の数は適切だと感じるか	26	0	0	2		活動や利用人数に応じた職員の配置を行いながら、事業所入口ファイル内にあります職員人数記載についても、周知していただけるように伝えさせていただきます。
	3 事業所内は子ども達が困らないような空間（配置）になっていると感じるか	27	1	0	0		今後も引き続き環境整備に努めてまいります。
	4 事業所内は清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると感じるか	26	1	0	1		整理・整頓、清掃を毎日行い、来所時は手洗いの後手指消毒を継続して行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どもと保護者の気持ちや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画書が作成されていると感じるか	27	0	0	1		利用児童についての様子や今困っていると思われること、課題について随時話し合い、現段階に沿った支援計画書を作成していきます。
	6 児童発達支援計画書はわかりやすく記載されていると感じるか	27	0	0	1		
	7 児童発達支援計画書に沿った支援が行われていると感じるか	26	1	0	1	計画書に沿った支援も大切だが、あゆみんを楽しみと思える居場所作りを引き続きお願いしたい。	子どもたちに「たのしい」と感じてもらえる場所であり続けられるよう心掛けてまいります
	8 支援内容が固定化しないよう工夫されていると感じるか	25	2	0	1	「短所を改善しなくては」よりも日々楽しく遊び、学ぶ、といったことが感じられて良い。 季節のイベント、製作を取り入れていて良いと思う。	多角的に子ども達の様子をしっかりとキャッチし、現段階に沿った支援につなげていきます。
	9 事業所が保育所や認定こども園、幼稚園等との連携がとれていると感じるか	19	6	0	3		利用開始時や計画書の更新時、進級就学といった際に必要に応じて連携を取らせていただいておりますが、保護者の方への説明が不十分だった為、園との連携後にもしっかりと情報共有を行ってまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	10 契約書、重要事項説明書、利用者負担等について丁寧な説明があったと感じるか	28	0	0	0		
	11 児童発達支援計画書作成後に、計画に基づいての支援内容の説明があったと感じるか	26	1	0	1		計画書作成後、内容を説明させていただき署名捺印いただいておりますが、今後はより丁寧な説明を心掛けてまいります。
	12 保護者に対して子どもとの関わり方についての説明等が行われていると感じるか	25	2	1	0		今後も連絡帳や送迎時を利用し、より丁寧な説明を心掛けてまいります。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると感じるか	27	0	0	1	とても十分に意思疎通ができていると感じます。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する相談等の支援が行われていると感じるか	25	2	1	0	もう少し面談の数を増やしてほしい。	モニタリングを利用しご相談に応じていますが、ご要望がございましたらいつでも遠慮なくお声掛けください。送迎時にも声をかけさせていただきます。
	15 父母会の活動等の開催が必要だと感じるか	9	4	12	3	この状況ではまだ父母会として集まるのが難しいと思う為、もう少しコロナが落ち着けば、と思う。 子どもの利用日や家庭事情も様々だと思うので、特に必要性は感じない。	コロナの状況を鑑みながら、今後何かの企画もできたらと考えます。
	16 子どもや保護者からの相談や依頼についての対応体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていると感じるか	26	1	0	1		日々の申し送りを含めたミーティング等を通して、利用児童についての現況、現段階での困りごとについて全スタッフが周知し、連携の取れた支援を行っていただけるよう努めてまいります。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると感じるか	26	2	0	0		更にきめ細やかな配慮を心掛けてまいります。
	18 ホームページで、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていると感じるか	26	0	0	2		ホームページにて発信しておりますが気になること等ありましたら、管理者までご連絡頂けるとお伝えできる範囲ではございますが、お伝えさせていただきます。
19 個人情報の取り扱いに十分注意されていると感じるか	25	0	0	3		配慮しておりますが、気になる点がございましたら、いつでも管理者へお問い合わせください。	

配布：32家庭中 28家庭

記入年月日： 令和 5年 3月 8日

回答：28家庭回答 回答率88%

配布期間：2月20日～3月7日

事業所名： あゆみん福山新涯

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点 課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	20 緊急時対応等、周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が十分に実施されていると感じるか	14	5	0	9	子ども達にストレスのない範囲で不審者対応や火事、地震などの万が一の場合に備えて、まずどうするか、どこに逃げるか等、実際に行動する訓練を行ってほしい。定期的に訓練してもらっているのでありがたいです。職員さん同士では十分なされていると感じます。送迎時も電話を携帯されており、連絡手段の回線が複数あるため安心してお任せしています。	集中豪雨や地震に備えて実際に避難経路を歩いたり、地震が起きた時の対処の仕方など行っておりますが、今後は定期的に様々なケースを想定した訓練が出来れば、と考えます。また情報発信にも心掛けたいと考えます。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていると感じるか	13	4	0	11		
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	26	2	0	0	カレンダーを見ながら、通うのを楽しみにしています。子どもも大満足しています。	
	23 事業所の支援に満足しているか	28	0	0	0	できるようになったことがたくさんあり、集団活動がスムーズに行えるようになってきたと感じます	

事業所職員向け

令和4年度 児童発達支援 自己評価結果

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○	・テーブルをたたんで部屋を少しでも広くはしているが、利用人数が定員上限まで入ると、空間の確保が難しい。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・適切に配置している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・利用者の特性に応じた環境になるよう配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか		○	・清潔さが保てるように、チェックを行い清掃・消毒を行っているが、手洗いやトイレが療育室外になるので不便さがある。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・全員参加で研修を行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・保護者アンケートを実施し、改善に向け取り組んでいる。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・毎年実施して、HPにて公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・外部評価の実施は行っていない。今後検討をしていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・資質向上のための研修の機会は保障している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・アセスメントを行うとともに、職員からの情報共有や保護者面談を行ったうえで、支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・標準化されたアセスメントツールを利用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・ガイドラインの内容から適切に項目を選び、具体的な手法と支援内容を作成している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・児童発達支援計画に添った支援を実施している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・毎月の定例会議及び連携ノートを利用し全員で行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・活動の振り返りと常に改善を目指すことにより固定化はしていない。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○		・子どもの状況に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・必ず実施している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・療育後は必ず振り返りを行い、内容に伴うことや保護者からの情報などを共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・記録を取り全員で共有し、支援の改善につなげている。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・定期的(6ヶ月に1度)または、必要に応じてモニタリングを行い、個別の支援計画の見直しを行っている。	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・各会議にはそれぞれ最もふさわしい者が参加している。	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・地域の関係機関と連携を行っている。	

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・転園の場合は、移行支援として連携を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・転園の場合は、移行支援として連携を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・必要に応じて、就学先との連携を行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	・特定の団体と交流する計画を立てていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・「連絡協議会」に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・親子通園を基本にしているため、日々保護者と話し、速やかに対応している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・契約時に説明を行っている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・保護者には説明を行い、同意を得ている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	・コロナ禍の為、保護者会の開催を実施することができていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・体制については契約時に説明を行い、適切に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・毎月「おたより」を発行し、翌月の予定や連絡事項を知らせている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・十分注意している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・様々なツールを使って情報の伝達を行っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・行事においては地域住民との交流はできていない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○	マニュアルは作成しているが、保護者への周知は不十分である。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		施設が定期的に行っている避難訓練に利用者も参加している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・契約時に健康調査を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・事業所内で研修をし、周知徹底している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・虐待防止と権利擁護の研修会に参加し、事業所内で研修を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・身体拘束の事例はない。

保護者等向

令和4年度 児童発達支援評価結果

回答数 26名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	26				
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	23	1		2	
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画*1が作成されているか	23	2		1	
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	25	1			
	6	児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	9	6	2	
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	2			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	10	7	2	コロナ禍のため難しい
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	6		3	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25			1	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	22	3		1	
14	個人情報に十分注意しているか	24	1		1		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19	4	2	1	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	11	2	4	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	23	3			毎週楽しみにしていて、朝からワクワクしています
	18	事業所の支援に満足しているか	24	2			

*1 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

2022年（令和4）年度 事業所評価表集計結果（公表）

神辺育成会児童発達支援事業所「なないろ」

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1		1
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	2		1
9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない 子どもと活動する機会があるか	2	1	4	3
12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	1		4
15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者 同士の連携が支援されているか	3	1	5	1
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	9	1		
22	子どもは通所を楽しみにしているか	10			

保護者からのご意見

- ① 人数が多ければ狭いと思う。少し狭い気もするが、公園へいったりもしているので良い気もする。
- ④ 見た感じは綺麗だが、お昼寝布団の裏に綿埃がついていたことがある。
- ⑨ コロナの関係で無かったように思える。
- ⑮ コロナの影響で他の保護者と交流できませんでした。
- ⑲ 連絡帳の入れ間違いがあった。他者に見られたくない人もいると思う。
- ㉒ どちらかと言えば楽しみにしている。出来ることが増えてきて、毎日楽しみにしています。

事業所よりの回答

- ① 園庭が狭いので、活動によっては地域の公園を利用しながら取り組んでいます。
- ④ 児童が降所後は掃除を行っていますが、引き続き丁寧に行っていきます。
- ⑨ 保育園の子育て支援と連携を取りながら取り組んでいく等、今後考えていきたいと思えます。
- ⑫ ペアレント・トレーニングは行っていませんが、保護者からの相談には対応するようにしています。
- ⑮ コロナの影響で行事が中止となり行えませんでした。育成会のサポートファイル記入会と連携を取りながら考えていきたいと思えます。
- ⑲ 入れ間違いがありご迷惑をおかけしました。連絡帳は個人情報なので、入れ間違いのないよう十分注意していききたいと思えます。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 1日

事業所名:ギフト

保護者等数(児童数) 18

回収数 10

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	90%			10%	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	80%	10%		10%	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%				安全に配慮されていると思う。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※2が作成されているか	100%				
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%				
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	90%			10%	
	8 活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されているか	90%			10%	色々な活動をしてもらっている。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	50%		10%	40%	

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	90%			10%	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※4等)が行われているか	60%	10%	10%	20%	相談に乗ってもらっている。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	90%	10%			
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	90%		10%		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20%		30%	30%	感染症の事もあるので、実施できないのは仕方ないと思う、以前がどうだったのかは分からないが、今は満足している。 無回答20%
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	70%			10%	無回答20%
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	70%			10%	無回答20%
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	60%	10%	10%		無回答20%
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	70%			10%	無回答20%	
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	40%	10%		30%	無回答20%
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20%	10%		40%	無回答20%
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	80%				無回答20%
	23 事業所の支援に満足しているか	80%				無回答20%

この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月1日

事業所名:児童発達支援 放課後等デイサービス ギフト

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員配置数は適切であるか	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		手洗い場に高さを補助する台を設置している。 トイレには補助便座を用意している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		職員同士のミーティングや連絡ノートでの情報共有、月1度の振り返りを実施している。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		事業所内の掲示板で公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第3者委員の方々に行事に参加して頂き、評価を受けているが、今年度はコロナ禍で行事が予定通り実施できていない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		職場内研修・外部講師による勉強会・各自研修への参加などを行っている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		日々療育後に保護者の方とお話をしたり、アンケートや電話にて情報を共有している。	
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		WISC-IVや新版K式発達検査などを実施している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		担当者会議を行い、支援に必要な項目から具体的な支援内容を設定している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		活動前後に職員間で内容を共有し、次回に繋がるよう話し合いを行っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○				

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		特記事項は必ず当日に振り返り、その日が難しい場合は、後日振り返っている。	記録や日報など書面でも共有できるようにしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		相談支援事業所のサービス担当者会議は、子どもの状況に精通しているものが参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/		対象児童の利用がない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/		対象児童の利用がない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		必要に応じて、今後検討していく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		〃
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		他事業所との電話での連携や、センターが実施する研修に参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	利用児は保育所などを併用して利用している。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎回療育後に短時間ではあるが、話をする時間を設けている。	不十分な場合には、後ほど電話対応をする場合もある。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		家庭でできる関わりや環境の工夫を保護者と共に検討している。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		電話での相談や活動後のフィードバック、モニタリングを通して、保護者の相談に応じている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会を年2回、事業所として適宜実施しているが、今年度はコロナ禍で年1回の実施となる。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		その時に疑問に思ったことを、その月の内に保護者と話をして解決している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		掲示板の利用やチラシの配布をしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時などの対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者から情報を得ている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか				対象児童の利用はない。

児童発達支援評価結果報告及び取り組みと改善目標

ギフトぷらす

公表:令和 5年 2月 28日

	チェック項目	保護者様のご意見	取り組み・改善内容
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	のびのびと活動できている。廊下を使って有効に使われている。活発な子どももいると思うので安全のためもう少し広くてもいいのかなと思う。	人数や活動内容によって、部屋を使い分けながら活動を行っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	充分。	人数配置の基準に則って、保育士・児童指導員・指導員を配置しています。
	3 生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境になっているか。事業所の設備等は、スロープや手すりの設置など、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	支援場所が建て物の2階にあるが、子が昇降する時か鳴らす職員がついているし、子が一人で階段の昇降ができないように1階と2階の施錠がきちんとなされていて安心できる。手洗い場や物の位置など子どもに分かりやすく表示されており、使いやすい環境になっている。	持ち物の置き場を分かりやすくしたり、ひらがなに興味や関心を持ってもらうきっかけになればと思っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	適切な環境になっていると思う。	集中力を削ぐ様な掲示は物は避け、来所後のルーティンはイラストを用いて分かりように工夫しています。
	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか		保護者様への聞き取り、日常の様子をお聞きするアンケートを実施、担当者会議に基づいて6か月ごとに作成しております。
適切な支援の提供	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	わからない。	計画書作成の前には担当者会議を行い、適切な支援内容を話し合い決定しております。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	行われていると思う。	定期的にスタッフ間でミーティングを行い、計画書の目標内容の見直しが必要と判断した場合、新たな目標設定、支援内容の変更を行う場合があります。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか		季節に応じた活動内容を毎年アレンジして行っている
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	わからない。コロナ感染拡大予防のため、難しいと思う。他保育所の子と一緒に関わり過ごしている。	近所の神社や公園へ出かけた際に、地域の子ども達や地域の方たちとの触れ合いの場を今後も持っています。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	丁寧な説明がされていると思う。	ご契約の際に重要事項説明書を直接ご説明していますが、以後も連絡帳やおたよりの配布等でご理解頂けるよう努めます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	わからない。 細かい所も丁寧に教えて下さる。	こういったねらいでその目標を立てたかをご説明させていただき、お家でも出来る取り組みなどもお伝えさせていただいております。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	施設内見学がコロナの影響にて十分できない、活動内容を一部画像でみるだけでは伝わりにくいこともある。定期的に面談して意識して関わりがもてるようになっていく。	コロナ禍という事もあり、施設見学は行っていませんが、2類から5類に移行後は、参観日週間の設定を行い保護者の方に療育を見て頂く機会を予定しております。またペアトレはプログラムとしては設定していませんが、個別の相談には応じております。

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	支援は行われているが、ギフトからからの評価や指導は伝わりにくい。ノートやちょっとした時間に近況等の報告、相談時間をとって下さるので助かる。タブレットでその日の活動を見ることができ、子どもの姿を共有でき、良いと思う。利用後、その日のうちにタブレットで情報を伝えて下さる。	連絡帳や直接保護者様に、日々の活動内容やお子様の様子をお知らせしています。活動がどういった力を育むのか等も併せてお話させて頂いております。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	ノートを通じて、悩みに対して助言を下さりありがたい。懇談のようなものがあれば嬉しい。行われている。	特に年長児の保護者様に関しては、就学の関してのご相談をお受け出来るように、夏と冬、年に2回個別面談を行っております。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	どちらともいえない。コロナ感染拡大予防のため、難しいと思う。コロナでなかなか機会はないが、たまに広い体育館で会って話ができている。	年に1~2度の保護者会、またグループ全体でのギフト祭りやもちつきイベントがコロナ禍の為中止せざるを得なくなり申し訳ありませんでした。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	相談したこと、ちょっとした伝言等を全ての職員が認識し取り組み等して下さるので信頼できる。悩んでいる事があると迅速に対応、日程を合わせ、面談に応じてくださる。	ご相談・申し入れ(苦情)の受付は随時、窓口担当と責任者を設けて行っております。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	配慮がされていると思う。	日々の送迎時のお話、連絡帳、お電話にてやりとりをさせて頂いております。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	そう思う。	今のところホームページはありませんが、連絡帳、おたより等の活用で、行事のご案内やその他の情報の発信も行っております。自己評価結果については所内に掲示しております。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	そう思う。	日頃より注意徹底しておりますが、今後もより十分な配慮を心掛けて参ります。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	わからない。	防災・防犯・感染症対応マニュアルを作成し、それに基づき避難訓練を年2回行っております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	わからない。	避難訓練は、年に2回行っています(火災訓練、不審者対応訓練)今後も出来るだけ多くの子ども達に参加してもらえるよう設定いたします。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	大好きな居場所となっている。いつも楽しい活動を考えてくださり、楽しみに通っている。どちらともいえない。ギフトからのお友達もでき、とても楽しそうに通っている。いつも「いきたい」と毎日楽しみにしている。	何か一つでも、お子様が「できた！」と思える支援内容を設定しております。
	23	事業所の支援に満足しているか	支援の工夫や目的、内容がとても充実しており先生の対応も良好。ささいな事でも対応していただき満足。事業所に通うことが出来て、子どもが成長したと思う。子の困り感に対して職員が理解し、療育を進めてくださるので。安心して子を託すことができる。	子ども達の小さな変化を大切に、今後も様々な活動を取り組んで参ります。

※今年度の自己評価表の項目の取り組みと改善目標についてのご報告をさせて頂きました。今後も保護者の皆様にご意見を頂戴しながら、さらに喜んで頂けるよ事業所にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 こどもアシスト「ぼの」東福山教室 保護者等数(児童数) 5 回収数 2 割合 40 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	2					
	2 職員の配置数や専門性は適切である	2					
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2					
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	2					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	2					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	2					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある				2		
適切な支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	2					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	2					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている				2		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている				2		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている				2		
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	2					
17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	2						

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	1			1		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	2					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	1			1		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	1			1		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	2					
	23	事業所の支援に満足している	2					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年 3月 1日

事業所名 こどもアシスト「ぽの」東福山教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		コロナのため、研修機会は少ないが、質の向上を目指しオンライン研修や事業所内研修を行っている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		フィードバック時に情報収集を行い、日々の支援や支援計画作成につなげている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		今後は密な連携を検討する
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		対象児がない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		対象児がない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			フィードバックの際に情報共有を行っている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		今後は検討が必要
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今後は検討が必要
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			更に注意を払う
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」東福山校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	1対1の個別ですので、人数は配置できるようになっております。	
	②	職員の配置数は適切である	4	1	どの時間帯においても、利用者様と職員が1対1で支援できる環境を整えております。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	事業所の間取りを技能スペース、職員室の大きく2フロアに分け、職員の目の届きやすいようにしています。また、事業所内の段差は無くしています。	外の段差などはありませんが、来校時に気を付け、入室頂いた際に声掛けと見守りを行っています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	生成面に関しては、毎年社内研修や集団研修で、最新情報を取り入れております。療育の目的に合わせて、変化させております。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	2	毎支援後、必ず保護者様と利用者様の日々の様子をフィードバックする時間を設け、迅速に対応できる環境を整えております。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	毎年欠かさず公表を行っています。また頂いた意見は、株式会社クラ・ゼミとして共有し、改善しております。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	⑥と同じ。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		第三者の外部評価ではありませんが、福山地域3校舎が互いにチェック評価を行っております。また、会社内部評価の元、健全な運営を行っております。

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	月1度の地域研修、職員レベル別の社内研修などを行っております。また、発達支援研究所に研修を依頼し、知識面・技能面の専門的な発達に関する研修を行っております。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	毎支援後、必ず保護者様と利用者様の日々の様子に関して、フィードバックをする時間を設け、迅速に対応できる環境を整えております。また、定期的に事業所内でのケース会議を行い、指導員だけでなく、事業所として利用者様の個別支援計画書を作成しております。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	初回面談時、受付シート等で行っております。また、年1回の振り返りもアセスメントシートを用い行っております。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	個別療育という等事業所の特性を反映し、保護者様、利用者様、事業所の3視点で目標設定を立てております。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	ケース会議、事業所内ミーティング、支援記録の振り返りなどを通して確認し、必要によっては、個別支援計画の再設定を行っております。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2	⑬と同じ	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	⑬と同じ	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3	2	利用者様によっては、集団療育をしている事業所の幹旋を行っております。	個別支援に特化しており、集団療育の機会が少ないため、定期的に集団療育のイベントを行っております。

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	朝礼・夕礼にて利用者様の情報を担当職員が共有しております。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	⑰と同じ	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	株式会社クラ・ゼミとして、内部監査を毎年行い、セルフチェックをしています。また、月末に必ずセルフチェックを行っております。	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	⑱と同じ また、担当制を導入し、細かな変化に気が付ける体制を整えております。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	担当職員が参加しております。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	3	積極的に、保育園、幼稚園、関係機関に出向き、現場の職員さんと意見交換をしております。また、常に見学可能としており、当事業所での様子が知れるようにしております。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	3	該当児がいた場合、担当医に話を聞き、注意点を参考に対応しております。	
関係機関や保護者との連携	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	4	㉓と同じ	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	㉒と同じ	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	㉒と同じ	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	㉒と同じ	

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	2	㉔と同じ	
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	2	開催時は、出来るだけ参加しております。	
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	㉑と同じ	
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	2	療育の内容によっては、保護者様同伴で支援に参加していただき、お子様との関わり方、ご家庭でのあり方などアドバイスさせていただいております。	
	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	初回の契約時に、利用者様の状況に合わせた具体的な金額を用いながら説明させていただいております。また、校舎入り口にいつでも見られるように説明出来るファイルを設置しております。	
保護者への説明責任等	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	個別支援計画作成、実施の際には、児童発達支援管理責任者のみならず、直接支援する指導員も自分の言葉で言い換え、文字では伝わりづらい認識の違いをなくすように努めております。	
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	相談があった場合、時間を取り、面談などを適宜実施しております。	
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		現状、実施できておりませんが、より大勢の利用者様がつながれる、当事業所以外の関係機関の斡旋を行っております。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	相談申し入れにつきまして、営業時間帯いつでも対応できるようにしております。	
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	公式ラインサービス・当社ホームページを活用し、事業所イベントの告知を行っております。	

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	鍵付きロッカーを必ず使用し、社内研修にて、職員の意識の向上を図っております。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	利用者様、保護者様一人ひとりに「寄り添う」スタンスのもと支援をさせていただき、困り感を聞けるよう常に心掛けております。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2		③⑨と同じ 利用者様の特性に配慮しながら、地域参加型のイベントを構想しております。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	毎月、防災訓練を実施しております。また年間でスケジュールを組み、年2回は利用者様と一緒に避難訓練を実施しております。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	④①と同じ	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1	契約時に確認の他、定期的なアンケートにて把握しております。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	④①と同じ	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	兵庫、中国、四国、九州でヒヤリハットを共有し、事故防止に努めております。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	毎年、市主催の研修を初め、社内でも独自の研修、ストレスチェックをしております。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	運営規定や身体拘束についても、重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば対応していく体制を整えています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」東福山校

保護者等数（児童数）：8名（8名）回収数：8名 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	1	0	0	もう少し支店拡大と先生を増やしていただけたら、助かります。	嬉しいご意見ありがとうございます。拡大に向けては動こうとはしておりますが、福山市だけでも多くの事業所があるため、福山市と相談して開所させていただければと思います。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	1	0	0	もう少し支店の拡大と先生を増やしていただければ助かります。	1の内容と同様。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	2	0	0		現在の児童状況では、特に問題がない範囲と考えさせていただいておりますので、安全に様子を見させていただいております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	1	0	0		子どもたちのニーズなども考慮しながら支援道具など環境調整を行っております。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7	1	0	0	若干遠い為、回数が少なく残念です。	客観的に計画を立てることが出来る様に、ケース会議を得て、しっかり職員間で計画を考えさせてもらっております。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	0	何が正解かわからないから判断が難しいです。	ガイドラインを参考に、必要な方法に沿って、1人1人に合う内容を検討し支援内容に反映させています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	1	子どもにとって、何が正解なのかわからないから計画が正解かわからないです、	基本的に個別支援計画書に則った支援を行っております。

	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6	1	0	1	子どもにとって何が正解なのかわからないからわからないです。	子どもたちが機械的にならないように、その日の気分や様子も見ながら、活動に変化をさせてもらっております。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	0	3	保育所に通わせて余暇をつかっています。	出来るだけきりぎり広場で参加を呼びかけ、そこで一緒に出来るように声掛けはしております。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	0	0	1	丁寧です。	最初の契約時にできるだけわかるように説明をさせていただいております。必要な場合は、あらためて説明を行っております。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	8	0	0	0	子どもにとって何が正解なのかわからないから支援内容が正しいかわからないです。	保護者様と一緒にモニタリングを通して、計画した内容の説明を行っております。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	0	0	3		必要な場合により、同時に行わせていただくようにしております。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	0	0	1		送迎の際に状況を伝えさせていただいております。また、出来なかった話は、LINEなども駆使してご連絡いたします。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	0	0	0		必要に応じて連携をさせていただいております。半年に1回は必ず話し合う時間を作らせていただきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1	0	4		クラ・ゼミでの開催を試みましたが、集まりがなかったため、外部への紹介をさせていただいております。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	0	0	0		出来るだけ受けた相談は迅速に対応させていただき、配慮させていただきます。しかしながら、お答えできない場合もあります。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	0	0	1		送迎毎やLINEにて現在の状態など情報交換をさせていただいております。

	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	0	0	0	定期的にホームページは公開させていただいております。その内容は、外の掲示 QR コードからもすぐに見られるよう、また LINE のページからも見られるようにしております。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7	0	0	1	連携等以外の個人情報に係わる同意書にのっている内容以外で使用することはありません。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	0	0	3	外の掲示やファイルに閉じている通り、マニュアルを作成しております。それにしたがって、月 1 回の防災訓練なども行っております。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	0	0	3	月 1 回の防災訓練などを通して、緊急時のたぐわえなど確認をしております。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6	0	0	2	出来るだけ楽しんでいただけるように、いろいろな取り組みなど合わせて行っております。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	7	0	0	1	保護者様と連携を行い、満足していただける内容に随時確認して対応していております。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	②	職員の配置数は適切である	○		どの時間帯においても、利用者様と職員がマンツーマンで支援できる環境を整えております。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		玄関前に段差はありますが、身体的なハンディキャップを持つ利用者様がご利用されるときには、スロープの設置等を検討予定です。事業所内については段差はなく、支援スペースと職員室の大きく2フロアに分けています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		衛生面に関しては毎年、社内研修や集団研修で最新の情報を取り入れております。活動空間は個別のニーズに合わせ、パーティションで個室空間を作るなど、療育の目的に応じて変化させています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		個別支援計画だけでなく、日々の業務・イベントなどの企画で PDCA サイクル表を設け、ねらいや目的を確認し振り返りを行うことで、次の活動につなげています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年欠かさず公表を行っております。またいただいたご意見は株式会社クラ・ゼミ全体で共有し、改善に向けて取り組みをさせていただいております。	

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○	⑥同上	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者の外部評価ではありませんが、福山地域の「クラ・ゼミ」3校舎で互いにチェック・評価を行っております。また、社内評価システムの下で健全な運営を行っております。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		毎支援ごと行うフィードバックや面談等の情報を事業所全体で共有し、利用者様理解を深めながら計画を作成しております。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		初回面談時のアセスメントシートや、年度ごとに行う社内で統一されたアセスメントツールを使用しております。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		個別療育という当事業所の特性を活かし、保護者様、お子様、事業所の3視点で目標設定を立てております。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		ケース会議、事業所内ミーティング、支援記録、計画更新時の面談等を通して、支援内容や方向性を確認し、振り返りをしながら進めております。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		⑬同上
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		⑬同上
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		月に1度程度、小集団での活動を提案させていただきなど、状況に応じた支援の提供をしております。

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼・終礼を行い、利用者様情報や支援の役割分担など、必要な時には適宜、ミーティングを行っております。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		⑰同上	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		株式会社クラ・ゼミとして内監査を毎年行っております。また、月末にも必ずセルフチェックを行っております。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		計画更新や変更時には面談を行い、計画の評価、現状の共有を行い、見直しに繋がっています	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者並びに担当支援員が参加、もしくは情報共有をしております。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		当事業所の見学はいつでも可能にし、利用者様の様子が知れるようにしております。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			該当利用者様はございません。該当ケースがある場合には、積極的に連携の機会を設けます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			㉓同上
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		㉒同上	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		㉒同上	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		利用者様の選択肢の一つとして事業所を紹介していただいたり、連携がとりやすい環境を整えております。	

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			現状、実施できておりませんが、当事業所以外の関係機関の斡旋を行っております。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		㉑同上	
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		療育の内容によっては、保護者様同伴で支援に参加していただき、お子様との関わり方や声掛けの方法、ご家庭での在り方などアドバイスさせていただいております。	
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		初回契約時に利用者様の状況に合わせた具体的な金額を用いながら説明させていただいております。また、イレギュラーがあった際にも、納得いただける説明を心掛けております。	
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画作成時には、適切で丁寧な説明を心掛け、同意を得て支援を実施いたしております。	
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		㉑同上 場合によっては、事業所内相談、家庭連携を行い、サポートさせていただいております。	
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			㉑同上
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		営業時間帯はいつでも対応できるようにしております。また校舎入口に苦情窓口を掲示しております。	
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNS や当社 HP を活用し、事業所の様子や行事予定などの告知を行っております。	
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付きのロッカーを使用し、個人情報の保護に努めて	

				おります。また、社内研修において職員の意識向上を図っております。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個に応じた対応を行っております。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		当事業所の見学はいつでも可能にし、利用者様の様子が知れるようにしております。現状はコロナ禍の為、希望がありましたらオンラインで検討いたします。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルは事業所入口に置き、常時閲覧可能にしてあります。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月防災訓練を1回以上実施しております。また年間でスケジュールを組み、利用者様と一緒に訓練を実施することもございます。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		ご契約時に確認させていただいております。また日々のフィードバックなどから定期的に把握を行っております。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		ご契約時に確認させていただいております。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所内だけでなく、ブロック内の校舎でヒヤリハットを共有し、事故防止に努めております。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年外部の研修を受講しております。さらに社内でも独自の研修を行っております。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束について重要事項説明書や運営規定、個別支援計画にも明記させていただいております。社内でもマニュアルを策定しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023 年 2 月 15 日

事業所名： こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山 校

保護者等数（児童数）：3 回収数： 3

割合：100 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	1				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	3				職員も増え満足しています。	児童指導員 2 名以上配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	1				
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2				
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2	1				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3	0				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	1	2		1		

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3	0				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1	2				
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	0	2			
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	0				
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2	0		1		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	0				
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3	0				鍵付きのロッカーを使用し、個人情報の保護に努めております。また社内研修を行うことで、職員の意識向上を図っております。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3	0				
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	0			定期的に行って来ています。	毎月1回防災訓練の実施を行っております。実施後、教室に防災訓練報告書の掲示をしています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	3	0			とても楽しみにしています。	個別の療育だけでなく、定期的に小集団での活動も行い満足していただけるように療育をしております。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	3	0			いつも適切な対応ありがとうございます。	利用者様のニーズに応じた療育を行っております。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山三吉校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	1対1の個別ですので人数は配置できるようになっております。	
	②	職員の配置数は適切である	2	2	利用者様と職員が1対1で支援できる環境を整えております。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1	事業所の間取りを技能スペース・職員室の大きく2フロアに分け、職員の目が届きやすいようにしています。また、事業所内の段差をなくしています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	1	衛生面に関しては毎年、社内研修や集団研修で最新の情報を取り入れています。個別のニーズに合わせてパーテーションで個別空間を作れるなど、療育の目的に合わせて変化させています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	2	毎支援後、必ず保護者様と支援に対する利用者様の日々の様子などをフィードバックする時間を設け迅速に対応できる環境を整えております。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	毎年欠かさず公表を行っております。また、いただいた意見は株式会社クラ・ゼミとして共有し改善に向けて取り組みをさせていただいております。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	⑥同上	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		第三の外部評価はありませんが、福山地域3校舎が互いにチェック評価を行っております。会社内部評価の元、健全な運営を行っております。

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	月1度の地域研修・職員レベル別の社内研修などを行っております。 また、発達支援研究所に研修を依頼し、知識面・技能面の専門的な発達に関する研修も行っております。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	定期的に事業所内でケース会議をし一指導員だけでなく事業所として利用者様の個別支援計画書を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	初回面談時、受付シートにて行っています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	1	個別療育という当事業所の特性を反映し、保護者様、利用者様、事業所3視点で目標設定を立てております。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	ケース会議・事業所内ミーティング・支援記録の振り返りなどを通して確認し必要によっては個別支援計画の再設定を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2	⑬同上	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1	⑬同上	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	2	2	利用者様によっては集団療育をしている事業の斡旋を行っております。	個別支援に特化しており、集団療育の機会が少ないため、定期的に集団療育のイベントを行っています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	朝礼・夕礼にて利用者様の情報を各職員の担当を共有しております。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1	⑰同上	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1	株式会社クラ・ゼミとして内部監査を毎年行いセルフチェックをしています。月末に必ずセルフチェックを行っています。	

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	㊸同上 また、担当制を導入し細かな変化に気付ける体制を整えております。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	児童発達責任者ならびに担当職員が参加しております。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	2	積極的に、保育園・幼稚園・関係機関に出向き現場の職員さんと意見交換をしております。常に見学OKにし当事業所での様子が知れるようにしております。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	4		該当者なし。 該当ケースがある場合には積極的に連携の機会を設けます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	4		㉓同上
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2	㉒同上	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2	㉒同上	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	㉒同上	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	4	㉒同上	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	1	毎回欠かさず出席させていただいております。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	㉑同上	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	2	療育の内容によっては保護者様同伴で支援に参加して頂き、お子様との関わり方、ご家庭でのあり方などアドバイスをさせていただきます。	

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	初回の契約時に、利用者様の状況に合わせた具体的な金額を用いながら説明させて頂いております。また、校舎入り口にいつでも見られるようにしてあります。	
	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	個別支援計画作成、実施の際には、児童発達支援管理責任者のみならず、直接支援する指導員も自分の言葉で伝え、文面では伝わりづらい認識の違いをなくすように努めております。	
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0		
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4		現状実施しておりませんが、より大勢の利用者様が繋がる当社以外の関係機関の斡旋を行っています。
	㉔	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	相談申し入れにつきまして、営業時間帯いつでも対応できるようにしております。	
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2	LINE 公式サービス・当社 HP を活用し、事業所イベントの告知を行っています。	
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	鍵付きのロッカーを必ず使用し、社内研修にて職員の意識向上を図っております。	
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	1	利用者様・保護者様 1 人 1 人に寄り添うスタンスのもと支援をさせて頂き、困り感を聞けるように常に心がけております。	
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		㉓同上 利用者様の特性に配慮しながら地域参加型のイベントを構想しております。
	非常時等の	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	1	毎月防災訓練を実施。年間でスケジュールを組み、年 2 回は利用者様と一緒に避難訓練を実施しております。
㉚		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	㉙同上	

対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	1	契約時に確認のほか、定期的なアンケートにて把握を行っております。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2		
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1	ヒヤリハットを他教室とも共有し、事故防止に努めております。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	毎年市主催の研修を始め、社内でも独自の研修・ストレスチェックをしております。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	1		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山三吉校 保護者等数（児童数）：4名 回収数：4名 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	0	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2	0	0	2		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3	0	0	1		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	1	0		感染症が落ち着いたら交流の機会を設けます。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	1	1	0	2		毎支援後、保護者様と情報共有を行い、家庭での取り組みも提案させていただきます。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	0	0	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	2	0		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	0	0	1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	1	0	1		定期的にクラ・ゼミのブログやラインで配信しております。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3	1	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3	0	0	1		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	0	0	2		毎月避難訓練を実施しております。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	4	0	0	0		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	4	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年11月1日

事業所名 コペルプラス福山みどり町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			
	②	職員の配置数は適切である	5			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		毎日の清掃・消毒を徹底して行っている。換気も、気を配って行っています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5			（第三者評価実施なし）
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		研修案内をしたり、研修希望を受け入れたり、研修を受けやすい環境になっています。	
適切な 支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		保護者の方から家庭や園での様子を聞き、子どもの現状に合わせた支援計画を立てています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			
-----	---	--	---	--	--	--

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		支援計画をふまえて、レッスンを組み立てています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5		集団生活に課題がある子に対しては支援計画の中に応じた課題が入っています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		朝礼で行っています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		レッスン後に毎回記録をとっています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			
関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1		
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				

連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	保護者の意向を聞き、それに沿って行うようになっています。	
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	3	保護者の意向を聞き、それに沿って行うようになっています。	
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	適宜連絡を取るようになっています。	
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3		個別、小集団レッスンなので交流する機会は設けていません。

保護者への説明責任等	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	3	児童発達支援協議会に参加しています。	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	4		コロナ渦で進められずにいましたが、これから取り組んでいきます。
	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			
保護者への説明責任等	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		父母の会、保護者会はありませんが、保護者の意向があれば、保護者同士話せるような配慮はしていきたいです。

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	月末の製作活動の様子を入りに掲示しています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5			
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年2月28日

事業所名: さくらんぼ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適正であるか	○		園庭やウッドデッキ、近くの海や公園など、様々な場所を使って支援を実施している。	
	②	職員の配置数は適正であるか	○		個別が必要な子に対しては個別で支援が行えている。	職員による勉強会を実施して、サービスの質の向上に努めている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		完全なバリアフリー化はできていないが、車椅子でも移動や排泄は行えるようにしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と割り振り)に、広く職員が参画しているか	○		業務の中心となる職員に関わらず全職員で会議を行い、計画、実施、評価、改善を柔軟で迅速的に行えるようにしている。	
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価結果を保護者に配布している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		講師の方からの助言等は受けているが、外部評価機関に依頼はしていない。
	⑧	職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部研修に参加できるように、積極的に促している	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		チームに分け、行事計画やアセスメントを行っている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	標準化されたアセスメントツールは使用していないが、事業所独自の書式でアセスメントしている。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		チームを形成して行っている	
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○		毎月の行事計画をチームに分けて計画している。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		子どもの特性や環境・状況の変化に応じて、柔軟に個別活動と集団活動を組み合わせた計画を適宜行っている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援前にはミーティングが行っている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		送迎に出ていない職員で振り返りを行い、会議録に記載している。	
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別支援計画をもとに、評価して記載している	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		2か月に1度のモニタリング。必要な際には支援計画を変更する。	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○		ガイドラインをもとに職員研修を行っている		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		各ご利用者様ごとにチーム担当をつけ、児発音と相談しつつ、カンファレンスに参加している	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		各学校の下校時間表を貼りだしている。トラブル等が起きた際に電話等で柔軟に対応。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		看護師が医師の指示のもと、医療的ケアを行っている。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		同地域になる、認定こども園とは、情報共有ができています	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		ご利用されてきた方は、保護者の了解を得てフェイスシート・アセスメントシートを送らせてもらっています。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		他の施設との交流は少ないが、地域の子達が遊びに来れる様になっている。また、事業所から積極的に地域に出ている	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			福山市の放課後等デイサービス連絡協議会には参加している。	今年度は参加していない
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時等で、一日のことをお伝えするように努めている。また、連絡帳・LINEを活用して1日の活動や、保護者からの相談を受け付けている	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか		○		相談があった利用者様には助言などは行っているが、家族支援プログラム等を行っていない。今後、研修を行い、家族支援が行えるように努める。
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行っている。	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		問い合わせがある保護者に対しては行っていたが、そうではない保護者の方の相談の機会はつくれていない
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催す等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情担当窓口を設置して、陣策に対応している。	
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		3か月に1度、活動内容などの会報を発行している。	
	㉕	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○		PCのセキュリティーに関しては、専門業者に委託して実施している。	
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		毎日ミーティングを行い、ご利用児や保護者の意思や情報を共有している	
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		事業所の行事は地域に出て行っている	

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか		○		各マニュアルは作成し、職員への周知は行っている。しかし、緊急時や防犯マニュアルの対応については、保護者の方に周知できていないが、直接的な関係が深いと思われる感染症対応については、保護者と共有できている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的な訓練を実施している。また、職員研修で災害時の対応を会社全体で会議が行えた	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年に1回、代表者1名に外部の権利擁護の研修に参加してもらい、その研修をもとに職員研修を行っている	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④⑫	植物アレルギーがある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		看護職員が該当児童の医師に確認を行っている	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		これまでのヒヤリハットを参考にしつつ、所内で意識の共有を行っている。	

○この「事業所における自己評価結果」は「保護者等からの事業所評価」を参考にさせていただき、事業所全体で行った自己評価です。

事業者向け 児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表 じゃんぐる

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		<input type="radio"/>	現在HPは開設しておりませんが、今後検討していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		定期的に事業所で外部講師による研修会を開催している、事業所以外での研修会に参加している。事業所内で年6回実施。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		特性を把握するために行動観察や問診をしているが、M-CHAT日本語版PARS、CARS等は使用できていない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>		平日、休日、長期休暇関係なく同様(行事などのイベントも今後検討していきます)。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>		

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者の要望に応じて、学校への訪問(情報交換)を実施している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		就学前に関係機関との情報交換、書類作成など実施している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		専門機関との連携を実施している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	35	個人情報に十分注意しているか	○		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		保護者への説明は重要事項説明書にて確認と口頭でも説明している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		

保護者等向け 児童発達支援・放課後等デイサービス評価表 じゃんぐる

回答数34名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32			2	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	34				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	32			2	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	32			2	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	32			2	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか					今後検討しています、現在はできていません。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	33			1	個別に説明を徹底していきます
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	34				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか					今後検討しています、現在はできていません。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23			1	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	34				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定保護者に対して発信しているか					現在作成しておりませんが、今後検討しています
14 個人情報に十分注意しているか	33			1		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20			14	個別に説明を徹底していきます
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20			14	個別に説明を徹底していきます
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	33			1	
	18 事業所の支援に満足しているか	33		1		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業者向け 児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表 じゃんぐるHIRO

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		<input type="radio"/>	現在HPは開設しておりませんが、今後検討していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		定期的に事業所で外部講師による研修会を開催している、事業所以外での研修会に参加している。事業所内で年6回実施。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		特性を把握するために行動観察や問診をしているが、M-CHAT日本語版PARS、CARS等は使用できていない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>		平日、休日、長期休暇関係なく同様(行事などのイベントも今後検討していきます)。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>		

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者の要望に応じて、学校への訪問(情報交換)を実施している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		就学前に関係機関との情報交換、書類作成など実施している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		専門機関との連携を実施している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	35	個人情報に十分注意しているか	○		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		保護者への説明は重要事項説明書にて確認と口頭でも説明している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		

保護者等向け 児童発達支援・放課後等デイサービス評価表 じゃんぐるHIRO

回答数24名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	23	1			
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	24				
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	24				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	24				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか					今後検討しています、現在はできていません。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか					今後検討しています、現在はできていません。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23			1	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定保護者に対して発信しているか					現在作成しておりませんが、今後検討しています
14 個人情報に十分注意しているか	24					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17			7	個別に説明を徹底していきます
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17			7	個別に説明を徹底していきます
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	24				
	18 事業所の支援に満足しているか	24				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			児童の人数や成長発達によっては狭いと感じることがありますが、ガレージ・戸外、面談室・安静室等活動を分けて行うなど工夫し、安全面に配慮しながら使用しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準の配置人数は適切となっています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		現在バリアフリー化はしていません。必要に応じて改善を図っていきたくと考えております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			活動の企画書を作成し、目標やねらい等の設定をしています。支援終了後の報告書の記載に対しては、職員一人一人の振り返りや今後の課題等を共有しています。また、週1回のミーティングを職員全員で行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者アンケートに目を通し、職員間で話し合いをして、今後の業務改善目標に向けて取り組んでいます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年ホームページにて公開しています。Linoの入り口にも掲示しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は行っていません。今後必要に応じて検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員の質の向上を図るために外部研修等へ参加したり、外部から講師の方に来ていただいています。ミーティング等で報告を行って共有しています。また、研修に参加するための年間スケジュールを作成し、組み込んでいます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		保護者、利用児童とのアセスメントにて、現状の課題や目標、ニーズを確認しつつ、段階的に達成できるような計画を今後も作成していきたいと考えています。作成については、会議等で児童一人一人について話し合う機会や時間を増やしていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	標準化されたアセスメントツールは使用していません。アセスメントとして事業所内で必要となるものをモニタリングしたり、送迎時等で保護者との会話等その都度やりとりをしたりして得ています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々の活動内容の企画は担当者が作成していますが、具体的な内容については職員間で検討・確認をし、決定しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			職員間で意見を出し合い、児童からの”やってみよう”活動の要望も取り入れながら、次月の予定を立てています。同じ活動の中でも季節や天候、個人の目標や発達段階・最近の児童の様子等にも応じて設定しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は児童に合わせてゆったりできる時間も設けながら活動を行い、土・長期休暇は1日を使って屋外活動をしたり公共施設等を利用したりなど様々な活動を取り入れて、安全面に配慮しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動の中で個別の対応が必要な場合も考慮しながら、アセスメントをもとに長期目標と短期目標を設定し、計画作成を行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			企画書を基に活動内容・役割等の確認をしています。職員が個々でいつでも確認ができるように掲示しています。支援前に打ち合わせが難しい場合は、前日に職員に伝えるようにしています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員で活動の振り返りをその日に行い、次の支援への検証・改善に繋がるように報告書を作成しています。振り返りに参加できなかった職員に対しては個別での伝達、翌日・支援前のミーティング等で共有しています。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		当日、次の日には日誌へ記録できるようにしていますが、必要な部分が抜けていたり、記録が遅れていたりが現状です。支援の検証・改善に繋げるために、記録の仕方・方法を改善していきます。また、毎週職員間でのミーティングでの振り返りも深めていきます。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		今年度はコロナの状況を見ながら面談によるモニタリングを行ってきました。ご希望によっては電話等でのモニタリングも行いましたので、今後も定期的に行っていき、計画の内容を深めていきたいと考えています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		年に1回、ガイドラインの総則の内容を再確認のために職員一人一人が読む時間を作っています。ガイドラインを把握し、基本の活動を複数組み合わせ、支援に対して活動内容等を深めていきます。
関係機関や保護者と連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		サービス担当者会議に管理者が出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者の方からの情報をもとに、行事予定や下校時刻の確認を行っています。学校へのお迎え時やケース会議を行うなど、適宜連携を計らせていただいております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制をとっているか		○	現在、該当児童の利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	相談支援専門員、保護者の方からの情報を得ています。必要に応じて、情報共有と相互理解に努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現在、該当児童の利用はありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修会への参加をし、研修会にて助言もいただいております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	公共の場を利用することはありますが、一緒に交流したり活動をしたりすることはないのが現状です。コロナ禍ということもあり、今後どのような形で交流ができるか検討し、活動へ取り入れていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		協議会等へ総括管理者が出席しています。職員に研修会の参加や周知・共有もしております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		本日の様子や必要な連絡事項を連絡帳に記載したり、送迎時にお話をしたりしながらお伝えさせていただいております。不十分な部分もあるかと思いますが、必要に応じて面談・訪問や電話等でもお伝えできるように努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	現在ペアレントトレーニングを行っておりません。保護者の方のお話を聞くことに努めています。
保護者へ説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に運営規定と利用負担額等について説明をさせていただいております。不明な点については、その都度お伝えしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	現在は保護者の思いを聞くことを中心にしています。相談があった場合には、時間を設けて面談・電話等で対応し、内容によっては相談支援事業所へ伝えて連携をとっています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	今年度もコロナ禍ということもあり、開催を自粛させていただきました。今後は、コロナの状況を把握しながら保護者同士の連携を支援できる機会を作りたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情があった場合には迅速かつ丁寧な対応ができるよう体制を整えています。また、契約時に苦情に関する窓口をお知らせしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月の予定表を配布しております。また、子どもたちの様子をお伝えるため、保護者に写真を毎月送らせていただいております。ブログでの配信が少ないため、定期的に情報発信ができるよう努めていきます。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		定期的に個人情報の取り扱いについて職員で再確認をする機会を設け、引き続き職員の意識・向上に努めていきます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		必要に応じて視覚的なツールの使用(絵や図など)、言葉でのお伝えだけでなく文章で分かりやすく情報伝達を行う等配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	コロナ禍でもあり、実施できていません。落ち着きましたら、地域住民を招待できるような開かれた事業運営を考えていきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		ホームページにて公開しています。Lino入り口にも掲示しています。年度初めには保護者全体にお知らせをしています。不明な点については、その都度説明をさせていただきます。また、職員についても全員周知・共有をしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月の予定表や連絡帳等で避難訓練の実施についてお知らせをさせていただいております。避難訓練は年3回以上行っています。災害がもっとも多くなる時期等に様々な角度から想定して実施しております。実際に災害が起こったことを想定して、訓練として保護者へテストメール送信を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止研修に参加し、事業所内での全体研修も行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	放課後等デイサービス計画に記載はしていませんが、契約時に身体拘束に関する同意書等で説明・了承をいただいています。対応方法を定めて、職員への周知・徹底を行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	契約時にアレルギーに関して保護者へお伺いし、新年度や変更があった場合にはその都度職員間で共有し対応しています。また、リストを作成し、いつでも確認ができるように掲示しています。今後は指示書があればいただく等見直していきたいと考えております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット報告書を作成・ファイリングしています。報告書への記載が不十分ではありますので、ミーティング等職員間で共有できるようにしています。また、解決策についても話し合いを迅速に行うようにしています。

児童発達支援事業/事業所職員自己評価集計結果 (裏面もあります) 公表

2023年3月17日 児童発達支援ステーション 慧 (職員数 8 回答率100%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	0	電動ベッドが5台あるため、狭くならないよう配置を工夫しています。	
	②	職員の配置数は適切である	6	2	0	コロナ流行の為、感染症状あるときにスタッフが休むことはあったが、支援に必要な配置数は確保しています。	
	③	生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	1	0	トイレの場所や浴室を視覚的に表示をしていませんでした。	今年度見てわかるように表示を整えていきます。
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供たちの活動に合わせた空間となっている	7	1	0	清潔には留意していました。ベッドのシーツは児童が変わるごとに架け替えをしたり、環境の清潔には十分気を付けています。	事業所内でしている業務が何のためなのか周知できていなかったと思われる。今一度自分たちがしている管理を理解していきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	0	各委員会の設置を行い、それぞれPDCAサイクルで業務を行っています。	事業所内でしている業務が何のためなのか周知できていなかったと思われる。今一度自分たちがしている管理を理解していきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	0		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を保護者に伝えている	7	1	0	自己評価を行い結果を踏まえ改善を行っている。保護者にも報告しています。	事業所内で周知できていなかったと思われる。今一度自分たちがしていることを理解していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	1	0		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	1	コロナの為積極的にはいかなかったが、必要なことはしています。	今後スタッフの希望等を聞いていきたいです。
適切な支援の提供	⑩	日々の支援やその評価を適切に行い、子供と保護者の必要とされる課題を分析したうえで、児童発達支援計画を作成している	8	0	0		
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	0		
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	0		

		チェック項目	はい	どちら ともい えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
	⑬	活動計画の立案を事業所で行っている	8	0	0		
	⑭	活動計画が固定化しないよう工夫している	8	0	0		
	⑮	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し ている	8	0	0		
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを し、行われる支援の内容や役割分担について 確認している	8	0	0		
	⑰	支援終了後には、職員間で行われた支援の振 り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1	0	毎日終了ミーティングをしている がパート勤務のスタッフは関わら ないで記録を読むことにと どまっている状況です。	記録が読めていなかったこと もあり、共有できていなか ったことがあります。必ず目 を通すようにします。
	⑱	日々の支援に関して記録を取ることを徹底 し、支援の検証・改善につなげている	8	0	0		
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援 計画の見直しの必要性を判断している	8	0	0		
関係機関 や保護者 との連携 関係機関 や保護者 との連携	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会 議にその子供の状況に精通して最もふさわし いものが参画している	8	0	0		
	㉑	母子保健や子供・子育て支援等の関係者や関 係機関と連携した支援を行っている	8	0	0		
	㉒	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障がい のある子ども当を支援している場合) 地域の 保健・医療・障害福祉・保育・教育との関 係者と連携した支援を行っている	7	1	0	コロナの為積極的にはいかな かったが、必要なことはしてい ます。	スタッフの中で知らない情報 があったため、情報を伝達し ていきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障がい のある子ども当を支援している場合) 子供の 主治医や協力医療機関等と連携体制を整えて いる	8	0	0		
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼 稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支 援内容等の情報共有と相互理解を図っている か	8	0	0		
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小 学部)との間で、支援内容等の情報共有と相 互理解を図っている	8	0	0		
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事 業所、発達障がい者支援センター等の専門機 関と連携し助言や研修を受けている	8	0	0		
	㉗	保護者の希望があれば他のこども園や、幼稚 園等との交流や、障がいのない子供と活動す る機会がある	3	4	1	コロナのため機会がありません でした。	
	㉘	(自立支援) 協議会子供部会や地域の子供・ 子育て会議等へ積極的に参加している	5	2	1	コロナのため、説教的ではな かったが、参加できるときは自立支援 協議会に参加しています。	スタッフにも周知します。
	㉙	日ごろから子供の状況を保護者と伝えあい、 子供の発達の状況や課題について共通理解を 持っている	8	0	0		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	③⑩	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援を行っている	7	1	0	自宅で安心して過ごしてもらえよう必要は支援指導は行っているところ。	スタッフの中で家族支援をしていると思っていない人がいるようで、自分たちのしていることが支援であることを自覚していきます。
	③⑪	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	0		
保護者への説明責任等	③⑫	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の狙い及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0	0		
	③⑬	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	0		
	③⑭	希望があった場合父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1	1	コロナのため	
	③⑮	子供や保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	0		
	③⑯	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	8	0	0		
	③⑰	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	0		
	③⑱	子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0		
	③⑲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っている	3	1	3	コロナのためできていません。 無記入(1)	
	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発想を想定した訓練を実施している	8	0	0		
	非常時等の対応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に非難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	0	
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子供の状況を確認している	8	0	0		
④④		食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	0		
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1	0		
④⑥		虐待を防止するため、虐待防止委員会活動を積極的に行い、人権擁護に努めている	8	0	0		

		チェック項目	はい	どちら ともい えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	④6	やむ終えず身体拘束を行うかについてを充分説明した上で同意を得ているか。身体拘束について個別支援計画を作成している	7	1	0	身体拘束について個別支援計画を立て承諾もいただき慎重にしています。	スタッフの中で知らない人もいて、再度周知していきます。

児童発達支援事業/保護者様等からの事業所評価の集計結果(公表) (裏面もあります)

公表： 令和5年 3月 17日

児童発達支援ステーション慧

保護者等数(児童数7人 回収数100%)

		チェック項目	はい	どちら ともい えない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境 体制 整備	①	こどもの静養等のスペースが十分に確保されている	7	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切である	7	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1	0		浴室やトイレなど視覚的にわかるような表示をしていないため、絵で示すようにしたいです。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子供たちの活動に合わせた空間となっている	7	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	⑤	こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、児童発達支援計画※2が作成されている	7	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで具体的な支援内容が設定されている	7	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	⑧	活動計画※3が固定化しないようくふうされている	7	0	0		
	⑨	要望があれば、保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子供たちと活動をする機会をつくっている	1	4	2	コロナ対策で無くていいと思います。	希望を確認させていただきますね。
	⑩	契約時に運営規定、利用者負担について丁寧な説明がなされている	6	1	0		毎回丁寧に説明をさせていただいているところですが注意を払っていきます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の狙い及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、通所支援内容の説明がなされた	7	0	0		
	⑫	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援を行っている	5	2	0		事業所内で家族支援について勉強会をしています。
	⑬	日ごろから子供の状況を保護者と伝えあひ子供の発達の状況や課題について共通理解ができています	7	0	0		
	⑭	保護者に対して必要な場合は、育児等に関する助言等の支援が行われている	5	2	0		事業所内で家族支援について勉強会をしています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	⑮	希望があれば保護者同士の連携が支援されている	1	6	0	単独通所のため、保護者同士の連携はない。希望も出してはいないため。	
	⑯	子供や保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子供や保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	7	0	0		
	⑰	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	7	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子供や保護者に対して発信している	7	0	0		
	⑲	個人情報に十分注意している	7	0	0		
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	7	0	0		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に非難、救出、その他必要な訓練が行われている	7	0	0		
満足度	㉒	子供は通所を楽しみにしている	7	0	0	迎えに行くときとても笑顔で出てくるのを見て、楽しかったんだろうと思っています。	ありがとうございます。こちらこそ笑顔をいただきありがとうございます。
	㉓	事業所の支援に満足している	7	0	0	とても満足しています。いつもありがとうございます。	こちらこそいつもありがとうございます。

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」はこの部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置等、子供本人にわかりやすくすることです。

※2

「児童発達個別支援計画」は児童発達支援を利用する個々の子供について、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供するうえでの留意事項などを記載する計画のことです。児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※3 「活動計画」は事業所の日々の支援の中で、一定の目的をもって行われる個々の活動のことです。子供の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に事業所の評価をしていただくものです。「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

保護者等向け放課後等デイサービス評価表 じゃんぐる学院

回答数13名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10			3	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1		2	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	1	7	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12			1	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9	1	1	3	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか					今後検討しています、現在はできていません。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1			個別に説明を徹底していきます
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	2			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1	1		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか					
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			6	個別に説明を徹底していきます
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	1	1		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定保護者に対して発信しているか					現在作成しておりませんが、今後検討しています
14 個人情報に十分注意しているか	11			2	個別に説明を徹底していきます	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6		3	4	個別に説明を徹底していきます
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5			7	個別に説明を徹底していきます
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	13				
	18 事業所の支援に満足しているか	12			1	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:2023(令和5)年 3月 14日

事業所名 障害福祉サービス事業所 風

		チェック項目	はい	どちらとも ない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1			
	2	職員の配置数は適切である		2	4		・療育担当職員について人員募集を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	3			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	4			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	2		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	3	2	・オンラインでの研修受講	・り勤務時間中の研修受講が難しい。オンライン研修であればある程度の視聴時間が確保できている。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	3			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	3	2		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2	3			・重心児を対象としており、左記にあてはまらない項目もある。お子様の状況によって対応している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	3			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	3	1		・療育担当者が今は少なく、チームとしての立案は減っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	3	1		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	2	4			

		チェック項目	はい	どちらとも ない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		6			・勤務終了時間が人によって違うため、必ずしも支援終了後ではない。随時振り返りや気づきを共有してい
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	3			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	2	4			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	2	1		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	2	1		・必要に応じて実施している
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	4			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1	2		・保護者を通して聞いている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	2	2		・問い合わせがあればおこなっている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	1		・必要に応じて電話や書面でのやり取りを実施している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		1	5		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		1	5		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	2			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		4	2		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	3			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	2	3			

		チェック項目	はい	どちらとも ない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	3			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	3		・法人として保護者会は今のところない
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	3	2		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6				
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	2			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	3		・コロナのためできていない
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	1	5			・策定中のもの有り
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1	1		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5				
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3				
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	3	1	・書類化しファイルにまとめている	・事例集はない
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5				

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 障害福祉サービス事業所 風

公表日:

保護者等数(児童数) 6 回収数 6 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	6					
	2 職員の配置数や専門性は適切である	6					
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6					
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	5			1		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		1			
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	6					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		1	3	2		
適切な支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	5	1				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	5			1		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	4		2			
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	6					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	4	1	1			
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている		1	4	1		
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	5	1				
17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	6						

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	5			1		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	6					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	3	1		2		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	2			4		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	6					
	23	事業所の支援に満足している	6					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

事業所: ONE-すてっぷ

2022年度実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準よりも広いスペースを確保しているが、利用人数が多い場合、狭く感じることもある。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準以上の人員を配置しているが、体調不良等での休みが入ると、少ないと感じることはある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	2階に上がるためには階段を使うしかない。手すり設置や床のクッションシート貼付等の配慮はある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			法人全体で人事考課制度を導入している。個々での目標設定・振り返りを行う→上司との面談という流れで、個々に意識できる環境を作り、スキルアップに繋げている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年、保護者アンケートを実施。意見や要望等お聞きし、今後の改善に繋げていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人ホームページにて公表。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は行っていないが、法人内の他の事業所では導入して評価を受けた。今後順次第三者評価が入ってくる予定である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			コロナ禍のため、オンライン研修が主となっている。また、法人として自主研修制度を設けている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			契約時に保護者にフェイスシートの記入をしてもらったこと、状況等の聞き取りを行いニーズや課題の把握に努めることで、支援計画に反映させている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			強度行動障害のアセスメントツールを使用し、特性・環境の把握を行い、職員の対応の統一を図っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当職員が活動週案を立て、職員全員で確認し、実行している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			複数の職員が交代で活動案を立てることで、固定化しないように配慮している。新しいものを取り入れながら、内容を工夫して行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、長期休暇とも様々な活動を行えるように、活動案を作成している。

関係機関や保護者との連携	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		基本的にはグループ活動ではあるが、子どもの状況によって、個別での対応も行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日受け入れ準備・伝達・打ち合わせを、職員全員で行っている。活動については、目標設定等もっと細かく打ち合わせをする必要はある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		活動記録や特記事項を記入し、気付きや次回への向けての確認事項等を共有するようにしている。話し合う時間はもっと作っていく必要がある。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		利用者個々の活動内容を記録し、モニタリング・個別支援計画に活用している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6カ月ごとにモニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		個別支援計画に基づき、日常生活動作や自立生活のための活動及び余暇活動を提供している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		会議が開かれる場合は、児童発達支援管理責任者または管理者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		年度初めに学校を訪問して必要な情報共有を行っている。下校時間については保護者または担任の先生と連絡をとり、確認している。不登校児の対応についても、連携を取っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在は対象児童がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		同一法人にある児童発達支援事業所との間では情報共有を行っている。日中一時支援利用児が、小学校進学時に併設の放課後デイを利用する流れが多く、情報は共有
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		必要に応じて、情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		専門機関との連携は行っていないが、児童発達支援センターからは研修会案内や障害児相談支援の利用計画について連絡が入る。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	意図的な交流は行っていないが、公園遊びなどの活動で一緒に遊ぶことはある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		総合支援部会の発達支援部会に参加。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		迎えにこられた時や送迎時に短時間ではあるが状況を伝えるようにしている。課題や心配事などがあれば、個別に話をする時間を持つ等して、相談に応じたり、共通認識を持つようにしたりしている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	ペアレントトレーニングは行っていないが、課題や心配事があれば個別に話をする時間を持ち、家庭での対応方法について伝えることはある。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			十分とは言えないが、送迎時を中心にできるだけ話す時間を作っている。必要に応じて、個別に話をする時間を設けることもある。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会は開催していない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決体制を整備し、重要事項説明書に記載し、契約時に説明している。苦情があった場合には適切に対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			事業所の通信を年5回、法人の広報紙を年数回発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の管理には十分注意している。写真や名前の公開については、『個人情報の取り扱いについての同意書』を交わし、その内容に基づいて配慮している。
非常時等の対応	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			スケジュール提示や視覚支援を取り入れ、短い言葉で簡潔に伝える等、肯定的で分かりやすい声掛けや指示を心掛けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			事業所独自では行っていないが、法人全体では地域の方に参加していただくイベントを行っている。※コロナ禍のため、中止が続いている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			新型コロナウイルス感染症については、どういった場合に閉所するか、利用をお休みしていただくか等、法人内(特に通所部門)共通のマニュアルを作成し、対応。保護者へはその都度丁寧に連絡を入れている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回退避訓練(火災・津波)を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内で研修機会を設けている。また部署内会議においても、話をする時間を設けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			重要事項説明書に身体拘束を行う場合について記し、説明している。基本的に身体拘束は行わないが、不安定時に落ち着くために別室で過ごすことはある。その場合の対応の仕方については職員間で共有し、タイムアウト対応した場合は記録に残している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者を通じて、医師の指示については把握し対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ひやりはっと事例報告書を作成し、対応や改善策について検討している。会議等で再度確認し、職員間で共有できるようにしている。またファイリングし、いつでも確認できるようにしている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	合計	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	2	0	6	31	・トランポリンやボルダリングがあり、雨天でも体を動かすことができる。 ・活動中の室内の様子を見ていないので、よく分からない。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	2	0	7	31	・専門性については、職員の方全ての経歴は知らないため、分からない。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	11	0	5	31	・子どもから聞いたことがないので、分からない。 ・気にしたことがない。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	28	2	0	1	31	・若干マンネリが見られる。 ・年齢も高くなってきているため、レベルアップしてほしい。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	24	3	0	4	31	・水遊びがないのが残念。コロナが落ち着けば再開してほしい。 ・日祝日、また早朝も受け入れてくれるので、仕事の時とても助かる。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5	7	18	31	・不定期に利用しているため、タイミングにより、知らないことが多い。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27	2	2	0	31	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	21	5	3	2	31	・職員によって違いがあるので、理解されている方もいるし、そうでない方もいるように思う。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	11	4	3	31	・職員によって違いがあるので、理解されている方もいるし、そうでない方もいるように思う。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	7	12	12	31	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	24	0	2	5	31	・トラブルがあったことがないので、分からない。 ・メール等で、こまめにいろんな情報伝達や対応をしてくれるので助かる。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	1	2	1	31	・メール等で、こまめにいろんな情報伝達や対応をしてくれるので助かる。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	27	2	2	0	31	
	14 個人情報に十分注意しているか	26	1	1	3	31	・他の人に見られる場所に、名前を貼らないでほしい。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	4	2	5	31	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	3	2	16	31	・知らない。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	29	2	0	0	31	・とても楽しみにしている。
	18 事業所の支援に満足しているか	29	2	0	0	31	

事業所職員向け 児童発達支援評価表（2023年2月時点）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	0	
	2	職員の配置数は適切であるか	8	0	0	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	0	8	0	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	0	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	0	0	必要に応じて各スタッフに確認している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	4	0	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	4	0	
適切な支援の提	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	0	0	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	0	0	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	0	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	

供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	8	0	0	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	0	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	0	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	6	0	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	8	0	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	0	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	0	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	0	0	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	0	0	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8	0	0	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	0	0	保護者の相談を受ける時間も作っている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	0	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	4	0	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	4	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	4	0	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4	0	4	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	4	0	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	0	4	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	4	0	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	0	0	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	4	0	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	0	8	0	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	0	0	

保護者等向け 児童発達支援評価表（2023年2月時点）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	39	1	0	欲をいえば、屋外での活動空間があれば。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	39	1	0	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	24	13	3	年齢を考慮すると問題ない。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*1が作成されているか	40	0	0	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	38	2	0	
	6 保育所や幼稚園など、障害のない子どもと活動する機会があるか	20	16	3	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	40	0	0	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	40	0	0	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	39	1	0	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	22	8	個別なのでわからない。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	30	10	0	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	40	0	0	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	32	8	0	
14 個人情報に十分注意しているか	40	0	0		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	26	12	1	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	30	1	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	40	0	0	一度も嫌がったことなく、いつも楽しみにしています。
	18 事業所の支援に満足しているか	40	0	0	ただ褒めるだけでなく、落ち着いて活動しないときにきちんと注意してくださり、メリハリがあっていいと思います。有難い場と感じています。

*1 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年3月 日

事業所名: 第2こぼと園 職員数6人 配布数6人 回収数6人 割合100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	5	1	・子どもの数が多い時は、室内と外とで活動の場所を分けたりしている。 ・室内遊びの時は広くてちょうどいい広さだが、名前呼びや絵本を読む時に部屋が広いこともあって座ってられない子は遠くのマットに行ったりする場面がある。メリハリがつけられるように座って話を聞く時は半分の広さが良いと感じる。	○園庭が狭いため、引き続き、散歩や近くの公園、山などの園外活動などにとりくむ。 ○部屋は広いが、活動によって部屋や空間の使い方を工夫する。
	②	職員の配置数は適切であるか。	6	0		○職員の配置基準は満たしているが、職員体制整備・充実のための意見を関係団体の協議の場に挙げていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	5	1	・登園して室内に入るのに躊躇する子が外遊びを選択できるようにすぐに園庭があるのはいいと思う。 ・絵本の部屋のように、クールダウンできる部屋もあるので分かりやすくいいと思う。	○清潔で心地よい環境であるよう、保護者の協力も仰ぎながら努力する。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	・通路が狭いところがある。 ・オゾン発生機の機械を設置していることできれいな空気になっているかと思う。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・定期的に部門で話をしている。 ・忙しい時期にはそれぞれの担当だけで活動内容を決めなければならない時があるので、全員での話し合いの時間を定期的に確保したい	○担当者会議、研修、ケース会議、など、取り組みの振り返りや見直しを行っているが、時間をかけてじっくりと行うことが難しい。時間の使い方、働き方などを検討・工夫しながら、適切に行っていくよう努力する。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	5	1	・昨年度の評価を受け改善している。	○保護者評価、事業所の自己評価をもとに今後生かしていく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	5	1		○第三者による外部評価は未実施であり、今後必要に応じて実施を検討する。 ○研修を計画的に行い、職員の学ぶ意欲を高め、職員の専門性や人間性を高めるように努める。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	5	1	・日々の業務や事務作業が多く、勤務時間内に終わらないため、研修までできにくい。 ・勤務時間内にできるよう、園全体で工夫している。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・職員間や保護者との話し合いの場をできるだけ確保しようと努力している	○第2こぼと園では、ガイドラインに沿った支援を次のように行っているが、さらに充実させるように努める。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	2	4	こどもにわかりやすいために、各々教材を工夫して用意している。	①親子通園で楽しい遊びや体験を通して発達の土台の力を育て、意欲的で安定した生活が送れるように取り組んでいる。(発達支援)
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		②親子通園、保護者懇談会などを通して、我が子を理解し子育てに元気と見通しが持てるように支援したいと取り組んでいる。(家族支援)
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	6	0		③関係機関との連携、特に保育所や幼稚園・こども園などと併行通園している場合は、園との連携を通して、安定した生活が送れるように支援している。(地域支援)
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・こどもの興味関心や発達課題についてチームで考えあって計画している	○子どもに合わせた適切な支援を行うよう、アセスメントを行い、児童発達支援計画を立てて活動プログラムを考え、日々の振り返りを通して次の活動にフィードバックしている。時間的な余裕がなく、職員全員で共有することが課題である。時

適切な支援の提供	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		間の使い方を工夫し、職員全員で共有することに努める。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	5	1	・基本的に集団療育のみを行っているので、集団中心に計画している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	6	0	・習慣化できていると思う	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	6	0	・午後の反省が時間の制約があり、難しいことがある。	○日々短時間でも時間を有効活用し打ち合わせ、振り返り、見直しを行っている。日々の反省の中で、常に保護者の声などをフィードバックして、療育の質の向上に生かそうと努力している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		○活動プログラムや活動内容は、子どもの状態に合わせ適切に行われていると思われるが、さらに研修や検討を重ね、療育の質を向上させるよう努める。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	5	1	・半年に1度モニタリングをしている	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	3	3	・ほとんどの子がセルフプランなので、他の相談支援事業所との連携はしていない。	○子どもの状態に応じて、特に配慮を要する子どもとその家族に対して、必要に応じて関係機関(母子保健、ネウボラ課、障がい福祉課、保育課、学びづくり課、基幹相談支援センター、こども発達支援センター、子ども家庭センターなど)と連携し支援を行い、子どものすこやかな育ちを支えることができるように努める。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	3	3		○医療的ケア児ではない場合でも、必要があるときには、医療機関への紹介や情報共有などを行う。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	0	6	・現在は医療ケア児の在籍なし	○併行通園している保育所、幼稚園、子ども園との連携は重点を置いており、療育懇談会(年1回、グループごと、公開療育と懇談会)を設けて直接会って情報共有したり、研修会(療育研修会・聴覚障害研修会など)を開催することを計画していたが、新型コロナウイルスの流行により実施できていない。今後感染状況に応じて実施していきたい。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか。	0	6	・現在は医療ケア児の在籍なし	○移行支援、他機関との交流や情報共有、研修などについては、継続して行う。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	コロナのため交流会は実施できなかったが、適宜電話で連携をとったり、個別に園の先生にも来てもらっている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	5	1		
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	1	5	併行通園であるため、日常的に保育所、幼稚園、こども園との交流を行っている。	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	1	園長、児発管が参加している。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		○保護者への支援は、引き続き、親子通園、保護者懇談会などの日常的な支援と、年数回の保護者教室や学習会などの学びの場を設け行っていく。そのために、職員の研修を行い、より質の高い支援を行っていくよう努力する。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	4	2	・保護者に分かりやすいように伝え方を工夫している。	

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	入園時(契約時)と年1回、年度初めに行っている。	<p>○ケースの多さから、一人ひとりに丁寧に児童発達支援計画などの説明が不十分である。今年度は、前期・後期に1回ずつ児童発達支援計画の提示を含めて懇談を行うよう計画していたが実施できていない。来年度は実施できるよう努力する。</p> <p>○日常的な保護者への説明や相談は行っているが、さらに保護者が相談しやすくなるように、職員との信頼関係を深め、職員が声をかけていくよう努力する。</p> <p>○個人情報の扱いについて細心の注意を払う。</p>
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の供給すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	1		
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	2	4	・自事業所に保護者会のような組織はないが、各グループで保護者の懇談の機会を定期的に行っている。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	2	年に数回園だよりを発行している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	6	0		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	毎月避難訓練をしている。	
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	6	0	給食の職員と連携して対応をしている。	
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	3	3		

④⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1		○各地で悲惨な虐待事件が報告される中で、虐待や身体拘束に関する研修を行い、日常に引き付けて考え、対処できるように取り組む。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和5年 月 日

事業所名:第2こばと園 保護者数(児童数)93 回収数70 割合75%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	60	8	1	1	・園庭のスペースがせまい。 ・園庭室内ともにもう少し広い方がよい。 ・スペースは十分に取れている。 ・プールの時死角が多い。	○基準以上のスペースは確保しています。活動内容によっては園外の公園に出かけるなどして工夫していきます。 ○死角になる場所がないように職員間で確認し安全を確保するよう努めます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか。	61	7	0	2	・職員の人数を増やしてほしい ・目が行き届きひとりひとりをよくみている ・子供の様子の変化に、誰かしらの職員が気付く事が出来ていると思う ・専門性の部分では疑問に思うことがある。突然子どもの行動を制限してしまう対応を見て、他に方法はなかったのかと思った。改善できればもっといい場所になれると思う。	○職員の配置基準を満たす人数を配置しています。 ○職員の専門性を高めるために、日々の話し合いや研修を行い、子どもたちや保護者の方たちがより安心して過ごせるように努めます。 ○第2こばと園は、今までも子どもたちにとってより良い環境になるように改修や修繕、様々な手立てを行ってきました。引き続き、皆様からのご意見を参考にしながら、子どもにとってより良い環境づくりに努めます。危険箇所は迅速に改善に努めます。
	③ 生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	54	12	1	3	・イラストの表示があった方が分かりやすいのではと思う。 ・タオルかけが自分でやりやすいように工夫してほしい。すぐ取れて落ちてしまう。	○コロナ禍のため感染対策として換気は必要のため、皆さんの理解と協力をお願いします。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	51	16	3	0	・コロナ禍で換気しないといけないのは分かっているが、夏は暑く、冬は寒い。 ・椅子の下の埃が多いときがあった。掃除や整理整頓はもう少し必要だと感じるところがある。 ・施設の老朽化はあるが、先生たちがいつも綺麗にして、安全にしてくれている。	○コロナ禍のため感染対策として換気は必要のため、皆さんの理解と協力をお願いします。
	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	62	6	0	2	・子どもの細かい部分まで見ていただき計画出来ていると思う ・普段の活動内容からもしっかり様子を観察して下さって、子どもをしっかり支援されていると思います。	○第2こばと園では、お子さんと保護者の方と一緒に通っていただき、楽しい遊びや体験を通して発達の土台の力を育て、意欲的で安定した生活が送れるようとりくんでいます。(発達支援)
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族	62	5	0	3	・併行通園している幼稚園とも連携をとっている	そして、親子通園、保護

適切な支援の提供	支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。						者懇談会などを通して、我が子を理解し子育てに元気と見通しが持てるように支援したいととりにんでいます。(家族支援)
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	55	5	0	10	・単発的には子どもと関わろうとしてくれているが、子どもの変化や成長を継続的に捉えて貰えている実感がない。 ・公園遊びや散歩など、季節を感じながら親子でしっかり外遊びができています。	また、保育所や幼稚園・こども園などと併行通園されている方は、園との連携を通して、安定した生活が送れるように支援しています。(地域支援) これらガイドラインに沿った内容で児童発達支援計画を立てています。一人ひとりのニーズに合わせてより適切な支援に努めます。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	62	6	0	2	・いつも子どもに分かりやすい活動を色々と考えてくださって有り難い。 ・選択制になっているので、子供がしたい事を想像し考え、決定権を持つ事ができる。	○子どもの変化や成長点について、保護者の方の協力を得ながら詳しく捉えて共有していけるよう努めます。 ○日常的に保育所等との併行通園をされている場合が多いので、障がいのない子どもと活動する機会があるととらえています。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	35	7	13	15	・こばと園では交流はないが、こども園との併行通園なので特に必要はないと思う。 ・コロナ禍なので、仕方ないと思う。こばと園内ということであればありません。	○親子で通っていただき、親子で一緒に遊び、活動し、活動終了後には保護者懇談の時間を取り、活動の意味やこどもの様子について話し合います。その中で、できる限り、丁寧に説明したり、考えあったり、共有したりすることにとりにんでいます。個別の話を希望される方は、その時間をとるようにします。他にも電話、連絡帳などの方法で意思疎通を図ります。時間の限られた中ではありますが、工夫と計画性を持って努力したいと思います。 ○個人情報の扱いには細心の注意を払い、ミスのないように気を付けます。 ・準備物のことなど急な変更についての連絡については、漏れのないようにまたなるべく早く伝えるよう努めます。
	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	68	2	0	0	・契約時と、年度初めに丁寧な説明があった。	
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	63	2	0	5		
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか。	54	10	1	5	・保護者と先生の話合いの場が設けられていたり、活動中も先生との交流があり色々なアドバイスをいただいています。 ・懇談の時間がペアレント・トレーニングにあたるのかもしれないが、個人的にはあまりアドバイスを貰った記憶がない。 ・②にもあげたが、職員の対応が突然子どもの行動を制限するなどの状況があると、保護者が関わりを学ぶのにはふさわしくないとと思う。	
	⑬	60	8	1	1	・連絡帳に子供の成長や出来事を記入して先	

保護者への説明等		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。					生と共有してもらっている。 ・日頃の子供の様子を話せなかったり、相談するのに、躊躇する事もある。 ・遊んでいる時に話を聞いてくれたり、話しかけてもらったりしている。また保護者のみで話合いの時間で良かった事や困り事なども話合っている。		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	58	10	1	1	1対1の話等はちょっと少ないのかな?と思います。療育の後、話し合いの場があるのがとても良いと思う。少し時間に追われてバタバタと帰りの時間になり、帰っていく感じがあまり話をするタイミングがあまりない。		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	39	15	4	12	コロナの影響で難しいと思う。通い出したばかりで分からない。		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	57	7	0	6	迅速で丁寧な対応を下さるので何度も救われました。相談をした際には、迅速に対応してもらっている。		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	62	6	0	2	要らないといわれていたものが、急に使うことがあり戸惑った。		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	58	6	0	6	メール配信で以前より、えんだよりなど見やすくなりました。		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか。	62	2	0	6	一度、各個人へ作られた計画書が他の子の生年月日、園名になっていたので注意してほしい。		
	非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	57	5	2	6	カレンダーで防災訓練の日にちを教えてくれており、当日も説明してくれている。	○避難訓練は、各グループ年1回は実施するように計画しています
		㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	57	4	3	6		

満足度	②② 子どもは通所を楽しみにしているか。	67	2	0	1	とても楽しみにしています。 明日はどこに行くの？の問に、いつも『こぼと〜』と答えている。	○活動の内容や時間の使い方を工夫して、子どもにも保護者の皆さんにも満足してもらえよう、引き続きニーズを把握し、努力していきます。
	②③ 事業所の支援に満足しているか。	58	10	1	1	次年度から午後からのグループになるが、療育の時間が短く、残念。子どもが遊びこめるか、短時間で楽しめるのか、考えて欲しい。 満足と言えば満足ですが、もう少し活動の幅が広げられそうだな？と思う時もあります。 ・コロナもあり、クッキングが無く残念。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者向け 児童発達支援評価表

多機能型事業所 遊

結果表

実施月 2022年6月

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	0	0	1	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	5	0	0	0	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	0	0	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	0	0	
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5	0	0	0	
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援が「個別の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	0	0	
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	0	0	
	⑧ 活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	5	0	0	0	
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	1	4	
保護者への説明等	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	0	0	0	
	⑪ 児童発達支援が「個別の「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4	0	0	1	
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	0	1	0	4	
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者等と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	1	0	0	・開催の機会があれば是非参加したい
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	1	0	1	・面談はないが、助言は頂いている ・ゆっくり話せる機会があればよいと思う
	⑮ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	2	2	
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5	0	0	0	
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	0	0	0	
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	0	0	2	
	⑲ 個人情報に十分注意しているか	5	0	0	0	
非常時等の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	0	0	0	
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	0	0	1	
満足度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	5	0	0	0	
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	5	0	0	0	

2022年度 放課後等デイサービス 事業者向け 自己評価表

2023年3月3日 掲示

寺子屋三蔵

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所内に毎年掲示しております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		機会があれば、外部評価を受けたいと思います。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定などの交換、子供の下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		新型コロナウイルス感染症が終息した後、夏祭りを再開したいと考えております。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		適切な情報発信の方法など今後検討致します。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		・どのような場合でも身体拘束は行いません
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して業所内で共有しているか		○		

2022年度 放課後等デイサービス 保護者等向け 自己評価表

27人に配布 回答 16人 2023年3月3日揭示

寺子屋三蔵

	チェック項目	どちらとも いいえ			ご意見	事業所から
		はい	いいえ	いいえ		
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	3	0	・感染対策もしっかりして頂いています	・ありがとうございます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	5	0	・魔法のように苦手を得意に変えていただいています ・子供が慣れた頃に先生が変わることが多くあったので、先生の数が少ないのでは？と思いました。人間関係を築くことが苦手な子供ですので、また初めから先生との関係を築く所からスタートする必要があり、うちの子供には少々不安な材料になっておりました。わがままで申し訳ありません	・諸事情により担当者が変わることがございますが、なるべく年度内の変更は無いように努めてまいります。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	5	2		
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	17	1	0	・ニーズ以上のことをしてもらっています。親でも見つけられていない困りごとを見つけていただいています	・ありがとうございます。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14	3	0	・毎回違うことを考えて頂いているので、子供も「今日は何かなあ？」と楽しみにしています	・ありがとうございます。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	6	7	・わかりません	・コロナ禍が治まりましたら、夏祭りを再開し、地域の子ども達と交流できるようにしたいと考えております。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	4	0	・毎回活動とねらいと結果を教えてください！	・ありがとうございます。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	2	0	・毎回、気になることや様子をしっかりと聞いてもらっています。 ・療育での様子もよく教えていただきます。カンファレンスなどでみなさんと話をして共通認識して頂けることもありがたいです。	・ありがとうございます。共有化にも努めます。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	3	0	・困ったときは、どの先生も話を聴いてくださいますし、色々な先生が(担当でない先生も)様子を伝えてくださいます。・思いもよらなかった助言をいただきとても勉強になっています。	・ありがとうございます。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	6	9	・わかりません。	
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	9	0	・苦情はないです。 ・苦情はないです！	・ありがとうございます。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	3	0		
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7	7	3		・個々に発信しておりますが、現在のところ定期刊行物は刊行していません。自己評価の結果は掲示しております。
⑭ 個人情報に十分注意しているか	13	5	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	事業所から
非常時等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	7	2		・周知に努めます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	6	5		・コロナ禍で集合的なものは行えておりませんが、個別に説明しております。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	13	5	0	・本人のために色々な視点から取組内容を考えてくださり、意欲的に楽しく通えています。 ・とても楽しみにしていて、毎回楽しんで帰ってきます！苦手なことも得意になって帰ってくるので、私も楽しみです！	・ありがとうございます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	16	2	0	・通い始めてから見違えるほど毎週成長しています！保育園や親でも届かない部分を支援してくださっていると感じます！ ・寺子屋のおかげで、随分成長したことをすごく感じています。専門的な知識を多く持たれている先生方のご指導のおかげだと思います。そして、みなさん本当に優しく、子どもの事をすごく考えてくださっていることを感じています。ありがとうございます。	・ありがとうございます。

2022年度事業者向け ひまわりルーム自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点 など	事業所より
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	2		・部屋を数室設けてあり、適切だと感じる。 ・複数の部屋を適時使い分け、利用児に安心できる空間を提供している。	学習・読書室(3畳・6畳)共有スペース(10畳ほど)・中庭・プレイルームがあります。
	2	職員の配置数は適切であるか	9			適切な人数を配置している。	定員10名に付き5~6人の指導員を配置して支援にあたっています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	3		・スロープ・廊下との段差がない ・玄関等、対応がまだという箇所あり	外側にスロープがあり、室内は全面バリアフリーになっています。2階に上がる時は階段のみになっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	2		・振り返りの時間を作り、次回に生かせる話合いの場を設けている。 ・気づきや改善提案を行っている。	個別支援計画に沿って、計画を立て、取り組み、振り返り、課題に向かって取り組むという事を職員全体で話し合っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	1			保護者様の意見は常に聞き、支援に生かしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	0	0		毎年公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	4	0		ひやりはっつ・事故報告書・苦情等に対する助言を頂き、業務改善出来るように取り組んでいます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	0	・定期的に行われている。 ・研修等、職員のスキルアップを行う場がある。	月に1度非常勤職員を含め研修と会社内の3つのデイの合同研修を2月に一度行っています。
適切な 支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	2		利用児、保護者の情報を共有し、サービス計画に生かしている。	保護者の方との情報共有や相談支援専門員や学校等との連携を行い、個別支援計画に反映させて頂いています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	2			発達検査の結果(保護者提供)やアセスメントシート等を参考にしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	1			主に常勤で活動プログラムを立案し、職員全体で共有し、話し合いで決定しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	1		多様な活動を考えている。	子ども達の様子をみながら、週ごと、月ごとに少しずつ変化させています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	2		時間内に活動できるような場所や活動内容にしています。	平日・休日ごとに課題を決めて計画しています。きめ細かく、計画通りに子ども達が達成感を感じられるように工夫をしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1		活動の流れを設定し、個別、集団の担当を決めている。	個別対応が必要なお子さんには個別から徐々に集団への活動へ移行できるように計画をしています。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	0	当日行う活動や担当の確認が出来ている。	必ず職員間で確認し、記録に残し、非常勤の職員の方にも確認してから業務に入ってもらっています。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	2		その日に出来ない時には翌日行っています。	その日に起きたことは、その日の職員で話し合い、記録に残しています。又、共有ボードに残し、対策案を書いています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	0	ひやりはっと・気づきを随時上げて改善案を模索しています。	個別の記録と全体の記録を付けています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	1		随時、利用児、保護者とのモニタリングを行っている。	半年に一度、保護者の方と話し合い、職員とも共有して個別支援計画を見直しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	8	2			ガイドラインに沿った活動を組んでいます。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	1	0		管理者・児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9	1		すべての学校と行っているわけではない。	学校と直接連携を取っていない所はHPで行事予定や下校時刻を確認しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	0		現在、受け入れがありません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	3			就学前に通われていた施設との情報共有は出来るだけするように努めていますが、主に保護者と相談支援専門員との情報共有になっています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	3			相談支援専門員を通じて行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	2	1		児童発達支援管理責任者が児童発達支援連絡協議会に参加して研修を受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	2	0		公園などで交流している。	隣接する公園で一緒に遊ぶ事はあるが、行事などを組んだことはないので、実現できるように努力していきたいです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	0	10			統括が参加しており、情報を共有しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	3	0		送迎時や電話連絡で相談支援を行っている。	気になった事は送迎時やお電話で伝えさせて頂いています。保護者の方からお電話を頂いて支援に生かしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	9	1		支援員なので活動の様子説明や情報共有に留まっている。	研修等を受けていますが、実際には行うことが出来ていません。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	1				契約時に説明させて頂いています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	0			保護者の方からの相談は、丁寧に受けたいと考えています。必要時には相談員や各機関と連携させて頂いています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	3				月に一度ひまわりくらぶとして、保護者のおしゃべり会を開催しています。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	3	0	素早い対応を心掛けている。	苦情に関しては、真摯に受け止め、再発防止に取り組んでいます。窓口を設け、福山市、広島県、第三者委員会を設けています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	2	0	毎月活動表を作成している。	毎月活動表を作成し、子ども達の様子も載せています。
	35	個人情報に十分注意しているか	10	0	0		事業所内で研修を行い、職員間で努力し、常に気を付けています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	2	0		お子さんや、保護者の方に応じて、直接お話しの方がよい場合、メールがよい場合など対応させて頂いています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	7	2		現在は行うことが出来ていません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	2	0		事業所内に掲示したり、研修等で周知するようにしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	1	0	年に三回実施している。	地震、火事、水害の三回を予定し、実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	2	0		事業所内で研修を行い、職員同士、適切な対応が出来るように心がけています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	1	0		契約書と共にどのような場合に身体拘束を行う場合があるかという同意書を作成しており、契約時に保護者の方に説明させて頂いています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	1	0		医師の指示所の通り、対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	0		ヒヤリハット事例集を作成し、共有しています。

2022年度 ひまわりルーム(児童発達支援) 保護者等向け 評価表

利用者数: 4 名 回答人数: 4 名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	事業所より
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4				児童発達支援は10畳ほどのフローリングスペースと隣接している公園・プレイルームで活動しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	3	1			お子さん4名に職員2名で支援を行っています。(うち保育士1名)
	3 事業所の設備は、使いやすく安全であるか	4				安全性は常に配慮しています。
適 切 な 供 支 援	4 「個別支援計画」*1は子どもや保護者のニーズや課題に合わせて作成されているか	3	1		子どもにとって何が正確なのかわからないから	お一人お一人のニーズや課題に合わせて作成しています。又気になる点はその都度お話し、支援に生かしています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	3				毎回、少しずつ展開させながらも繰り返しする事で、自信を付けることを目標にしています。
保 護 者 へ の 説 明 等	6 支援の内容、利用者負担等について説明が十分されたか	3				出来る限り、お伝えさせて頂いています。
	7 日頃から子どもの状況について保護者と連携・共有(共通理解)がされているか	2	1			連絡帳では不十分な事があるので、お電話や送迎時にお話しさせて頂いています。
	8 保護者同士の連携を図るために「保護者会」等の開催を希望されるか	0	3	1		毎月ひまわりくらぶとして保護者の方のおしゃべり会を開いています。
	9 子どもや保護者からの苦情について、丁寧に 対応し適切な対処・改善がなされたか	1	3		苦情があまりないからわからない	その都度、出来る限り報告させて頂いています。
	10 活動計画・内容、連絡体制等の情報や、業務 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に対して発信しているか	3	1		あまり見ていないし、都合で休む時もある ため	連絡帳や口頭ではお話しさせて頂いていますが、通信という形では出来ていないので、今後は少しずつ通信を発行出来たらと思います。
	11 個人情報に十分注意しているか	4				個人情報に関しては、職員研修を行っています。常に気を付けています。
満 足 度	12 子どもは通所を楽しみにしているか	4				ありがとうございます。行事以外ではお休みがほとんどなく、私たちも毎回金曜日が楽しみです。
	13 事業所の支援に満足しているか	4				ありがとうございます。これからも子ども達の成長を保護者の方と一緒に喜び、見守っていきたくと思っています。

その他 ご意見・ご感想

サービスの時間帯を増やしてほしい。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業者向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい		いいえ		空欄		その他
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	100%	0	0%	0	0%	
	2	職員の配置数は適切であるか	6	100%	0	0%	0	0%	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	100%	0	0%	0	0%	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	100%	0	0%	0	0%	

適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	18	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	100%	0	0%	0	0%	

ン

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	0%	0	0%	6	100%	対象者がいない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	0%	0	0%	6	100%	対象者がいない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	100%	0	0%	0	0%	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	100%	0	0%	0	0%	

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」をしめしながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	38	個人情報に十分に注意しているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	100%	0	0%	0	0%	
非常	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	43	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6	100%	0	0%	0	0%	

平時等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	100%	0	0%	0	0%	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	6	100%	0	0%	0	0%	

保護者向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい		どちらともいえない		いいえ		わからない		その他
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1	50%	0	0%	0	0%	1	50%	事業所が移転して、さらに活動しやすくなった
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	2	100%	0	0%	0	0%	0	0%	
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	50%	0	0%	0	0%	1	50%	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	100%	0	0%	0	0%	0	0%	
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	2	100%	0	0%	0	0%	0	0%	毎回の実施内容の報告がノートにてあり、コメントも記載されていてわかりやすい
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2	100%	0	0%	0	0%	0	0%	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2	100%	0	0%	0	0%	0	0%	
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2	100%	0	0%	0	0%	0	0%	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0%	1	50%	0	0%	1	50%	
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2	100%	0	0%	0	0%	0	0%	

保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」をしめしながら支援内容の説明がなされたか	2	100%	0	0%	0	0%	0	0%	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	2	100%	0	0%	0	0%	0	0%	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2	100%	0	0%	0	0%	0	0%	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2	100%	0	0%	0	0%	0	0%	分かりやすく助言していただき、とても助かっています
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	50%	1	50%	0	0%	0	0%	
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1	50%	1	50%	0	0%	0	0%	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1	50%	1	50%	0	0%	0	0%	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	50%	1	50%	0	0%	0	0%	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	2	100%	0	0%	0	0%	1	50%	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	1	50%	1	50%	0	0%	0	0%	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	50%	1	50%	0	0%	0	0%	

満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2	100%	0	0%	0	0%	0	0%	送迎も含めて毎週とても楽しみにしています 週1回1時間ではあるが、かかわりあいを大切にしていただき、子どもの心の成長をすごく感じています
	23	事業所の支援に満足しているか	2	100%	0	0%	0	0%	0	0%	

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年3月17日

事業所名 マーブルマール

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切である	10	2		
	②	職員の配置数は適切であるか	12			
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に同じ、事務所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	8	バリアフリーにはなっていないが危険がないように対応を心掛けている	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	1		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	11	1		
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12			昨年公開し、今年も公開します
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	6	第三者委員会を作れていません	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	1		機械を増やしていきたい
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成している	12			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	12		wiscや新版K式を活用している	
	⑫	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	12			
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫している	12			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	12			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12			
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12			
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	12				

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	3	会議はなかった	放デイのケースで、ケースは少ないが何度か参加し、連携をとった
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10	2	近くの学校とはママに連絡をとっている	もっと連携がとれるように動いていきます
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8	1		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2			
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	2	移行支援を行う事がなかった	必要に応じて行っている
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	2		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達事業所、発達障害者支援センター島の専門機関と連携し、助言や研修等を受けている	9	3	児童発達連絡協議会に参加し、連携をとっている	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	6	夏祭りを行った	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	4	児童発達連絡協議会へは参加している	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12		療育後に話をする時間を設け、様子の共有、対応について話し合っている。また、保護者会を開き、不安に寄り添えるようにしている	
保護者への説明責任等	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	11	1		
	㉜	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12			
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の狙い及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4			
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12			
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	12			
	㊱	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応している	12			
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信されているか	12			
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意している	11			
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11			
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	11		夏祭りを行った	

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	12			
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	12			
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	4			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされている	8	4	小麦アレルギーのある子への対応を行った	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	2		
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10	2		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

事業所名 マーブルマール

保護者等数（児童数）66 回収数 58 割合 88%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	57			1	・活動する子が増えたので少し狭いように感じますが、と外での活動もあるので十分だと思います。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	57	1			・専門的なことを教えていただけなのでありがたいです。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事務所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	42	11	5			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19	2		1	・いつもきれいにしてくださっていて、気持ちよく利用できています。	
適切 な 支 援 の 提 供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	57			1	・詳しく作成してくれ、作る前面談し、親の意見も聞いてくれるのでありがたいです。	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21			1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20			2		
	⑧	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	57			1		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	23	24	6	5	・交流はないが、普段通っているので特にはいいかなと思います。	
保 護 者 へ の 説 明 等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	57	1			・はじめに丁寧にいただいています。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の狙い及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	20			2		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	18	3		1		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	53	4		1		

保護者への説明等	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	54	4			
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	42	11		5	・活動されていることは知っていますが、参加したことはありません。また機会があれば参加したいです。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22			1	・すぐに対応してくれているように思います。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	57		1		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	55	2		1	・通信等で見せていただいています。年齢に合う活動をしてくれていてよくわかります。フェイスブック見ています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	56	2			
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	38	12	1	7	・年始めに説明があればいいなと思います。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が実施されているか	28	21	1	8	・1年に1回は児発の時間にしてもいいんじゃないかと思います。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	53	5			・いつも楽しみにしています。楽しく通えているので親としては安心しています。 ・週に1回のこの日を毎週楽しみにしています。 ・行きたい時と行きたくない時がある。母の体調で来れない時もある。 ・とても楽しみにしています。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	56	1		1	自宅での支援の相談をする と、その子に合わせた支援の仕方をおしえていただけるのでありがたいです。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			集団活動が行えるよう、死角のない指導員の目が届く一つの空間で、基準以上の広さです
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準の配置人数は適切となっています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		段差を極力なくし、運動できる部屋、学習できる部屋を完備している 必要に応じて改善を図っていきたいと考えています
業務改善	4	業務改善を進めるためのP D C Aサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○			職員みんなでミーティング実施 情報共有
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者アンケートや、LINEに目を通し、職員間で話し合いをしています
	6	この自己評価結果を、事業所会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公開しています 掲示もしています
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	講師からの助言は受けているが、外部評価機関に依頼はしていない
	8	職員の資質向上を行うために、研修機会を確保しているか	○			定期的に職員による研修を実施している
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		作成については、会議などで、児童ひとりひとりについて、話し合う機会や時間をもっと増やしていきます
	10	子どもの適応行動状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		利用者の状況把握を行っている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々の活動プログラムを立てている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節や、利用者の活動状況を把握し、日々の活動プログラムを立てている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			イベント等を行っている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画書をもとに、療育内容を決めている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認するか	○			季節や、利用者の活動状況を把握し、日々の活動プログラムを立てている

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員間でやりとりツールを活用し（LINEなどで）情報共有している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとる徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援計画書をもとに、評価している
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断しているか	○			計画更新や、変更時には、計画の評価、現状の共有を行い、見直しに繋がっています
	19	ガイドランの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○		互いに意見を出し合い、プログラムを立てています
関係機関や保護者との連帯関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子ども状況精通した最ふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議には、管理者が出席しています
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子ども下校時刻確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			各学校の下校時刻表を貼り出している トラブル等が起きた際に、電話などで柔軟に対応しています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	当事業所は、該当しない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		相談支援員、保護者の方からの情報を得ています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業等へ移行する場合、それまでの支援内容等情報を提供する等しているか	○			保護者様の承認があれば、情報提供を行っている
	25	児童発達支援センターや障害者児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			助言していただいている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	他の子どもたちと関わる機会を設けていない
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		福山市の連絡協議会に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○			聞き取り、メールやLINE等も利用しています
	29	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		今後の課題として、努めていきます
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っている 不明な点についてはその都度、お伝えしています

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育て悩み等に対する相談に適切応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者の思いを聞くということを中心にしています 面談、電話、LINE等で対応しています
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	昨年同様に、情勢に伴い、開催を自粛させていただきました
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情があった場合は、誠意をもって、迅速に対応している 今年度は該当なし
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	希望される保護者様にはLINEやメールでお子様のその日の活動写真を送付している
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報に係る同意書に署名・捺印をしていただき十分注意しています
	36	障害のある子どもや保護者と意思疎通や情報伝達のため配慮をしているか	○		絵や図などを使ってコミュニケーションをとっています (視覚的要素)
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	コロナ禍のため、行事においては地域住民との交流は出来ていない
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し職員や保護者に周知しているか		○	保護者に対する周知はされていないと思われる 今後の課題としている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回以上行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会確保する等、適切な対応をしているか		○	虐待防止の研修会に参加しています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	該当児童はいない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		当事業所は、該当しない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して業所内で共有しているか		○	改善が必要だと考えています

2022年度事業所自己評価結果

まなびのひろば 瀬戸教室 令和 5年 3月

	チェック項目	工夫している点、改善目標等
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	利用者が集中して学習やトレーニングに取り組めるようレイアウト等を工夫している。現在はコロナ感染を避けるため間隔を空けてレイアウトしている。
	2 職員の配置数は適切であるか。	基本的に個別療育が出来るように配置している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	バリアフリー化はされていないが、事故防止のために環境整備を行い、利用者が過ごしやすいよう環境構成している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか。	定期的ミーティングや情報交換の時間を設け、業務改善を行っている。また、職員全員参加のトレーニングや研修等を行っている。
	5 保護者の方等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者の方等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	アンケート実施や送迎、面談の際に保護者の要望等を聞き、必要に応じて改善をしている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	事業所のホームページで公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	関係連携機関から当事業所への意見等を聞き、必要に応じて改善している。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	事業所内外での研修を定期的実施している。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、お子さまと保護者の方のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか。	定期面談や療育利用の際のフィードバック時に保護者のニーズを聞き取りアセスメントを行い、計画に反映させている。
	10 お子さまの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	利用スタート時には、事業所で作成したアセスメントツールをもとに保護者に聞き取りを行っている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	個別に行われるプログラムが円滑に進むように毎日職員ミーティングを行い、情報共有している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	利用者にあった療育メニューが提供できるよう、職員で情報共有しながら日々試行錯誤している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	基本的に放課後と学休日で変わりはないが、日ごろから利用者各々に合わせた計画を立てて進めるようにしている。
	14 お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画を作成しているか。	基本的には個別療育だが、休憩時間の関りや教具の貸し借りなど、人とのコミュニケーションを大切に出来るような場を設定するよう取り組んでいる。

2022年度事業所自己評価結果

まなびのひろば 瀬戸教室 令和 5年 3月

適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	毎日、療育前に職員全体でミーティングを行い、その日の療育をどのように進めていくか意見を出し合い相談することが出来ている。また、療育後には振り返りを行い、療育内容に加えて保護者からの要望などの情報共有もしっかり行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	出来た事、難しかった事、気になった事は必ず記録に残し、支援のポイントや配慮すべき事を考えられるようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断しているか。	定期的なモニタリングを行い、支援計画の修正を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	ガイドラインを参考にし、個々の子どもの状況に応じて創意工夫を図りながら支援している。
関係機関や保護者との連携関係や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのお子さまの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	子どもの特性や支援内容を理解している職員が参画している。
	21	学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか。	必要時、学校連携を図り支援の方向性を共有している。
	22	医療的ケアが必要なお子さまを受け入れる場合は、お子さまの主治医等と連絡体制を整えているか。	現在は医療的ケアが必要な利用者はいないが、必要となった時は連絡体制を考え、整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	保護者を介した情報提供や書面送付、連携会議等で情報共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	現在までにはないが、今後必要時には情報共有等行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	必要時、助言を求めることがある。今後も必要に応じて連携したり、研修を受けることも検討していく。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	定期的開催される協議会に参加している。
	27	日頃からお子さまの状況を保護者の方と伝え合い、お子さまの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	毎療育後、フィードバックを行い、療育の様子をお伝えしたり、学校やご家庭での様子を伺ったりする時間を設け、保護者との情報共有に努めている。
	28	保護者の方の対応力の向上を図る観点から、保護者の方に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか。	送迎時や面談時に頑張っている所や上手くいっている事を伝えるようにしている。保護者の相談を聞いた時には情報の整理や活用できそうなリソースと一緒に考えている。

2022年度事業所自己評価結果

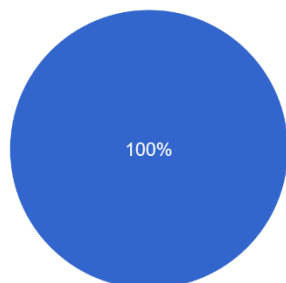
まなびのひろば 瀬戸教室 令和 5年 3月

保護者への説明責任等	29	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	契約時に説明を行い、必要時にはその都度お伝えしている。
	30	保護者の方から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	必要に応じて様々な形で相談を受け、情報の整理や助言などお手伝い出来ることをさせていただいている。また、必要時には関係機関への相談を勧めている。
	31	お子さまや保護者の方からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、お子さまや保護者の方に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	問題に対して状況を整理し、本質を明確にした上で速やかにミーティングを行い、改善のための行動の共有を行っている。
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連携体制等の情報をお子さまや保護者の方に対して発信しているか。	システムや教室掲示を活用し、情報発信を行っている。講演会やイベント等の案内など必要に応じて配布している。
	33	個人情報に十分注意しているか。	職員間で意識の統一を図るとともに、施錠できる場所で管理している。
	34	障害のあるお子さまや保護者の方との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	個々に応じてそれぞれにあった伝え方を選び、理解して頂けるように工夫しながらお伝えしている。
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	フォーラムなどを通じて地域住民の方々に啓発活動を行っている。
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアルなどを策定し、職員や保護者の方に周知しているか。	マニュアルを作成し、教室内に掲示したうえで職員間の意識の徹底を図っている。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	マニュアルを作成し、定期的に避難訓練やシュミレーションを行っている。
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	定期的に事業所内で研修を行っている。
	39	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	日々の療育の前後でのミーティングや全体会議で情報共有し、事故防止に努めている。

事業所職員向け 児童発達支援評価表 2022.12

①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

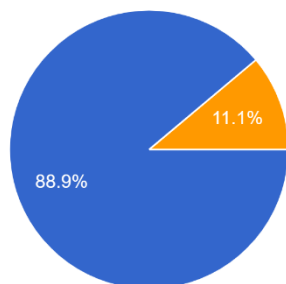
9件の回答



● はい
● いいえ
● どちらともいえない

②職員の配置数は適切であるか

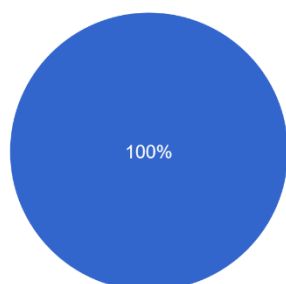
9件の回答



● はい
● いいえ
● どちらともいえない

③生活空間は、本人にわかりやすく構造化された...化や情報伝達等への配慮が適切になされているか

9件の回答



● はい
● いいえ
● どちらともいえない

④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に...、子ども達の活動に合わせた空間となっているか
9件の回答



⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか
9件の回答



⑥保護者等向け評価表により、保護者等に対して...等の意向等を把握し、業務改善につなげているか
9件の回答

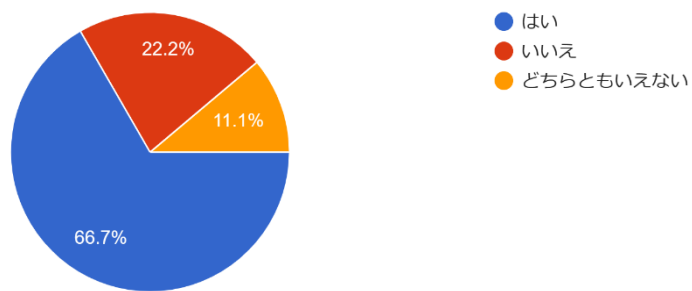


⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の...事業所の会報やホームページ等で公開しているか
9件の回答



⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか

9件の回答



⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか

9件の回答



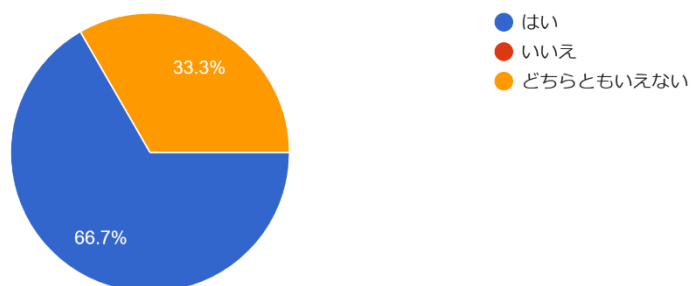
⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の...析した上で、児童発達支援計画を作成しているか

9件の回答

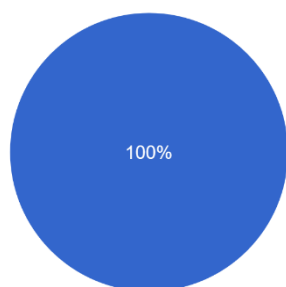


⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

9件の回答

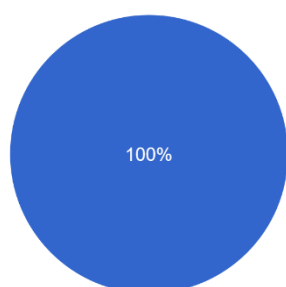


⑫児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラ...その上で、具体的な支援内容が設定されているか
9件の回答



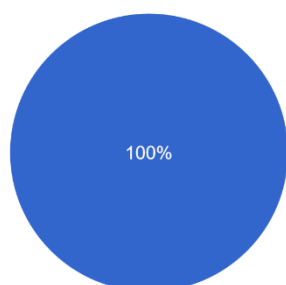
- はい
- いいえ
- どちらともいえない

⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われているか
9件の回答



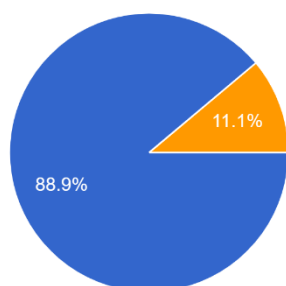
- はい
- いいえ
- どちらともいえない

⑭活動プログラムの立案をチームで行っているか
9件の回答



- はい
- いいえ
- どちらともいえない

⑮活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか
9件の回答



- はい
- いいえ
- どちらともいえない

⑯子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を...組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか
9件の回答



⑰支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その...る支援の内容や役割分担について確認しているか
9件の回答



⑱支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、そ...振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか
9件の回答



⑲日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか
9件の回答



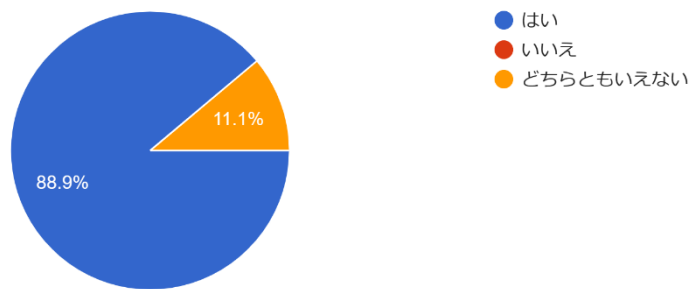
⑳定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか
9件の回答



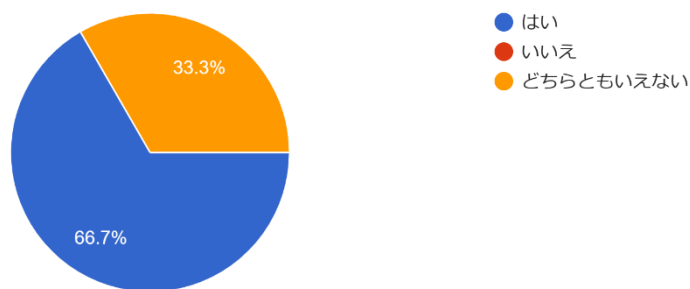
㉑障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に...況に精通した最もふさわしい者が参画しているか
9件の回答



㉒母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか
9件の回答



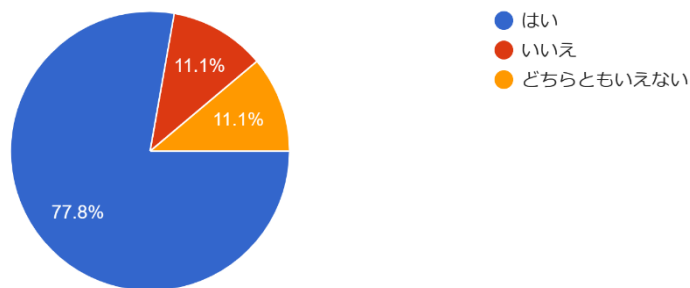
㉓（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の...教育等の関係機関と連携して支援を行っているか
9件の回答



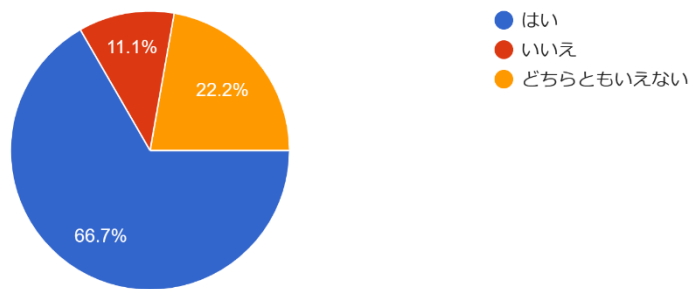
㉔医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子...や協力医療機関等と連絡体制を整えているか
9件の回答



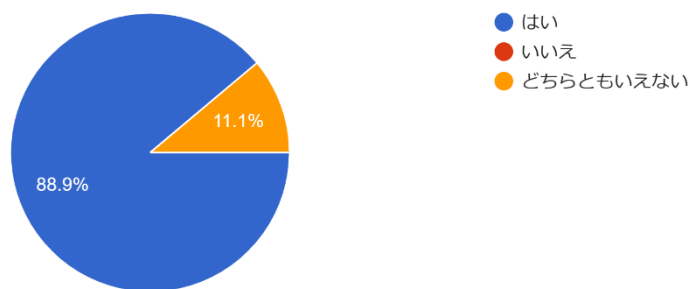
㉕移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚...支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか
9件の回答



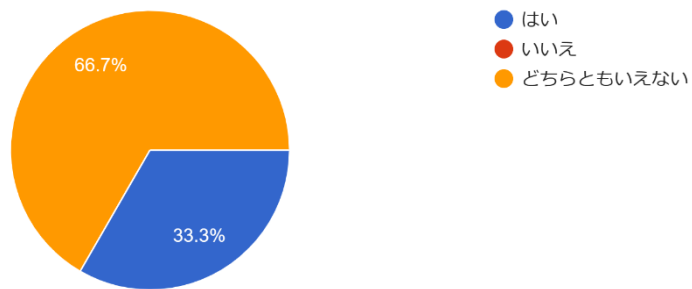
㉖移行支援として、小学校や特別支援学校（小学...、支援内容等情報共有と相互理解を図っているか
9件の回答



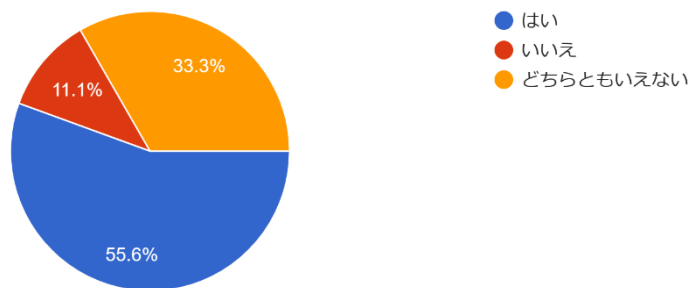
㉗他の児童発達支援センターや児童発達支援事業...の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか
9件の回答



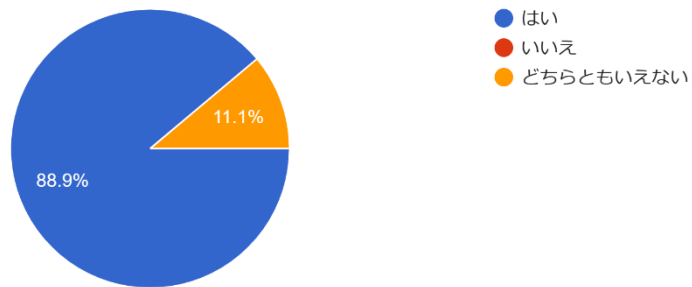
㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか
9件の回答



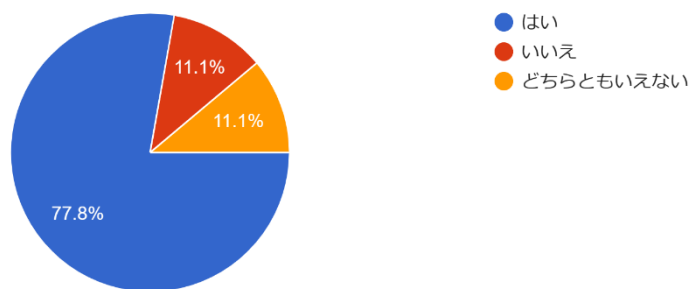
㉙ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか
9件の回答



㊱ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子...達の状況や課題について共通理解を持っているか
9件の回答



㊲ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者...レント・トレーニング等)の支援を行っているか
9件の回答



⑫運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

9件の回答



⑬児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の...保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか

9件の回答



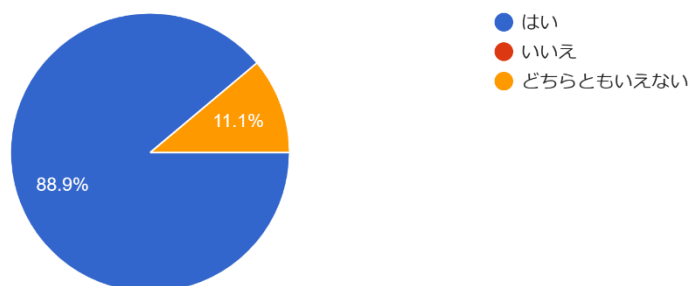
⑭定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対す...に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか

9件の回答



⑮父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開...る等により、保護者同士の連携を支援しているか

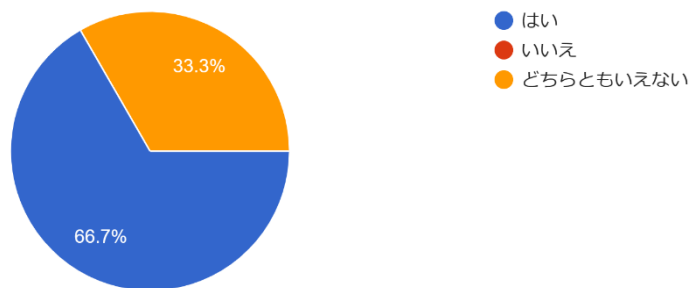
9件の回答



㉖子どもや保護者からの相談や申入れについて、...れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか
9件の回答



㉗定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定...の情報を子どもや保護者に対して発信しているか
9件の回答



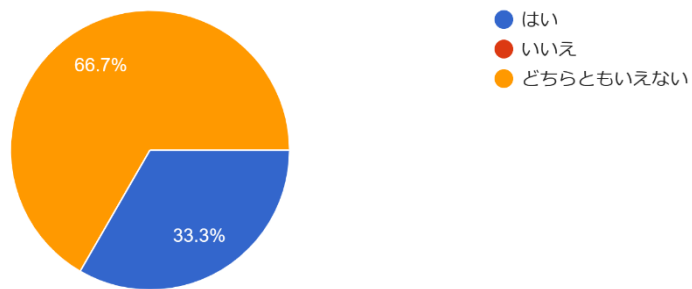
㉘個人情報の取り扱いに十分注意しているか
9件の回答



㉙障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか
9件の回答



④事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか
9件の回答



④緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染...とともに、発生を想定した訓練を実施しているか
8件の回答



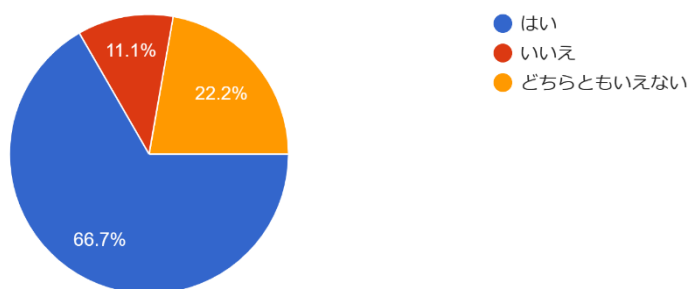
④非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか
9件の回答



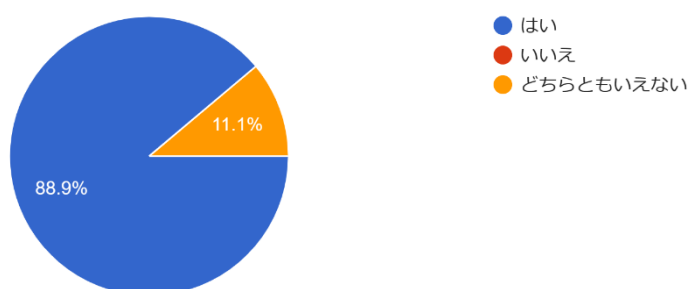
④事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか
9件の回答



④食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか
9件の回答



⑤ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか
9件の回答



⑥虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか
9件の回答



⑦どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか...得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか
9件の回答



保護者等向け 児童発達支援評価表 2022.12

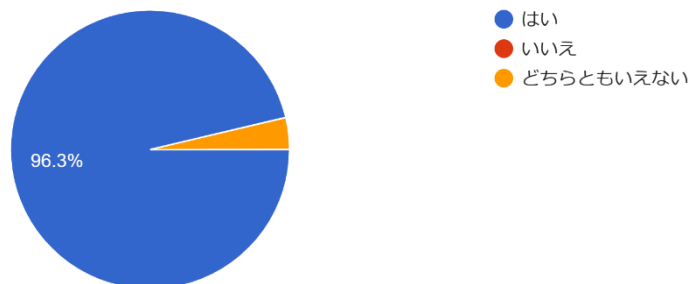
①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか

27件の回答



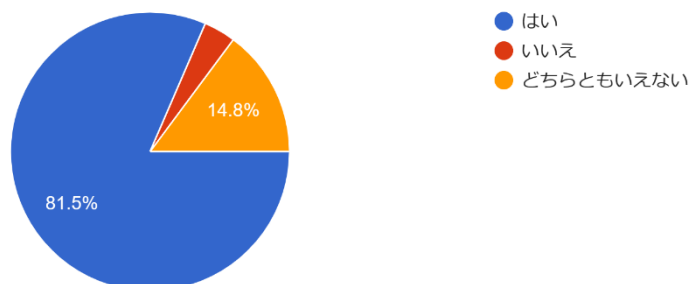
②職員の配置数や専門性は適切であるか

27件の回答

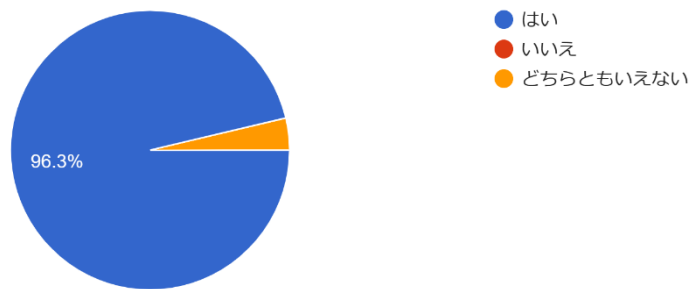


③生活空間は、本人にわかりやすい構造化された...化や情報伝達等への配慮が適切になされているか

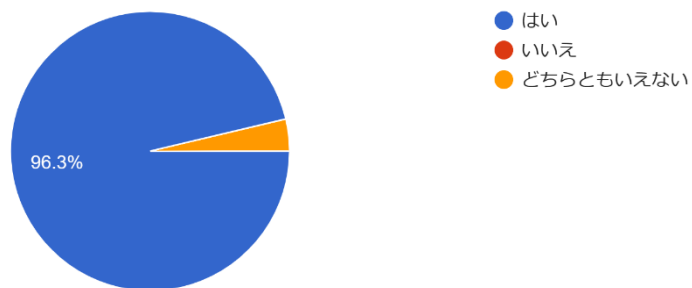
27件の回答



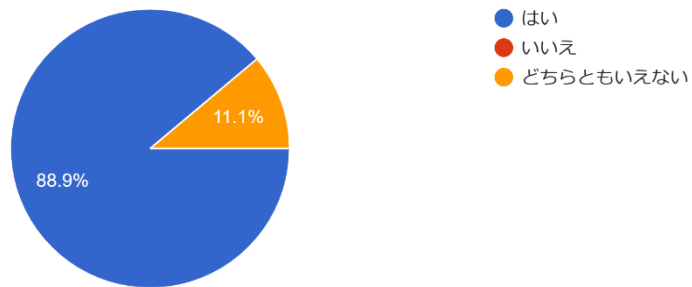
④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に...、子ども達の活動に合わせた空間となっているか
27件の回答



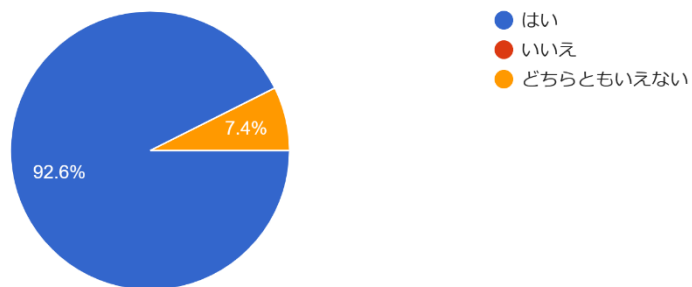
⑤子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか
27件の回答



⑥児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラ...その上で、具体的な支援内容が設定されているか
27件の回答

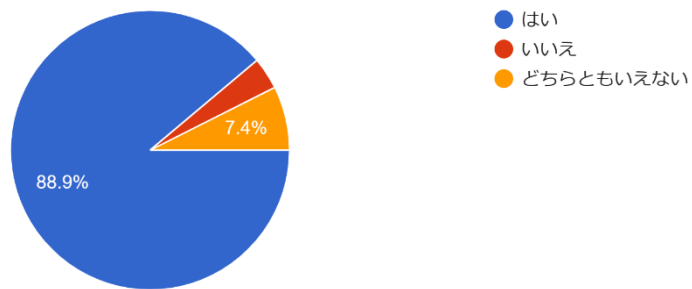


⑦児童発達支援計画に沿った支援が行われているか
27件の回答



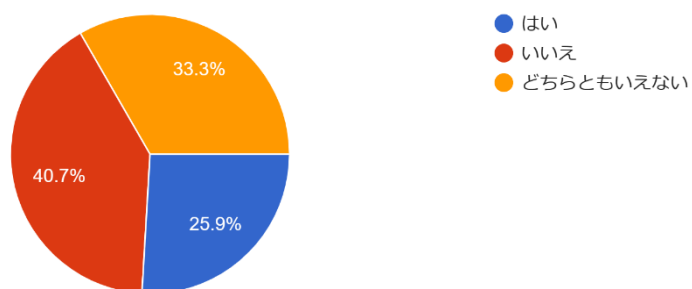
⑧活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか

27件の回答



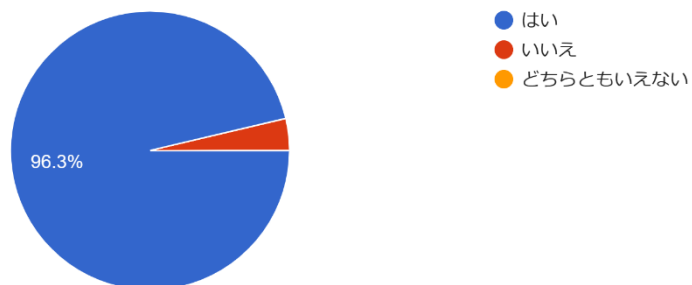
⑨保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

27件の回答



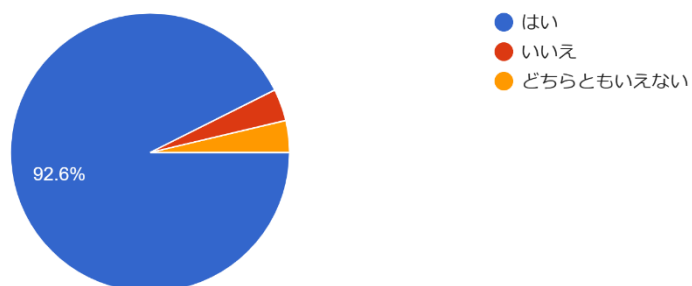
⑩運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか

27件の回答

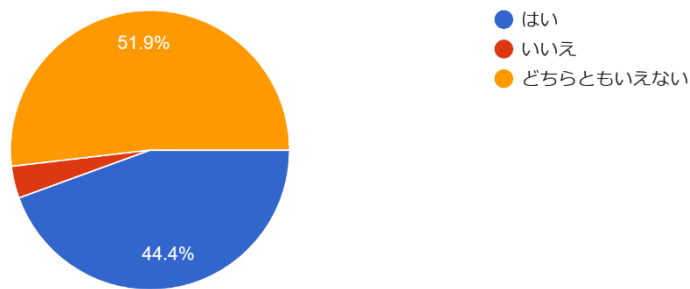


⑪児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の...画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか

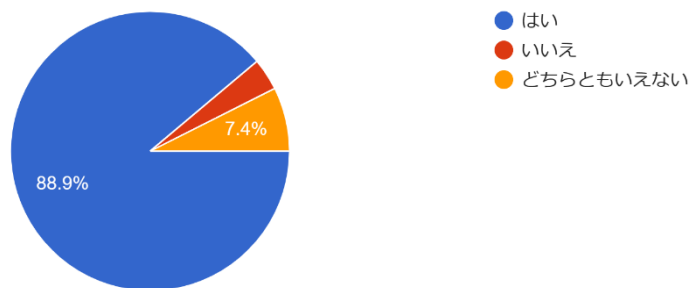
27件の回答



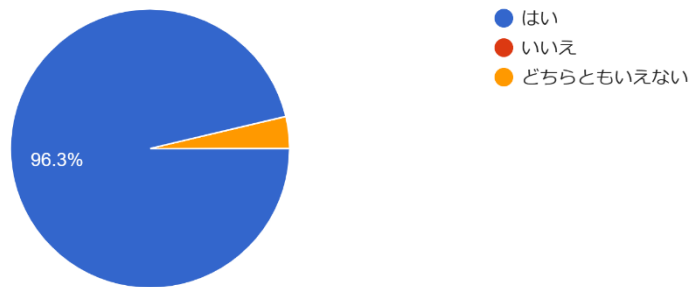
⑫保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか
27件の回答



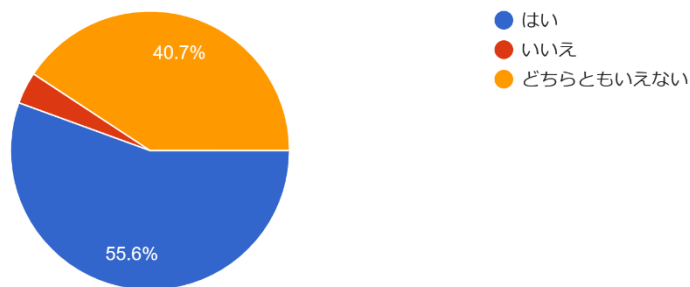
⑬日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子...達の状況、課題について共通理解ができているか
27件の回答



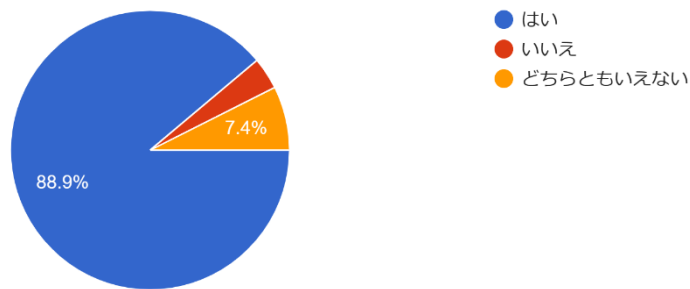
⑭定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか
27件の回答



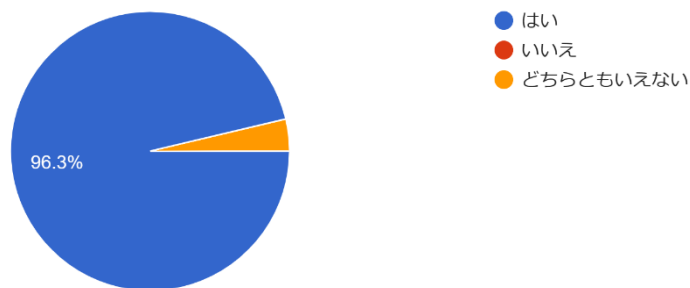
⑮父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか
27件の回答



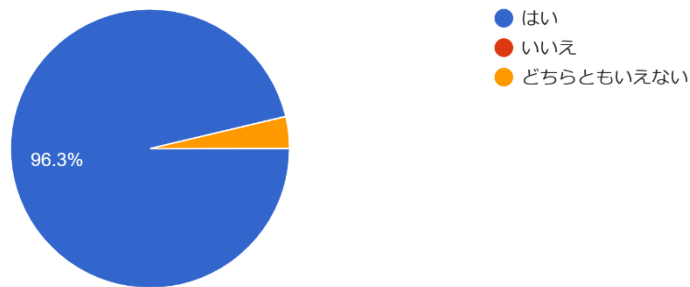
⑩子どもや保護者からの相談や申入れについて、...入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか
27件の回答



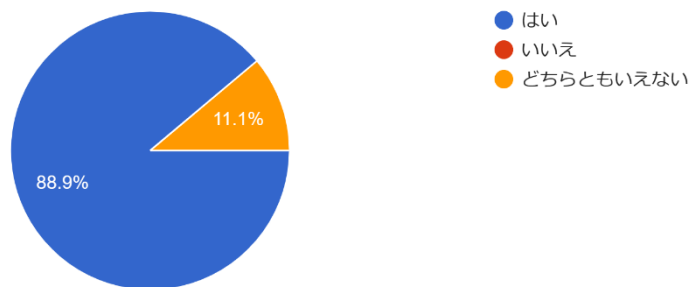
⑪子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか
27件の回答



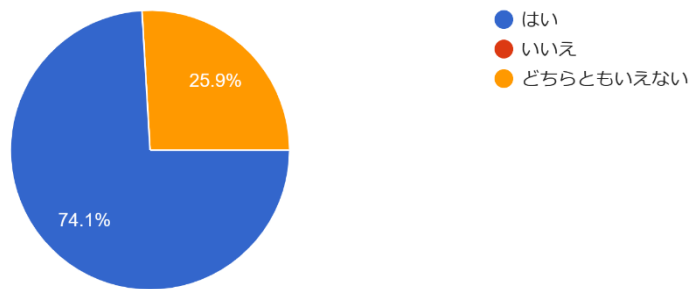
⑫定期的に会報やホームページ等で、活動概要や...結果を子どもや保護者に対して発信されているか
27件の回答



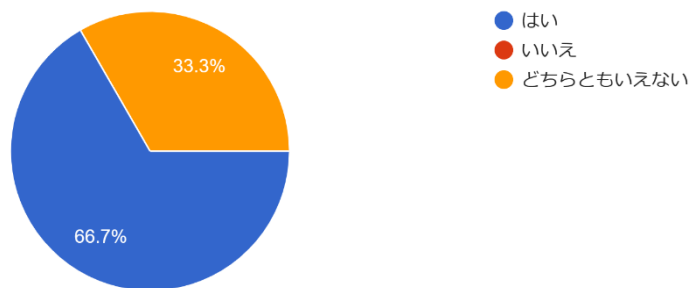
⑬個人情報の取り扱いに十分注意されているか
27件の回答



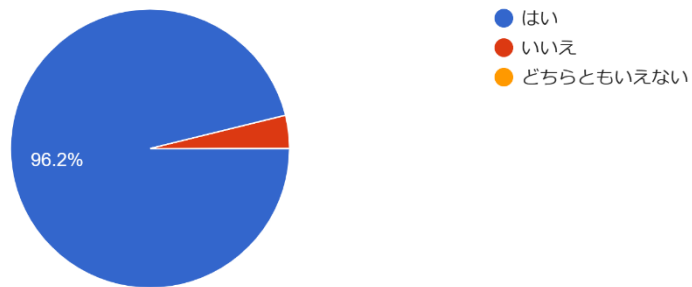
⑳緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染...ともに、発生を想定した訓練が実施されているか
27件の回答



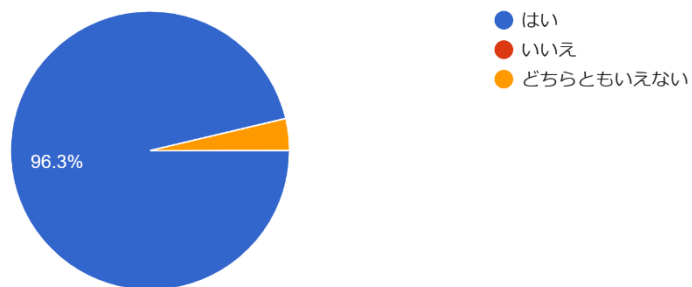
㉑非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか
27件の回答



㉒子どもは通所を楽しみにしているか
26件の回答



㉓事業所の支援に満足しているか
27件の回答



事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 2月 6日

公表: 令和 2023年 2月 20日

事業所名 くららぼ児童発達支援事業所

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		大人数になるときはグループを分けて小集団(5~6人)で過ごしている。	継続していく
	2 職員の配置数は適切である	8		細かく配置されている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		落ち着いて過ごす事ができるよう、壁面飾りなどは、最低限にしている	継続していく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		毎日子ども達、職員で掃除(雑巾がけ)等をしている。	継続していく
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		定期的に職員会議を行い、ミーティングをしている。	継続していく
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		改善すべき点を職員会議で話し合い、業務改善につなげている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			継続していく
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	1	定期的に支援方法についての相談の機会を設けている。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		職員のスキルアップのため定期的に研修をしている。	継続していく
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		定期的に保護者と個人面談をしている。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	クラス担任が主に行っているため、職員全員で活動を考えている。	継続していく
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		月の中で様々な活動を取り入れている。	継続していく
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8		行っている。	継続していく
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	朝のミーティング伝達・確認を毎日しているが、細かい指示をサブの職員に伝達していくようにする。	継続していく
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		ミーティングにて打ち合わせ・確認している。	継続していく
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		その日のこどもの支援内容や様子を記録している。	継続していく
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		保護者の方との懇談を設け、計画の見直しを行っている。	継続していく	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		関係者・関係機関と連携している。	継続していく
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8		医療的ケア児は利用されていない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8		医療的ケア児は利用されていない。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	保護者の了解を得て、各施設へ連携へ行ったり、事業所へ来て頂き連携をとっている。	継続していく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1		継続していく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		8	コロナ禍の為、機会がなかなかなかった。	感染状況をみて、来年度は定期的に行いたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	2		継続していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		LINEや連絡帳にて行うとともに、内容によっては電話、懇談で対応している。	継続していく
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	1	導入したいと思っている。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		契約時に丁寧に行っている。	継続していく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		懇談の際に、支援計画について説明をし、適切と判断されたら押印いただくようにしている。	継続していく
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		相談があった際には、必要に応じて電話等の支援や助言を行っている。	継続していく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			コロナ禍の為、積極的に参加できなかった。	感染状況をみて、来年度は定期的に行いたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		課題に対しては上司に相談しながら迅速に対応している。	継続していく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		毎月クラスだよりを出したり、SNS等を利用し情報を発信している。	継続していく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8		写真等をSNSに乗せる際は特に注意している。(ダブルチェックで確認している)	継続していく
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		LINEでも電話でも、伝え方を保護者によって変えている。	継続していく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8		季節の行事などを地域の人たちと一緒に開催する機会を設けている。	継続していく

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		定期的に行っている。	継続していく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		定期的に行っている。	継続していく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8		職員同士ミーティングで確認し、共有している。	継続していく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		管理者、保育士、調理担当者で確認し適切な対応をしている。	継続していく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1	常時職員が閲覧できるようになっており、共有できている。	継続していく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		研修の予定あり。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	1	保護者にも契約時に説明し、了解を得ている。	継続していく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 2月 20日

アンケート期間:令和 5年 2月 1日～令和 5年 2月 17日

事業所名 くら・らぼ児童発達支援事業所 保護者等数(児童数) 36 回収数 29 割合 80 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	29					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	28			1		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	28				1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	29				・施設が新しく、きれいで充実している ・見学した時から、子どもが過ごしやすい環境だと感じた	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	29					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26	1		2		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	29				・とても満足している	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	28	1			・色々な経験がたくさん出来ている	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	19			10	・コロナ禍なので仕方ない	
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	29					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	29					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	21	2		6		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	27	2			・主に連絡帳でのやり取り、送迎時にあまり伝達できない ・出来たことや、苦手としていること等、お迎え時に話してくれるので、助かる	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	3			・助言等をいつも丁寧にしてくれるので助かる	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	9	5	4	・コロナの為 ・親が参加する行事に参加できなかったのが残念だった	
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されるとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	26	1			2	・相談すると助言をもらい、不安に思っている事などを解決してくれる ・相談しにくい内容でも、ちゃんと聞いてくれて、具体的に説明してもらえることで、問題解決に向けて動くことが出来た	

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	1			・時々伝わっていることがある	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	29				・いつも楽しみにホームページの更新を待っている、写真で子ども達の活動の様子がわかり嬉しい	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	29					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	24	1		4		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	1		6		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	28	1			・毎週楽しみにしている ・毎週通所日になると支度もスムーズで嬉しそうに通っている ・とても楽しく通わせてもらっている	
	23	事業所の支援に満足しているか	29				・通わせてよかった ・とても満足している、感謝の気持ちでいっぱい	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援御幸 夢門塾 自己評価表

記入日: 2023年 1 月 13 日
事業所名: 児童発達支援 夢門塾御幸

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	4			部屋数や、活動内容に応じて、時間をずらすなど工夫をして有効的に使用している。
	②	職員の配置は適切である	4			個別支援が中心であるが、小集団でも対応できるよう職員の配置はされている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	2	2		支援が終了したら、消毒、消臭を行っているが、時折部屋の隅に汚れが残っていることがあるため、清潔な状態を保てるようにする。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4			毎日の朝礼の時や、一日の終わりに、職員でその日の出来事や今後の対応について話し合いをしている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4			保護者様からの声を真摯に受け止め、改善につなげていきたい。
	⑥	自己評価の結果を公開している	4			きちんと公表して今後に繋げていきたい。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	4			会議・研修に積極的に参加しており、職員全員が共有している。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4			児童発達支援管理責任者を中心に個別計画を立てている。その都度職員で意見交換をし、色々な角度から見て行っている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	4			毎日の療育、1ヶ月の療育を職員で話し合い取り組んでいる。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	4			一日の療育が終わったら、職員間で反省を行い意見交換をしている。同時に、雑誌・他事業所の内容も確認して固定化しないよう努めている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4			療育のタイムスケジュールを毎回作成し、課題の確認をみんなで行っている。また、季節の行事に取り組みできるように年間スケジュールを作成している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4			1対1の療育を中心に行っているが、お子様の年齢に応じて、小集団での取り組みも行っている。小集団に移行する際は、お子様の状況を確認しながら行っている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			朝の申し送りの時、個々の療育のタイムスケジュールを職員間で確認している。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			提供記録への記入はもちろんだが、お子様一人ひとりのスモールステップが把握できるように記録を行っている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4			児童発達支援管理責任者を中心に、定期的にモニタリングを行っている。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	1		ガイドラインを中心に支援を行うよう努めているが、より一層確認していく必要がある。

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		4		利用している子どもたちの通っている幼稚園・保育所へ、毎月訪問をしている。情報交換に努めているが、コロナ対策の為、長時間の話し合いが難しいこともあった。さらに、情報共有を大切にしていく。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている		4		児童発達支援の為、以前利用していた事業所はない。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している		4		児童発達支援をご利用後卒園をして同事業所の放課後等デイサービスを希望される方については、連携を取り情報を共有できる体制にしている。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			毎月、センター等に訪問している。児童発達事業連絡協議会の定例会に参加しているが、今後も連携が取れるようにしていく。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	4			毎回の支援後の振り返りの時間に、その日のお子様の状況を写真・ビデオでお伝えしている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	4			契約時に説明をしている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	2	2		モニタリングの時はもちろんだが、日々の振り返りの時間に相談されることもあり、その都度一緒に考えていくように、している。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している		2	2	コロナ対策の為、本年度は開催が困難であった。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			現在のところは、苦情はお聞きしてないが苦情があった時の対応の仕方は職員間で共有している。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4			毎月、ゆめだよりの発行と、週2回ブログの更新を行い情報の発信は行っている。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	4			十分に注意し、二重三重のチェックを行っている。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			情報伝達がスムーズに行えるよう、視覚による伝達など配慮している。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている		4		現在のコロナの状況であるため見合せている。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	4		
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4			おひさまクリニック、放課後等デイサービスの避難訓練に参加していたが、今後は独自の訓練も、計画していきたい。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			虐待防止の研修にみんなで参加した。今後は、研修したことを踏まえより一層適切な対応が出来るようみんなで考えていく。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	4			身体拘束については、契約時に十分説明をしている。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている		4		療育中の、与薬は今のところない。今後も、保護者様と確認をとりながら取り組みたい。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	4			毎日の療育の中で、危険に感じた事、気を付けた方が良いことを、確認しあっている。

事業所における自己評価結果(公表)
(児童発達支援)

公表: 2023年 3月 27日

事業所名 リズムJOY

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			基準の2倍程度の広いスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	○			基準以上の職員を配置している。保育士、児童指導員、社会福祉士、精神保健福祉士、作業療法士など専門性のある職員が在籍している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			絵や図などのより視覚的情報を用い、わかりやすい工夫をしている。 段差のない、バリアフリー設計である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			毎日の清掃、除菌の実施、および空気清浄機、加湿器、オゾン発生器により、快適な環境作りをしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			日々の終礼、ケース会議、勉強会などで情報交換、共有し業務改善に取り組んでいる。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			この自己評価および利用者満足度調査において、評価、意向を把握し、業務改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			評価結果を保護者に配布するとともに、法人ホームページで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	実施していない。今後検討。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			外部研修に多く参加している。法人内部での研修も実施している。事業所内でも勉強会、事例検討会を実施している。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			利用開始時、その後は6か月に1回以上(定期は9月と3月)保護者と面談し、アセスメント及び状況把握や課題分析を行い、計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			事業所独自のアセスメントシートを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			日々の活動状況から見えてくる課題の分析及び児童と保護者の意向や希望を聞き取り、総合的な援助方針を策定し、その上で具体的な支援の内容を示している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			保護者から同意のあった支援計画に沿って支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			職員が分担し、他職員の意見も聞きながら作成している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			ルーティン化するためプログラムの流れは固定しているが、中身・内容は毎月変え、工夫している。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			基本は集団療育だが、個々の状況に応じ、プログラム内容によって個別に対応している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			分担表を作成し、その都度確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			毎日終礼を実施し、その日の振り返り、特記事項等情報交換・共有をしている。業務日誌を作成し、全職員に回覧している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日々の活動状況は連絡帳(事業所控えあり)、業務日誌、特記の場合は成長シートに記録し、支援の検証・改善につなげている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			6か月に1回以上(定期は9月と3月)モニタリングを実施し、状況把握や課題分析を行い、計画の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		相談支援事業所の相談支援専門員との情報交換及びモニタリングは、電話での情報交換がほとんどである。児童発達支援管理責任者または担当の職員が対応している。会議出席の要請があれば出席する。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			必要に応じて、関係機関と情報交換を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			○	医療的ケアが必要な児童は受け入れていない。(母子同伴で受け入れる場合もある)
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			○	医療的ケアが必要な児童は受け入れていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			必要に応じて、こども園等と情報交換を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			現状該当者がいないが、今後必要に応じて連携を取っていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			こども発達支援センターの研修会に参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○	交流は検討しているが、コロナ禍のため実施には至っていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			自治体等主催の研修会・講演会に積極的に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳や送迎時、モニタリング時の面談等で情報提供、情報交換し共有している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		送迎時、モニタリング時の面談等で情報提供、情報共有し、必要に応じて助言を行っている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に、契約書、重要事項説明書を示し、サービス内容、利用者負担等の説明をしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			日々の活動状況から見えてくる課題の分析及び児童と保護者の意向や希望を聞き取り、計画を作成し、具体的な支援内容を説明の上、同意を得ている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			連絡帳のやりとりや送迎時、モニタリング時の面談等で情報提供、情報交換し共有し、必要に応じて助言と支援を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	参観日の実施を検討していたが、コロナ禍のため実施せず。今後、参観日の実施や交流する機会を検討したい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			相談・要望・苦情に対して、迅速に誠意を持って対応する体制を整備している。対応体制については契約時に説明している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月のお便り(リズジョイ通信)、HP、SNSにおいて活動状況、概要等をお知らせしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			個人情報の取り扱いについて、契約時に説明し同意を得ている。 SNS等に使用する場合は、個人が特定できないようチェックをしている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			児童に対しては、視覚的情報を用いるなど工夫している。保護者に対しては、連絡帳や送迎時、電話、メール、ラインで連絡ができるようにしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	見学は随時受け入れている。例年は法人の行事に招待していたが、コロナ禍のため、見送っている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○		各マニュアルを策定しており、事務所内に整備している。閲覧も可能なことを周知していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年に2回防災訓練を行っている。 BCP(事業継続計画)策定に取り組んでいる。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			契約時に確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			契約時にアレルギーの有無を確認している。 現在対応児童はいない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット報告書を作成、情報共有し、検討事例については随時会議を行い、再発防止に努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			新人研修、定期研修にて実施。 外部研修にも参加している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			やむを得ない場合を除き、身体拘束については禁止することを契約書に記載している。 現在そのような事例はない。

《保護者向け》 事業所評価の集計結果(公表)
(児童発達支援)

公表: 2023年 3月 27日

事業所名 リズムJOY 配布数 7 回収数 5 割合 71.4 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	5					基準の2倍程度のスペースを確保しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	5					基準以上の職員を配置しています。保育士、児童指導員、社会福祉士、精神保健福祉士、作業療法士など専門性のある職員が在籍しています。また、音楽療育の研修を受けております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境(i)になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5					絵や図などのより視覚的情報を用い、わかりやすい工夫をしています。段差がなく、バリアフリー化しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5					毎日の清掃、除菌の実施、および空気清浄機、加湿器、オゾン発生器により、快適な環境作りをしております。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(ii)が作成されている	5					利用開始時、その後は6か月に1回以上(定期は9月と3月)保護者と面談し、アセスメント及び状況把握や課題分析を行い、計画を作成しております。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4			1		日々の活動状況から見えてくる課題の分析及び児童と保護者の意向や希望を聞き取り、総合的な援助方針を策定し、その上で具体的な支援の内容を示しております。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4			1		保護者から同意のあった支援計画に沿って支援を行っております。
	8 活動プログラム(iii)が固定化しないよう工夫されている	5					ルーティン化するためプログラムの流れは固定していますが、中身・内容は毎月変え、工夫しております。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	1		1		交流は検討しておりますが、コロナ禍のため実施には至っていません。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	5					契約時に、契約書、重要事項説明書を示し、サービス内容、利用者負担等の説明をしております。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4	1				日々の活動状況から見えてくる課題の分析及び児童と保護者の意向や希望を聞き取り、計画を作成し、具体的な支援内容を説明の上、同意を得ています。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(iv)等)が行われている	2	2		1		確立した家族支援プログラムは行っていないが、送迎時、モニタリング時の面談等で情報提供、情報共有し、必要に応じて助言を行っております。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5					連絡帳でのやりとりや送迎時にその日の活動の様子、変化等を伝えさせていただいております。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	5				・定期的ではないが、気になるところがあれば助言をもらっています。十分満足しています。	送迎時、モニタリング時の面談等で情報共有しています。必要に応じて助言を行っています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2	2		1		参観日の実施を検討しておりましたが、コロナ禍のため断念いたしました。今後、参観日の実施や交流する機会を検討してまいります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	5					苦情はございませんでしたが、相談・要望・苦情に対して、迅速に誠意を持って対応する体制を整備しております。対応体制については契約時に説明しております。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	5					児童に対しては、視覚的情報を用いるなど工夫しています。保護者に対しては、連絡帳や送迎時、電話、メール、ラインで連絡ができるようにしています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	5					毎月のお便り(リズジョイ通信)、HP、SNSにおいて活動状況、概要等をお知らせしております。この自己評価の結果も書面にて保護者に開示するとともに、HPIにて公表しております。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	5					個人情報の取り扱いについて、契約時に説明し同意を得ています。SNS等に使用する場合は、個人が特定できないようチェックをしています。
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	4			1		各マニュアルを事務所内に整備しております。閲覧も可能です。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	5					年に2回防災訓練を行っております。、曜日、時間帯が限定されるため、利用児童全員には行っておりませんが、職員は全員が訓練を行っております。 ・BCP(事業継続計画)策定に取り組み、非常災害に備えております。
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしている	5					今後もお子さまが活動を楽しみながら成長し、保護者の皆様にも満足していただけるような支援をしてまいります。
	23	事業所の支援に満足している	5					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ii 「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 1 月 31 日

事業所名 すみくら春日児童発達支援事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	パーティション等も使用し、利用定員に適切であると思う。	
	2	職員の配置数は適切である	0	3	職員の急な休みはセンターから援助をお願いしている。	職員の急な休みはセンターから援助をお願いしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	0	事業所内の段差をなくし、子どもが分かりやすいように動線を工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	0	個々に合わせてパーティションで空間を作り、目的に合わせて変更している。常に身の回りの玩具や机、椅子などは消毒するようにしている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	0		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0		評価結果をもとに、意向を把握し、改善に繋げていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	0		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	月に1度職員研修を行い、療育現場に必要な職員としての資質、障害についての知識や支援方法を学んでいる。また、施設外研修にも参加し理解を深めている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0	日々の子どもの姿を記録し、課題や支援内容を職員間で検討している。また、意向書や面談を行い、保護者のニーズを確認し支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0		事業所内で統一したアセスメントツールを使用している
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	0	1		個別指導計画には、子どもの支援目標や支援方法を記載している。発達状況に応じて見直していく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	月案を作成し、職員全員で立案会議を行い実行している。	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	社会性や理解、粗大や微細など、偏りが無いようバランスよく組み立てたプログラムを提供している。		

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	3	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	0		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	1	保健師やこども発達支援センター、必要に応じて保育所や幼稚園と連携を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	該当者なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	該当者なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	3		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	3		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	連絡帳や送迎時、子どもの状況をお伝えしている。支援計画の課題や支援についても伝え、共通理解できるようにしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	3		
関係機関や保護者との連携	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0		
保						

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3		今後、土曜日の利用日などに父母の会を開催し保護者の交を深めたいと検討中である。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3	0	鍵付きのロッカーを使用している。保護者の同意を得てから、写真の使用や関係機関との連携を行っている。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	0		津波と洪水を想定してのマニュアルは作成しているが、保護者に周知するには至っていない。今後訓練の実施を含めて計画していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認している	3	0	契約時に調査書の記入をお願い確認している。こどもの状態を把握し、職員間で共有している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	事故を防ぐためにヒヤリハット報告書を記入し、職員間で共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	0		

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和5年1月31日

事業所名：すみくら春日児童発達支援事業所

保護者等数（児童数）27 回収数 27 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	2	1	4	スペースは十分に確保されていると思います。 十分に整備されているとは思いますが、参観日や見学会があればより確認しやすいかと思ひます。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	21	0	1	4		子どもの様子を職員間で共有しクールダウンできる場所の工夫をし一人にならないように見える場所での見守りをしていきます。 毎月実施している職員研修を通して専門知識をひろげていけるように取り組んでいきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	1	0	7		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	24	0	0	2	清潔感もあり、心地よく過ごせるように環境だと思ひます。 あまり行かないのでよくわからない。	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	26	0	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25	0	0	1	子どもの特性をしっかりと理解して下さり丁寧な対応を下さっています。安心して任せられます。いつもありがとうございます。 支援内容がくわしく設定されているのでわかりやすいと思ひます。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26	0	0	0	児童発達支援計画に沿った支援ができていますと思ひます。	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	26	0	0	0	娘の障害や特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されていると思ひます。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17	2	1	6		
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	0	0	2		
保護者 への 説明等	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	26	0	0	0	適切な支援内容の説明があった。ねらいや支援内容も本人にあっていると思ひます。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	10	9	0	8		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	26	0	0	0	保護者の意見を最優先してくれており、課題についても共通理解してくれていると思ひます。 たくさん相談や話し合いをさせてもらっています。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	1	0	0	様々な助言を頂いています。気軽に相談もできます。とてもありがたく思ひます。	年2回は保護者面談をさせて頂いておひます。それ以外の時の相談は随時行わせていただくようにしており、これからも努めていきます。 送迎を利用している方には電話での対応を増やしていく。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	7	3	13	コロナ禍のため自粛がありますが、今後できるようになってほしいです。	会を実施する場所、駐車場等の確保が難しいが、利用児の年齢別で開催できるように努めていきたい。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	26	0	0	0	先生の人数が多ければもっと良くなると思ひます。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	0	0	0		

	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	24	0	0	2		HPIに載せていることをお便りなどで伝えていきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	24	0	1	1	きちんと管理されていると思います。	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	18	1	0	7		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	0	0	8		引き続き、訓練の予定表などお便りで知らせ内容、状況を伝えていきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	25	1	0	0	友だちもでき子ども通所するのを楽しみにしています。利用して楽しいと言っています。	
	23	事業所の支援に満足しているか	24	1	0	1	相談等はとても丁寧にもらって満足していますが、他の法人より書類が多いです。	保護者の方の悩みや思いに寄り添い、家庭と事業所が同じ方向性でお子さんの支援ができるように努めていきます。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 1月 20日

事業所名 てらびあぼけつと福山多治米教室

保護者等数(児童数) 21名(24名) 回収数 21枚 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18件	3件	件	件	もう少し広さが欲しい	広くすることは難しいので、静と動の区別をして、怪我無く過ごせるように工夫していく。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	19件	1件	件	1件		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19件	1件	件	1件		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20件	1件	件	件		
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	21件		件	件		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20件	1件	件	件	早い段階で、てらぼけつの中で同世代の友達とかかわることができるようになり、外や園でも少しずつできるようになったことに感謝の気持ちでいっぱいです。新しい問題は出てきていますが、一緒に考えて支援して下るので心強いです。	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21件	件	件	件		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20件	件	件	1件	苦手なことにも取り組んでくださり大変ありがたいです。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10件	4件	3件	4件		
保護者 への 説明 等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20件	1件	件	件		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	21件		件	件		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	14件	2件	1件	4件		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	21件	件	件	件		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17件	2件	件	2件		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9件	4件	7件	1件	コロナの事もあり、難しい時期だとは思いますが、可能であれば、他保護者と話してみたい。	保護者会のきっかけになればと思い、秋まつりを開催したが、子どもがメインの行事となったため、来年度は交流もでき、子どもも参加できる機会を検討したい
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19件	1件	件	1件	いつも困り感を共有して、助言をいただき、助かっています。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21件	件	件	件		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16件	2件	件	3件		
非常時 等の 対応	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	21件	件	件	件		
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	20件	件	件	1件		
満足 度	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13件	2件	件	6件		
	22	子どもは通所を楽しみにしているか	21件	件	件	件	-毎回大喜びで通っています。てらぼけつでぐずったりしても楽しい一日だったと報告してきます(笑) -行き渋りなく楽しく通えていると思います。	
	23	事業所の支援に満足しているか	21件	件	件	件	-ABAが何か良くわからないまま、数多くある事業所から見つけた自分らしいなと思っていました。2か所の事業所を利用しているため、一般的な発達障害の子どもへの対応だったり、先生の方量によって対応が違ったりすることへの仕方ないという親の妥協が無く預けられる方だと実感しています。 -できないこと、苦手なことに個別に対応していただけるのでありがたいです。とても満足しています。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 1月 20日

事業所名 てらびあぼけつと福山多治米教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5件	件		
	2	職員の配置数は適切であるか	5件	件		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4件	1件		トイレ、玄関のバリアフリーが無い。危険がないように職員が配慮している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3件	2件		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5件	件		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5件	件		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5件	件		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	件	5件		第三者評価制度は実施していませんが、事業所内やウェブサイト上での情報公開や研修の計画に基づいて、事業所の業務改善に取り組んでいます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5件	件		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5件	件		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5件	件		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5件	件		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5件	件		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5件	件		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5件	件		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	5件	件		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5件	件		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5件	件		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5件	件		
関係	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5件	件		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	件	5件		セルフプランを使い、相談支援事業所を利用する児童がいなかったため、連携していない。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	件	5件		直接の連携した支援は行っていないが、事業所および事業所の療育内容の周知活動を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	件	件		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	件	件		

機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5件	件		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	件	5件		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5件	件		児童発達支援連合会に参加し、情報共有及び助言を受けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	件	5件		個別でクール時間の制約により、交流の機会が難しい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	件	5件		児発達からの報告により、協議会の様子を知ることができている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5件	件		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	件	5件		保護者様の負担にならないようにお伝えしていく。 紙にして渡せるものを作っておく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5件	件		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5件	件		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5件	件		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2件	3件		今年保護者会として開催したものは、子どもが主体となってしまったので、もっと保護者様同士が関わられるものを開催したい。
非常時等の対応	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5件	件		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5件	件	インスタグラム、HPで代用を行っている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5件	件		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5件	件		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	件	5件		地域交流行事は行えていませんが、SNS等で事業所の活動を知ってもらえるように情報提供している。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2件	3件		感染症等の対応について更に周知を行う。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2件	3件		もっと具体的にやっていく。	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5件	件			
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5件	件	食事提供、おやつなどが把握している。		
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5件	件			
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5件	件			
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	件	5件		重説での説明をしっかりと行っていく。	

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		
	2	職員の配置数は適切であるか	4		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	第三者による外部評価について今後取り組んでいく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1	今後出来るだけ時間を取って研修の機会を増やしていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	4		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4			

関係機 関や保 護者 との連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4		
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	1	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			4 今後研修をしていきたい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1	コロナ禍であり保護者会等を持っていない。今後開催できるようになれば是非開催したいと思っている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	地域に開放するまでは至っていないので方策を考えていきたい。

非常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5				
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5				
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	5				
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5				
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5				
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	5				
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			2	3	
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5				
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	5				

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	3		1	1	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5				
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	2			
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1			1
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5				
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4				1
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5				
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	5				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	4				1
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3				2
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	5				本当に楽しみにしています。
	23	事業所の支援に満足しているか	5				通えることが出来て娘の人生を考えても本当によかったと思っています。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年12月1日

事業所名 コベルプラス 福山蔵王教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	②	職員の配置数は適切である	4	2		基本の人員配置基準は満たしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1	定期的に整理整頓、掃除、消毒をしている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	2		子ども一人一人について、半年に一度、職員で支援会議を実施している。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3	実地指導等で助言された事を改善するよう努めています。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			月に1回職員研修を実施しています。
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			

支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		アセスメントの教材を使って実施している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・基本となるカリキュラムを基に、療育の流れは各自で決めている。療育記録に基づいて職員同士の情報共有は日々行っている。 ・案を出し合いながら療育内容を決める事もある。 	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	プログラムの中で、個別支援計画に基づいて変更している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6			個別療育か集団療育か保護者の希望に沿って、通所している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な場合は担当者同士で療育内容について打ち合わせをしている。 ・毎日、療育表を確認している。 	

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		療育記録を残す事で、情報共有している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		毎回必ず療育記録をとり、支援会議を実施している。	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		約半年に一度保護者とモニタリングを実施。職員間では支援会議を実施。	
関係機関や保護者との連携関係や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2		児童発達支援管理責任者が参画している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1	児童発達支援管理責任者がそれぞれの機関と連携をとっている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	5		該当者なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	5		該当者なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		児童発達支援管理責任者がそれぞれの機関と連携をとっている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3		必要に応じて今後連携をとっていく。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	研修の機会があれば受講している。	

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	5		
	㉑	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5		
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		毎回、療育後にはフィードバックの時間があり、保護者としっかり話ができている。	
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3		感染症対策の観点から開催の難しさがあるが、保護者への呼びかけを積極的に行い、開催できるようにしていきたい。
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に説明を行っている。	
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		契約時に説明を行っている。	
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		保護者からの悩みや相談は、職員内で共有している。	必要に応じて、事業所内相談支援を行っている。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5		
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		指導員等で対応できない場合は、児童発達支援管理責任者が迅速に対応している。	
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1		

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6		個人情報は鍵付きの書庫へ保管している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4		
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6			
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	職員一人一人に役割を決めている。	火災の避難訓練は1回行っているが、定期的ではないので回数を増やす。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		アセスメント時に確認している。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	5		飲食の提供はありません。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2	事例集を作成していないが、職員間で情報共有できている。	今後は事例集をファイリングしていく。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		虐待防止研修を全職員で受講している。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1	契約時に説明を行っている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和4年12月1日

事業所名 コペルプラス福山蔵王教室

保護者等数（児童数）24名 回収数20名 割合83.3%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19		1			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	1				引き続き、専門性の資質向上に努めてまいります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	3				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19			1	とても清潔で過ごしやすい。	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	1		3		子ども一人一人に適した個別支援計画を作成し、療育内容に取り入れております。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18			2		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18	2			出来るだけ、子どもが興味のある取り組みや年齢に沿った内容で楽しみをつくって下さっています。	個別療育では、その時のお子様の様子に合わせて療育内容を変更しております。

保護者への説明等	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	1	5	7		
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	19			1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	10	1		9		コロナ感染の心配もあり、ペアレントトレーニングを開催できておりません。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	1		1		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	2		2	・子どもに対してどう向き合っているのがベストか、その都度相談したい時に話せています。 ・気軽に話し掛けてくれるし、話し掛けやすい。	療育後のフィードバックの時間を十分にとっています。また、個室での相談支援も行っております。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	3	4	10	よく分からない。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	1				
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務	13	3		4	あまり見れていない。	お知らせがある場合は教室内の掲示板上に掲示をしたり、教室のホ

		に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか						ホームページのブログやSNSで発信したりしております。
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	20					
非常時等の対応	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9	3		8		各種マニュアルは策定しております。契約時に児童発達支援管理責任者が説明しております。
	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	2	4	9		利用者を含めての避難訓練は実施できておりませんが、今年度の避難訓練は実施済み。
満足度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか	19	1			<ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しみにしています。 ・いつも楽しそうです。 ・楽しみにしているので、利用できる日を増やしてほしい。 	・引き続き、子ども達が笑顔で楽しく通所していただけるように支援してまいります。
	㉒	事業所の支援に満足しているか	20				<ul style="list-style-type: none"> ・良くしてくれて感謝しています。 ・これからもよろしく願います。 	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者向け

児童発達支援自己評価表

記入年月日： 令和 5年 3月 7日

事業所名： あゆみん福山新浜2号店

児童発達支援事業所

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	事業所内は子どもが活動等できる広さは十分にあるか	6	5		・自由遊びの時、もう少し広さが欲しいです。 ・活動内容に応じて机の出し入れを行い、スペースの確保に努めています。	・事業所前の駐車場で活動したり、散歩に行く、公園で遊ぶ等、戸外での活動も取り入れていきます。
	2	職員の数は適切か	6	3	1		・送迎時間も調整しながら利用人数に応じて適切になるよう配置しています。
	3	事業所内は子ども達が困るような空間（配置）になっていないか	6	3	1	・入室してすぐに段差がある。 ・クールダウンを行う場所がない。	・段差の上り下りがある際は職員がつくようにしている。 ・パーテーション等を活用して環境を整えていきます。
	4	事業所内は清潔で、子ども達及びスタッフが心地よく過ごせる環境になっているか	6	2	2	・清掃、玩具の消毒をこまめに行っています。	・玩具等、利用児童が自身で遊びたいものを見つけることができるように環境を整える。
業務 改善	5	業務改善を進めるためのミーティングに参加できているか	8	2			・やむを得ず参加できない場合も、議事録等で確認できるようにしている。
	6	保護者等向け評価表により、評価を実施するとともに、意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	3	1		・情報共有に努め業務改善につなげていきます。
	7	職員の資質向上を行う為に、研修等に参加しやすい環境になっているか	9	1			・各所から届いた案内について周知し、研修を受ける時間を確保している。
	8	研修に積極的に参加しているか	9	1			・可能な限り参加している。 ・各部の研修をZOOMにて参加している。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成していると感じるか	5	5		・保護者のニーズに合わせた支援計画書の内容になっているように思います。	・引き続き、保護者のニーズに合わせた支援計画書を立てていくと共に、今以上に利用者さんの気持ちに寄り添った支援を盛り込んでいきます。
	10	児童発達支援計画書には専門用語を比較的使わずに保護者の方が見ても理解しやすい内容になっていると感じるか	9		1		
	11	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると感じるか	6	4			・今後も研修等で学んだことを活かして支援の幅を広げていきたいと思えます。 ・どのように支援していくか、職員全体の支援を統一できるようにしていきます。
	12	個別課題は子どもに合わせたもので行うことができているか	5	3	2		・年齢や個々の得意不得意に合わせて課題を用意していきます。
	13	集団活動内容が固定化しないような工夫はしているか	7	2	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4	5	1		
	15	支援開始前には申し送り等を確認し、その日行われる支援の内容や役割分担について確認、把握しているか	5	3	1		・曜日によっては、十分に時間の確保ができない為、書面で確認できるようにしています。
	16	支援終了後には申し送り等を確認し、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を確認、把握しているか	6	4			・支援終了後は時間の関係上難しいこともある為翌日に話し合いができるように時間を設けています。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	2			・引き続き記録等を活用して、職員間で周知できるようにしていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	1			
19	必要に応じて母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	2			・必要に応じて関係機関と連携を取り、書類に残して職員間で周知しています。	

関係機関や保護者との連携	20	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	4			・保護者の同意の元、今後も積極的に実施していきたいと思います。
	21	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	4			・保護者の同意の元、今後も積極的に実施していきたいと思います。
	22	必要に応じて他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	2	1		・可能な限り受講し、他の職員共その情報を共有しています。
	23	必要に応じて保育所や認定こども園、幼稚園等との連携が取れているか	7	3			・初回利用前や、節目節目に必要なに応じて行っています。
	24	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	4			・連絡帳や送迎時に様子を伝えるよう努めています。
	25	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家庭での子どもとの関わり方について相談助言ができていますか	5	4	1		
保護者への説明責任等	26	契約書、重要事項説明書、利用者負担等について丁寧な説明ができていますか	8	2			・専門用語を使用せず、簡潔な言葉で伝えるように努めています。
	27	児童発達支援計画書作成後に、計画に基づいての支援内容の説明ができていますか	8	2			・専門用語を使用せず、簡潔な言葉で伝えるように努めています。
	28	保護者に対して子どもとの関わり方についての説明等ができていますか	7	3			・専門用語を使用せず、簡潔な言葉で伝えるように努めています。
	29	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する相談等の支援が行われていると感じるか	7	2	1		・モニタリングや、保護者の方から相談があった場合、送迎時等に話しをしています。
保護者	30	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、スタッフに周知し迅速かつ適切に対応できているか	7	3		・保護者の方からの指摘を頂いてからの対応となっていることがある。	・書面等で記録し、職員間で周知できるよう努めています。

への説明責任等	31	毎日の活動状況等を保護者の方へ伝えることができているか	10				・送迎時や連絡帳にて行っています。	
	32	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10				・SNSに掲載する場合は、顔や名前が分からないようにしています。 ・個人情報書類は鍵付き書庫に保管しています。	
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮できているか	4	6			・分かりやすく、簡潔に伝えるように意識しています。	
非常時等の対応	34	緊急時対応、防犯、感染症対応等は把握し、発生を想定した訓練を実施しているか	7	2	1		・年に数回、様々な災害を想定し、訓練を行っています。避難訓練を通し、実際の避難経路を歩く等して確認しています。 勤務シフトの関係で参加できていない職員もいる為、全スタッフが参加できるよう改善してまいります。	
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	2				
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	2				・アセスメントシートにて行っています。
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	1				・報告書を作成し、共有しています。 ・今以上に、職員一人一人が危機管理を意識していく必要があるのではないかと感じています。
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	1				・虐待防止についての研修を全職員受講できるようにしています。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

保護者等向け

児童発達支援評価表

配布：25家庭中14 家庭

記入年月日： 令和 5年 3月 11日

回答：14家庭回答 回答率56%

事業所名： あゆみん福山新涯2号店
児童発達支援事業所

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
							課題や改善すべき点など	改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	事業所内は子どもが活動等できる広さは十分にあると感じるか	9	2		3	利用人数が多い日や運動をしたりする時には少し狭いのかと思います。	近隣の公園を利用するなど子どもたちがストレスを感じないように心がけます。
	2	職員の数は適切だと感じるか	11	1		2		利用人数を鑑みて配置できるようにしていきます。
	3	事業所内は子ども達が困らないような空間（配置）になっていると感じるか	13			1		どこに何があるかを明確にし子どもたちが遊びたいものが手にとれる環境を心掛けます。
	4	事業所内は清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると感じるか	13			1		
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者の気持ちや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画書が作成されていると感じるか	13			1		保護者の方にご理解いただけるようきめ細やかな支援に努めていきます
	6	児童発達支援計画書はわかりやすく記載されていると感じるか	13			1		
	7	児童発達支援計画書に沿った支援が行われていると感じるか	13			1		
	8	支援内容が固定化しないよう工夫されていると感じるか	9			5		スタッフの共通認識のもと個々の現状に合った支援を行ってまいります。
	9	事業所が保育所や認定こども園、幼稚園等との連携がとれていると感じるか	13			1		今後はさらに密な連携を行ってまいります。

保護者への説明等	10	契約書、重要事項説明書、利用者負担等について丁寧な説明があったと感じるか	13			1		
	11	児童発達支援計画書作成後に、計画に基づいての支援内容の説明があったと感じるか	13			1		
	12	保護者に対して子どもとの関わり方についての説明等が行われていると感じるか	13			1	連絡帳やブログ等で様子が分かって良いです。	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると感じるか	13			1	連絡帳やブログ等で様子が分かって良いです。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する相談等の支援が行われていると感じるか	12			2	相談したい事があれば、個別に時間をとってもらって相談できるので助かっています。	いつでも遠慮なくお声掛け下さい。
	15	父母会の活動等の開催が必要だと感じるか		6	3	5		
	16	子どもや保護者からの相談や依頼についての対応体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていると感じるか	13			1		
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると感じるか	12			2			

	18	ホームページで、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていると感じるか	9	2	3	保護者の方により深くご理解いただけるよう情報発信をしております。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると感じるか	12		2	ブログ等の鍵付き管理をはじめ、書類等についても鍵付きの書庫に保管しています。
非常時等の対応	20	緊急時対応等、周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が十分に実施されていると感じるか	10	1	3	消火訓練や、避難ルートの確認など活動には入っていますが、まずはスタッフの訓練を充実していきたいと考えております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていると感じるか	10	1	3	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1	1	とても楽しんでいます。 今後もより多くの子どもたちに楽しいと感じてもらえる支援を心掛けてまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	13		1	

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 3月 17日

事業所名 こどもアシスト「ぽの」大門教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		車いすを使用しているお子様の受け入れができるよう入口のスロープを常備	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		入れ替わりのたびに消毒を行う	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎月の目標設定、振り返りを行う	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		オンライン研修や事業所内研修を行っている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		利用のたびに保護者と話すことで情報収集し支援計画に反映	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間でより良い支援を提案し合う	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録の有無、内容を日々確認	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		今後は密な連携を検討する
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		対象児がない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		対象児がない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		園での様子も把握できるよう連携を検討
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			希望者のみにとどまっているが増やすことを検討
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		開催日の把握が必要
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			フィードバックの際に情報共有を行っている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		今後は検討が必要
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食事提供なし
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和5 年 3月 日

事業所名 ぽかぽかホームえがお

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			怪我がないように児童同士の距離や職員の立ち位置を考えて活動を行っている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			重度障害や身体障害の利用者がいないため今のところバリアフリー化はしていない。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に一度行っている。	
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月誰がどのような活動を担当するか話し合いながら決めている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎日異なる活動を考えて実行している。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝今日の活動の確認や職員配置をMTで確認している。	

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			児童を自宅に送った後、その日の反省会を毎日行っている。	
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	⑩㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				
	⑩㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			現在いない。
	⑩㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	⑩㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		就労施設との連携が今現在出来ていないため、今後実地していきたい。
	⑩㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			
	⑩㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		コロナ感染対策もあり交流の場がなくなっていたが少しずつ増やしていきたい。
	⑩㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		コロナ感染対策もあり交流の場がなくなっていたが少しずつ増やしていきたい。
	⑩㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	⑩㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		コロナ感染対策もあり交流の場がなくなっていたが少しずつ増やしていきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○				
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				
	④⑳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令5年3月10日

事業所名 すみくら神辺児童発達支援事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	1	ドアのない出入りにパーテーションを設置できるようにしている。	園庭がないため、園外への活動を増やすよう工夫している。
	2	職員の配置数は適切である	1	2	個別支援の必要な子どもの受け入れの日は人数制限を行っている。	基準は満たしているが、よりよい支援のために職員を増やし個々に応じた支援を提供できるようにしたい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	1	事業所内の段差をなくし、子どもが分かりやすいように動線を工夫している。	子どもの手の届かない所へ鍵をつけているが、カづくで開けてしまうため、しっかりした鍵をつけてほしい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2	1	個々に合わせてパーテーションで空間を作り、目的に合わせて変更している。常に身の回りの玩具や机、椅子などは消毒するようにしている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0	支援後に必ず、子どもの様子など職員同士でフィードバックする時間をとり、環境を整えている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0		評価結果をもとに、意向を把握し、改善に繋げていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	月に1度職員研修を行い、療育現場に必要な職員としての資質、障害についての知識や支援方法を学んでいる。また、施設外研修にも参加し理解を深めている。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0	日々の子どもの姿を記録し、課題や支援内容を職員間で検討している。また、意向書や面談を行い、保護者のニーズを確認し支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0		事業所内で統一したアセスメントツールを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0		個別支援計画には、子どもの支援目標や支援方法を記載している。発達や状況に応じて見直しをしていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0		職員会議などで、個別支援計画に沿った支援などを職員で確認している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	月案を作成し、職員全員で立案会議を行い実行している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	社会性や理解、粗大や微細など、偏りが無いようバランスよく組み立てたプログラムを提供している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	3	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	朝礼時に職員の動きや役割、子どもの情報共有など行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	支援後には必ず振り返りを記録に残し、気づきなどを出し合って改善していけるよう職員間で話をしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	0		半年に1度見直しを行い、保護者の意向を含めて支援計画を作成している。
関係機関や保護者との連携関係機関	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	0	保健師やこども発達支援センター、必要に応じて保育所や幼稚園と連携を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもの受け入れは行っていない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもの受け入れは行っていない。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0	保護者の意向に応じて、園の先生に来ていただいたり、電話で連携を行い情報を共有している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	3		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	3		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	1	2		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	連絡帳や送迎時、子どもの状況をお伝えしている。支援計画の課題や支援についても伝え、共通理解できるようにしている。	日常の状況説明や相談は行っているが、さらに保護者が相談しやすくなるよう職員との信頼関係を深めて、声かけをしていくようにする。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	1		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	1		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3	0	鍵付きのロッカーを使用している。保護者の同意を得てから、写真の使用や関係機関との連携を行っている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3		
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	0		洪水を想定してのマニュアルは作成しているが、保護者に周知するには至っていない。今後訓練の実施を含めて計画していく。	
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	毎月避難訓練を行っているが、保護者に周知できていない。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	0	契約時に調査書の記入をお願い確認している。こどもの状態を把握し、職員間で共有している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	事故を防ぐためにヒヤリハット報告書を記入し、職員間で共有している。	1か月後にはヒヤリハットの見直しを行っていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	1		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年3月10日

事業所名：すみくら神辺児童発達支援事業所

保護者等数（児童数）23人（23人） 回収数 23 割合 100%

	チェック項目	ご意見				ご意見を踏まえた対応	
		はい	子どももいない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	0	0	3	もう少し活動スペースが確保できたらありがたい ・子どもたちがのびのびと走り回ることができていいと思う ・以前見学させて頂いたときに、運動できる広さはあると感じました ・のびのび活動できていると思います ・中を見る機会が少なく、十分なかどうか分からない	部屋の広さには限りがあるため、工夫しながら対応していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	1	0	2	・専門性がないため適切である分かりません ・よく見てくれているので安心して預けられます	配置基準は満たしています。今後もより良い支援をしていくために職員の質の向上に努めていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく整理された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされているか	19	2	0	2	・お手洗いの照明が自動になっていたため、配慮されていると思います ・荷物の準備をするときに、集中できるように仕切りを使っているのがいいと思った ・入り口から見える範囲だけでも、荷物置き場や棚などの工夫を感じます	椅子や玩具の置き場所など視覚の手掛かりで分かりやすく設置している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	0	0	2	・活動の様子をみるのがないのでわからない	療育中、玩具が気にならないようにバージョンなどで仕切り、集中しやすいような環境設定している。感染予防のため玩具などの消毒を行っています。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	22	1	0	0	・支援計画を事業所からもらっているが、詳しい様子などがいま見えてこないの でわかりにくい ・要望を理解されています	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21	0	0	2	・コロナウィルスの流行で無理かもしれないが、活動の様子を見たい	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22	1	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	22	0	0	1	・毎日のプログラムがボードに書いてあるので分かりやすいです ・活動内容が必ず変動しています ・今日は〇〇をしましたなど、様々なことをしている	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	3	3	10	・普段から保育所に行っているため、特に必要はないと思う	並行通園しているお子さまが多いため、保育園や幼稚園との交流する機会は設けていません。保護者の意向に合わせて園との情報共有を行っています。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	1	0	0	・入所決定の際、いろいろ教えてくれました ・保護者の質問を親切に説明して頂いたので理解できました	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	23	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	11	3	3	6	・コロナウィルスが流行していることがあるかもしれないが、行われていない	日々の連絡帳などを使い、支援の手立てなどを説明させてもらっています。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	22	1	0	0	・子どもが登所した際、変わらないかなど聞いて下さる ・お迎えの時に、今日したことなど声をかけてくださり助かります ・必ず声はかけてくださり、活動の様子は見れない分でも助かっている	
保護者への説明等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	0	0	1	・面談もあり、日々質問等にすぐ答えてくれたり、アドバイスももらえています ・相談した時、アドバイスや話を聞いてくださりありがたいです	年2回は保護者面談をさせて頂いております。それ以外の時の相談は随時行わせていただくようにしており、これからも努めていきます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	4	9	6	・感染症が流行しているためしようがないと思う ・保護者同士の交流はありません ・会って話が出来なくても、意見や親の思いを見たりするだけで自分だけではないんだと感じるのではないかなと思う	保護者同士で話す機会ができる環境や工夫ができればと思っています。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23	0	0	0		
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	0	0	0	・子どもの療育の時の様子をいつも詳しく教えてくれます	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15	2	0	6	・ホームページを開いていないため分かりません	
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	23	0	0	0	・入所決定の際に、写真の顔出しなどのアンケートがあった	
	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13	1	0	9	・発生を想定された訓練はされているかはわからない ・まだ分かりません	緊急時対応は契約時に説明していますが、各種マニュアルについては、保護者の方への周知はできていません。感染症対策については、日常的に消毒など徹底して行っており、引き続き感染予防に努めています。
満足度	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	1	0	12	・ホワイトボードで活動内容を知られるが、詳しい内容はわからない	
	22 子どもは通所を楽しみにしているか	20	2	0	1	・子どもにとって落ち着ける場所ができたと思います ・嫌がることもなく、眠くならたら寝て、安心して過ごさせています ・楽しく行っています	「たのしかった」と言っていただけに、今後もよりよい支援を目指して保護者との信頼関係を深めていくようにしていきます。
	23 事業所の支援に満足しているか	22	0	0	1	・楽しんで行ってくれるというところで、満足しています ・本人が楽しそうに行けているのが一番です。コロナ禍で、なかなか人との関わりが難しいなかで、相談窓口があるのは心強いです ・苦手なことがどんどんできるようになっていき、とても満足しています	

多機能型事業所「うきわく」 児童発達支援・放課後等デイサービス 自己評価 集約公開表

アンケート対象職員数合計 7/7名

公表日: 2023年3月1日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	3	3	1		・運動スペースと勉強スペースが必要 →ワーク室(別室)の利用や床の色を変えて「静」・「運動」スペースで区別した
	②	職員の配置は適切である	1	6			・基準は満たしているが、不足している
	③	衛生面の管理が行き届いている	6	1			・消毒液を各所に配置し対応している ・使用した物品は使用后消毒している ・室内は常に換気を行っている
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	3	3		1	・広く職員が参画しているとは言い難い ・週1回、会議時間を設けて全員で情報共有できるよう調整している
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6			1	
	⑥	自己評価の結果を公開している	5		1	1	・HPIに公表している
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	7				
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6	1			・保護者様のご意見や当施設での状況を詳しくお伝えするため、個別支援計画は保護者様に負担のないよう調整し、可能な限り対面での面談で対応していく予定で調整中
	⑨	活動の計画をチームで行っている	6			1	
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	4	3			・個々のご利用状況に応じて活動が固定化しないよう企画している
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	2	4		1	・個々の課題設定までは出来ていないのが現状 会議を有効に使い設定していく
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	6	1			・利用者の特性に合わせて支援内容を何パターンか考え、柔軟に変更している
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2			・朝礼でその日の支援内容は共有している
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	4			・記録を徹底し、支援の改善に繋げていきたい
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	1			・半期に1回はモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2	4		1		

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			1	
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	2	4		1	・保護者様の許可を得て連携している
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	1	5		1	・まだ具体的事実がない
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	1	1	・また連携の機会がない
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6	1			・連絡帳でのやりとりは行っているが、不十分な印象 希望があれば定期的にお話しできる時間を作っていきたい
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	5	1		1	
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	6	1			
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	-	-	-		・コロナ対策のため本年度も開催が困難であった 来年度以降、徐々に行っていきたい
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6	1			・週1回全体会議を行い、活動内容を調整している ・現状は週3回(児童は週1回)、Instagramの更新を行っている
	㉗	個人情報保護に十分注意している	7				
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	2		1	
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている		6		1	・移転して間もないので地域連携は不足している ・キッチンカーなど地域を巻き込んだ活動を開始した
非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	4	2		1	・玄関掲示板に掲示している
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	6			1	・防災訓練は年3回実施している
	㉒	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1		1	・毎月、各自「虐待防止チェックシート」を記入。年に1回、全体研修を行っている
	㉓	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	4	2		1	・身体拘束の事例はない ・今後は保護者様に同意を得た上で計画していく
	㉔	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	4	2		1	・投薬が必要な場合は、予薬依頼書をお渡しし、医師による投与処方をご記入頂いてから、日々の投薬チェックを行う体制をとっている
	㉕	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	5	1		1	・日々のヒヤリハット事例を記録して綴り、職員内で事例を共有している

多機能型事業所「うきわく」 児童発達支援・放課後等デイサービス 保護者評価 集約公開表

アンケート対象世帯数 16/21世帯(利用者数合計28名)

公表日: 2023年3月1日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	ご意見	ご意見をふまえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動スペースが十分に確保されている	16					室内での活動のみでなく、今後は近隣の体育館・公民館などをお借りし、活動場所の幅を広げたいと考えています。
	②	職員の配置は適切である	15	1				現在、小集団活動が中心ですが、個別対応もできるよう、職員配置を行っていきます。
	③	衛生面の配慮が行き届いている	15	1				いつも手指消毒・マスク着用にご協力いただきありがとうございます。施設外へのアルコール設置、昼食・おやつ前の消毒、ご利用後、使用物品やおもちゃの消毒・掃除は、今後も継続してまいります。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者様のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されている	13	3			・計画書は出来上がった状態なので、事前の聞きとりはして欲しい	ご意見ありがとうございます。個別支援計画のモニタリングが電話やお迎え時にお話したことを反映して作成していたため、今後はしっかりとお話できるような時間を作っていきます。
	⑤	活動プログラムが固定化しないような工夫が行われている	14	1		1	・よく分からない	毎日利用、曜日固定の方など活動が被らないように調整しています。
	⑥	障がいの有無に関わらず様々な子どもたちと活動する機会がある	9	5		2	・よく分からない	外出日は公園で他の子どもたちと活動していることもあるため、その都度発信してまいります。
保護者様への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について説明が行われている	16					今後も何かご不明点等ありましたら、気軽にお問い合わせください。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者様と伝達し合い、子どもの発達状況や課題について共有できている	13	3			・迎え時にその日の様子を口頭で伝えてくださったたり、スマートフォンで動画を見せて下さるので様子がよく分かります	その日の状況は可能な限り連絡帳や口頭でお伝えします。活動の様子については、公式LINEやInstagramなどSNSを活用し、今後も配信していきます。
	⑨	保護者様と面談や育児に関する面談等行われている(モニタリング)	9	4	2	1	・よく分からない ・時間いっぱい子供のことを見て下さっているの、面談時間をとるのは難しいのかなとも思います。これからも子供の変化があったら連絡帳でもいいので教えてください	お氣遣いいただきありがとうございます。学校やお家での状況も気になるため、出来るだけ対面でお話しできるような時間を作っていきたくと考えています。今後ともよろしくお願いたします。
	⑩	保護者会や家族参加型の行事等を行い、保護者様同士の連携が支援されている						4月の制限緩和以降、徐々に行事を取り入れられたらと考えております。
	⑪	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備・周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	3		2	・よく分からない	現在、事業所管理者が苦情窓口となっています。苦情内容により、皆さんにお伝えすることがあれば、その都度お伝えしていきます。
	⑫	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、業務に関する自己評価の結果を発信している	12	3		1	・よく分からない	現在、防災訓練などのお知らせ・自己評価結果はHP、普段の活動内容はInstagram、行事予定は公式LINEで発信しております。
	⑬	個人情報保護に十分注意している	14	1		1		契約時に写真肖像権についての確認を行っています。社内情報については、今後も十分に注意して取り扱ってまいります。
非常時の対応	⑭	緊急時の対応は、迅速である	14	1		1	・緊急がないのでよく分からない	緊急のお知らせは公式LINEや電話連絡を行っていきます。出来るだけ素早く、分かりやすくお伝えできるよう善処します。
	⑮	非常災害時のため、定期的に避難訓練等が行われている	12	3		1	・よく分からない	年3回、防災訓練を行っております(地震・火災・水害) 児童発達支援、放課後等デイサービスどちらも偏りのないよう、時間設定して行っています。
	⑯	苦情窓口が明確である	10	3	1	2	・よく分からない。 ・ポストなどあったらいいかと思います	ご意見ありがとうございます。分かりにくい場所に配置していたため、玄関入ってすぐの右テーブル上に設置しました。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	14	2			・花丸マーク ・子どもがいつも楽しいと言っているのが嬉しいです。	ありがとうございます。今後も、ひとりひとりが楽しい時間を過ごせるような空間を作っていきます。
	⑱	事業所の支援に満足している	15	1			・花丸マーク ・職員さんの支援が上手なんだと思います。ありがとうございます。満足です。 ・満足はしているのですが、長期休みのシステムの午後からがしんどいことが多いです。申し訳ありません。	ありがとうございます。職員一同、今後もみなさんが楽しく過ごせる支援ができるよう努めます。長期休みの件、申し訳ございません。今後は多機能を生かし、児童発達支援・放課後等デイサービス、生活介護と朝からの合同行事も考えていますので、ご理解いただけますと幸いです。

事業所における児童発達支援評価結果（公表）

公表： 2023年 3月 1日

事業所名： Hug Hug

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			・広いスペースはあるので身体を動かすことには適している人数より広い。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	1		・休み体調不良等でスタッフが休んだ場合の人員配置が難しい。
	③	生活空間は、本人に分かりやすくなりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	2		・児童がかばんをかける位置が分かりやすいように自分のマークと写真をつけている。靴を置くところや座るところもわかりやすくしている。 ・スロープもあり、バリアフリーにはなっている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	4	1		・モップ掛け、掃除機なども毎日行っている。感染症対策できるような機器を置いている。 ・運動遊びは子どもたちに合わせた空間になっているが、個別の環境が他児が入ってしまうこともあるので考えていく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		3	2	・時々話ができる時もあるが、全員の話は出来ていないので時間を取って職員同士で話し合いをしていく。
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	4		・アンケートは出来ていないが相談はいつでも可能と手紙等で知らせている。 ・イベントの時のアンケートなどを参考に改善できていると思う。 ・どんな療育をしてほしいか等意見をもらった時は反映できるよう職員で話し合いをした。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		5		・他の児童発達支援施設の方に聞いたりしている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1		・スタッフ同士その都度質問や相談、話し合いが出来ていると思う。 ・月に1回必ず職員全体で話す機会はある。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3	2		・アセスメント、モニタリング内容を全体でしっかり共有していける場がもっとあればいいと思う。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	4		・一人ひとりの状況把握がしっかりと出来ていないので今後ツールを利用していきたい。

適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	2		・支援内容は設定されている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	2		・支援計画を見ながら一人ひとりについて話し合う時間ももっとあっても良い。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			・月に1度会議で決めている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1		・いろいろと意見を出し合っている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	2	3		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	3		・支援内容等は話し合い、確認できていると思う。 ・細かい担当までは決められていないが活動内容によっては決めているものもある。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		4	1	・時間としては設けていないがその都度振り返りはしている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1		・毎日、日誌は書きこの姿を振り返っているが改善までの話はなかなかできていない。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5			
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	3		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	1	4		
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えているか				
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の為中々共有することは難しいが、電話などで様子を聞いたり共有していることもある。 ・コロナ禍で難しいと思うがある一定の期間を決めて話し合いの場は作っていった方が良いと思う。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・学校での様子を聞いたりしているが、なかなかコロナ禍で出来ていないことが多い。電話等で連携していく。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・専門機関との連携はとっているが、お互いの様子を伝え合うことが多く助言までは受けているように思えない。 ・管理者が全体研修等で様々な機関と交流する機会はある。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今後そのような機会を作っていきたい。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	2	2	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や連絡帳などで共有している。 ・相談がある時は、別で日程を設けている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	1	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・不明な点があれば説明している。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達審判計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画は必ず説明を行い保護者の方と共有し勧めている。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・悩みや相談がある時は時間を設けて話を聞いている。今後は定期的に全体で出来よう工夫していく。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で出来ていないが、親子療育DAY等設けており数回した。 ・コロナの状況もあり出来てはいるが、そのような支援を取り入れていきたい。

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	2	1	・定期的にお便り等で発信している。
	③⑧	個人情報に十分注意しているか	5			・書類やパソコンは鍵付きのロッカーや本棚に入れている。 ・シュレッダーを活用している。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1		・保護者や子どもの思いを聞きまずは受け止めていく。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2		・コロナ禍もあり中々できていないが、秋祭りでは告知して行った。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		・定期的を確認していく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			・適宜避難訓練を行っているが全員は参加できていない。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	5			・児童票に記入してもらい確認している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	4		・把握はしているが医師の指示書はない。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2	1	・事業所内では共有できているが、文書にしたものを共有できるようにしていく。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1		

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表： 2023年 3月 1日

事業所名:HugHug

保護者等数(家庭数): 18軒

回収数: 14軒

割合 77%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未回答	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14				
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14				
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画（★i）</u> が作成されているか	14				
	⑤	児童発達支援計画には児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	1			
	⑥	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14				
	⑦	<u>活動プログラム（★ii）</u> が固定化しないよう工夫されているか	14				
	⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	3	3		
	⑨	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1			
	⑩	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13	1			
	⑪	保護者に対して <u>家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（★iii）等）</u> が行われているか	6	6	2		

保 護 者 へ の 説 明 等	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	1			
	⑬	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1			
	⑭	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	6	4		
	⑮	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	3			
	⑯	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14				
	⑰	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14				
	⑱	個人情報に十分注意しているか	14				
非 常 時 等 の 対 応	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また発生を想定した訓練が実施されているか	14				
	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	1			
満 足 度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか	12	2			
	㉒	事業所の支援に満足しているか	14				

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 5 年 3 月 17 日

事業所名 児童発達支援事業所 あめじすと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		こどもの特性に合わせたスペースを作っている	
	②	職員の配置数は適切である	○		基準より多い配置にしている	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		パーテーションを使用し構造化している	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		療育が終わる度に消毒、清掃している	
業務 改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		療育の終了後に行っている	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		意見をもとに改善に向けて取り組みます	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所内で評価結果を周知し事業所玄関にて掲示している	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第 3 者評価は行っていないが事業所内部で評価の元健全な運営をおこなっている
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月 1 回研修を行っている	
適切 な 支 援 の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		定期的にカンファレンスを行い個別支援計画書を作成している	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		初回の面談時にアセスメントシートを使用している	

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		お子様、保護者様、事業所それぞれの視点で考え計画を立てている	
----	---	--	---	--	--------------------------------	--

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援の振り返りを通して確認している	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		⑬同上	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		⑬同上	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日職員で共有している	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		⑰同上	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		⑬同上	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		⑬同上	
関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加している	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		連携を取り意見交換している	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			該当なし

連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		該当なし
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	㉑同上	
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	㉒同上	
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	㉓同上	
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○	㉔同上	

	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	出席している	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	支援の様子を連絡帳にて保護者様に様子を伝えている	
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○	家での関わり方のアドバイスをこなっている	
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に説明し玄関先にも掲示している	
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	説明を行いその場で不明点はないか確認している	
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	必要に応じて時間を設け相談に応じたり自宅へ訪問して相談に応じている	

	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		Connect Club 様の保護者会を紹介させてもらっている	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		営業時間内は対応できるようにしている	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		LINE や SNS にて行っている	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵のかかる書庫にて保管している	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		困りごとがないか聞くように心がけている	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		行事やイベントが行えていない
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルを作成し年 2 回避難訓練を実施している	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		④①同上	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメントシートにて確認している	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		おやつ・食事提供を行っていない為該当なし
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		職員で共有し事故防止に努めている	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年 1 回研修を受けている	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束に関する説明を行い保護者様から同意書を得ている	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表：令和 5 年 3 月 17 日

事業所名 児童発達支援事業所 あめじすと 保護者等数 (児童数) 22 回収数 20 割合 90.9 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	20					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	5		6		コロナ禍で難しく機会が出来れば設けたい
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	20					

	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	16	3		1	入ったばかりでわからない	利用してある程度の期間を経て伝えている
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	8	1		保護者会を必要だと感じていない	設立していないため他事業所の保護者会案内を提示して知らせている
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20					
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	20					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15			5		訓練実施時にお知らせはしていないが実施している
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	5		1		年2回避難訓練は実施している
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	20					
	㉓	事業所の支援に満足しているか	20					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 3月 1 日

公表: 令和 5年 3月 6日

事業所名 ちあふる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			
	2	職員の配置数は適切である	4			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		・今年が初めてなので行う予定
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		・第三者をもうけていない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1		・次の日に行っている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	3		・該当しない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	3		・該当しない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3		・研修はまだ受けていないので、今度は受けていきたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		4		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		4		・相談支援は行っている
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		・コロナ禍の為行っていないが、今度は行っていきたい
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1		・該当する児童がいない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	2		・該当する児童がいない

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 6日

アンケート期間:令和 5年 1月5日~令和 5年1月31日

事業所名 ちあふる

保護者等数(児童数) 2人 回収数1枚 割合50 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	1				
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1				
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	1				
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1				
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1				
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1				
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			1		
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	1				
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか			1		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	1				
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1				
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			1		
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1				
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1				
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1				
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	1					
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	1				
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1				
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	1				
	23 事業所の支援に満足しているか	1				

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2	0	
	2	職員の配置数は適切であるか	8	0	0	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	0	0	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	0	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	0	0	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	6	0	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	0	0	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	0	0	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	0	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2	0	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8	0	0	イベントで小集団での活動を実施している。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0		

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2	0	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	7	0	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	0	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	8	0	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	8	0	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	0	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	0	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	0	0	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	8	0	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	8	0	コロナのため機会がない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	0	0	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	0	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	定期的に保護者との面談を設けている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	6	2	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	LINEやInstagramを活用して発信している。

	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	0	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	0	8	0	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	0	8	0	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	0	0	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		8	0	医師の指示書はないが、その都度保護者に確認するようにしている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	記録に残し、共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	0	8	0	該当者がいない。

保護者等向け

児童発達支援評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	1	0	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	0	0	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	0	
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*1が作成されているか	6	0	0	
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	5	0	0	わからない。
	6	保育所や幼稚園など、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	1	
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4	0	0	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	5	0	0	病氣治療中のため（感染防止）個別を希望しているため、他の子どもたちとの交流は希望していない
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	1	0	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	5	0	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	0	コロナなどやむを得ない理由でサービスを利用していない場合の月謝の支払いは疑問。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	0	0	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	0	
	14	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	1	2	0	具体的なことはわからない。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	2	0	分からない。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	6	0	0	母と離れるときぐずりますが、行ったら楽しそうにしている。
	18	事業所の支援に満足しているか	6	0	0	

*1 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。